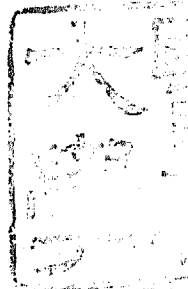


衛生試驗彙報

第七號

內務省衛生局



衛生試驗彙報第六號正誤

百四十四丁	百二十七丁	百二十一丁	百二十丁	百十三丁	百二丁	七十七丁	七十丁	六十九丁	六十八丁
十行	一行	十三行	四行	八行	六行	十二行	一行	一行	五行

誤

所ナキ
小蒸氣
呼々
具フルニ
同シク
コンマ
著シク菌
コレラ
失得
言ハカンカ

正

所ナク
小蒸氣船
嗚呼
具フル
同シキ
コンマ菌
著シク他ノ菌
コレラ菌
得失
言ハンカ

衛生ノ事務其體ヲ學術検査ノ成績ニ資テサルモノ鮮シ故ニ行政官局ノ傍ラ試験所ヲ設ケテ其樞要ノ機關ヲ爲スモノ開明ノ諸國概子皆然リ吾衛生試験所ノ設立モ亦已ニ年アリ或ハ本邦衣食住ノ利害ヲ檢明シ或ハ傳染病地方病ノ原因及ヒ豫防法ヲ查覈シ或ハ政府及ヒ人民ノ需求ニ應シテ飲食物醫藥品等ノ效害純雜ヲ鑒別シ其得タル所ノ成績既ニ少ナシトセス是實ニ目下行政上ノ指針及ヒ价助ナルノミナラス將來之ヲ利用スルモノ益々多キトキハ本邦衛生ノ進歩ニ向テ裨補スル所益々大ナラン故ニ各衛生試験所ノ検査報告之ヲ當局官廳ノ間ニ繼メスシテ逐次彙輯發行シ廣ク他ノ官局及ヒ人民ニ公示シ其利益ノ及フ所彌々永カラシムコトヲ希望ス畢竟學術ノ華英ハ人類ノ普子ク其惠露ニ共涵スヘキモノナレハナリ

目次

目次

多摩川本流及井ノ頭池水試験成績	一丁
東京市水道水検査成績	四丁
鍍具試験成績	百五丁
土鍋及陶器ノ鉛析出検査	百十丁
救荒植物検査成績	百十三丁
飲食物試験成績	百十七丁
「ツベルグリン」製造試験成績	百十九丁
蠅ノ傳染病ニ於ケル關係試験成績	百二十六丁
入浴検査	百三十七丁
群馬縣西群馬郡大類村疾病調査	百六十二丁

多摩川本流及井ノ頭池水試驗成績

本篇ハ東京衛生試驗所技手丸山長四郎同日下毅カ該地へ出張取調
ヘタルモノナリ

明治二十三年五月十四日神奈川縣下羽村及井ノ頭出張ノ命ヲ受ケ十
六日午前當所出發新宿發ノ瀛車ニ乘シ立川停車場ヨリ下車シ中神拜
島福生等ノ諸村ヲ經多摩川上水ニ沿フテ午後七時西多摩郡羽村驛ニ
達ス

十七日午前羽村驛多摩川上水ノ多摩川本流ヨリ分流セル水門部ニ於
テ該水ヲ採酌シ化學的及黴菌的試驗ニ著手ス

十八日及十九日全所滞在試驗ニ從事ス

二十日午前該試驗ヲ結了セルヲ以テ直チニ青梅町ニ向フテ出發シ青

多摩川本流及井ノ頭池水試驗成績

梅町外多摩川ニ架スル處ノ萬年橋上ニ於テ該水ヲ採酌シ黴菌的培養
法ヲ行ヒ步ヲ轉シテ北多摩郡砂川村ニ出テ西多摩郡狹山池ヨリ流レ
來テ多摩川上水中ニ混入スル汚流ヲ採酌シ該所ニ於テ黴菌的培養法
ヲ行ヒ砂川村ヲ經テ北多摩郡井ノ頭ニ至リ寺院ヲ請フテ投宿シ採酌
シ來リタル水ノ試驗ニ從事ス

二十一日井ノ頭池水ノ上水(神田上水)トナル水門部ニ於テ採酌シ黴菌
的培養法ヲ行ヒ直チニ和田村ニ向フテ出發和田村ノ田畔ニ於テ井ノ
頭ヨリ來ル河流ト善福寺河流(神田上水)ノ助水トノ相合セシ處ヨリ二
丁許下流ニ於テ採酌シ黴菌的培養法ヲ行ヒ携帶ノ上再ヒ井ノ頭寺院
ニ歸リ化學的及黴菌的試驗ニ從事ス

二十二日及二十三日同所滞在試驗ニ從事ス丸山長四郎ハ化學的試驗
略々結了セルヲ以テ二十三日歸京セリ

二十四日午前井ノ頭ヲ出發シ南豐島郡落合村近傍田畔ニ於テ妙正寺

右試水ノ成績ヲ叙スレハ

採酌地名	採酌時日	水ノ温度	性状	反應	固形物	格魯兒	硝酸	亞硝酸	磷酸	燐酸	安母尼亞	過滿酸加里	一立方仙迷
青梅	二月二十日午前八時	十五度	澄明	弱酸性	六〇、〇〇	一、三三	極痕	〇	極痕	〇	〇	〇、六四	四六九
羽村	同年同月十七日午前七時	十四度	同	同	六四、〇〇	一、四二	同	〇	同	〇	〇	〇、六四	四七八
秋山濁流	同年同月二十日午後一時	十六度	汚濁	同	八六、〇〇	六、七二	同	〇	痕跡	極痕	痕	一四、六八	五六一一

井ノ頭	同月同日	十七度半	澄明	同	四六、〇〇	二、六五	同	〇	同	〇	〇	〇、六四	二九五
善壽寺 <small>合流</small>	同年同月十一日午前十一時	十八度	同	同	五〇、〇〇	四、七八	同	〇	同	〇	〇	一、二二	一二四〇
妙正寺 <small>合流</small>	同年同月二十四日午前十一時	十八度	微濁	同	六二、〇〇	六、三七	同	〇	同	〇	〇	一、六〇	一三五三

但シ固形物、格魯兒及過滿酸加里褪色ノ量ハ水一リ一トルニ對ス

多摩川流及本井ノ頭池水試驗成績

ル「ミリグラム」量ナリ

採酌後時日ヲ經過シテ變化スルノ虞アルモノハ直ニ採酌地ニ於テ試驗ヲ施行セリ例之ハ黴菌的試驗、水ノ温度(攝氏)安母尼亞、亞硝酸等ノ如シ

○ 東京市水道水検査成績

本篇ハ東京衛生試験所技手丸山長四郎及日下毅が主任トナリ所長醫學博士中濱東一郎ノ指導ニ由テ滿一年間繼續シタル検査ノ成績ナリ抑モ東京市民ハ其飲用水ヲ池水或ハ利根ノ河水ニ採ルモノアリト雖モ多クハ玉川、神田、千川ノ三上水ヲ飲用ス而シテ其水源ニ於テハ水質善良ナリト雖モ(玉川及神田上水々源ノ水質検査ノ條参照)市内ニ導キ入ル、ヤ専ラ人家稠密ノ地ニ埋設セル木製ノ樋管ヲ流ルルモノナレバ樋管ノ陳久朽敗セル等ヨリ自然汚水ヲ混シ遂ニ飲料

二件... 第三... 化學的... 明治二十二年六月ヨリ同二十三年五月ニ至ル滿一年間每週一回宛神田玉川兩上水ニ就キ十一ヶ所ニ於テ探酌シ化學的及微菌學的ノ試験ヲ施行セリ尤モ千川上水ハ玉川上水ノ分流ニシテ且ツ其配水區域モ狹隘ナルヲ以テ之ヲ畧セリ
本篇檢査成績ヲ記載スルノ傍ヲ參考ノ爲メ此水道ニ關シテ調査シタル諸件ヲ載セリ而シテ此ニ引用シタルモノハ慶長見聞集、東京水道誌、上水記、東京府書記官銀林綱男ノ水道改良談話筆記及東京府屬福島甲子三ノ水道調査書等トス

第一 上水沿革

上水ノ沿革ニ就テハ甲ノ記スル處乙ノ載スル處ニ符合セサルアリ丙

東京市水道檢査成績

ノ言フ處丁ノ唱フル處ニ一致セサルアリ隨テ其孰レカ是ニシテ孰レカ非ナルヤ之ヲ判別スル頗ル難シ然ルト雖モ其説ク處ノ根據ニ至リテハ大ナル逕庭ヲ見サルヲ以テ今斯ニ之ヲ調査材料トシテ蒐集セルモノヨリ二三ヲ摘叙シテ左ニ掲ケン

慶長見聞集卷ノ三ニ江戸町水道ノ事トシテ記載セルニ

見しは江戸町の跡は今大名町に今の江戸町は十二年以前まで大海原なりしを當君の御威勢にて南海を埋め陸地となし町を立て賜ふ然るに町ゆたかにさかふると雖も井の水に鹽さし入り萬民是を歎く君聞召民をあわれみたまへ神田明神山岸の水を北東の町に流し山王山本の流れを西南の町になかし此二水を江戸町へ普く與へ賜ふ

トアリ此一記事ニ據レバ神田玉川兩上水工事以前ニ於テ已ニ水道ノ必要ヲ感シ之レハ一小工事ヲ起シ神田明神、山王神社ノ兩岡陵間ニ通

上ノ前後ナルヤ覺東ナシトアレモ仔細ニ該上水記ノ書類ヲ檢スルニ神田上水ノ方前設ナルカ如シ其書中ニ安永八亥年九月松屋町上納地清兵衛店茂十郎ガ差出セシ神田上水々元役年來相勤メ來リシ趣ノ上申書アリ曰ク

私家筋の儀は慶長年中 御入國之砌御當地飲水不自由にて所々井水相求候處濁水或は潮氣鐵氣等有之難用立一統難儀仕候近在之川水を曳入候御評議も有之所々川々水性御試御座候處是又潮氣有之早續候節は湯水仕旁以難御用立其砌私先祖内田六次郎と申者武州玉川邊の百姓仕罷在御注進奉申上候趣有増左之通に御座候一往古頼朝公武州武藏野原御通行之節洪廣たる平坑飲水無之供奉之面々行疲候砌地中より靈水湧出候由往古より申傳候場所は六次郎存知罷在右之邊に罷越土地を穿ち試候得は水氣甚敷相見候故鍬を

東京市水道水検査成績

以四五尺露候得の地底より土砂を吹上候に付此所堀廣大池に開發仕水量丈火に貯置御府内え引取候は潤澤に上水出來可仕と奉存右御普請積書繪圖面雛形を以其節御奉行所様に奉申上候得は早速被爲達上聞候處御滿悅被爲遊御尋可被遊旨被仰渡其後御吟味相濟乍恐東照宮様御鷹野御成之節土地御案内可仕旨六次郎に被仰渡候に付則御案内奉申上鍬を以土を鑿奉備 上覽候處奉申上候無相違水湧登り候に付甚御感悅被爲遊乍去水は清く相見候ても水性難相知茶を以試候得との上意に付乍恐御茶を奉獻度旨奉申上候得の御滿悅被爲遊無勿躰も六次郎草室の御腰を被爲掛候ニ付田舎之風儀にて御茶菓子不奉差上候ては不相成儀と心得乍不訓法牡丹餅を拵菓子益え二つ重ねに仕奉獻候處上なるを一つ被爲召上御残り一つを御手自ら六次郎に被下置難有奉頂戴爾今乍恐其形ちを定紋に罷在候扱右之池水にて御茶を煎奉差上候所被爲召上甚御感悅宜茶に

新之儀又候東照宮様被爲成池普請増成就出之体上置其御
云々(畧)又候東照宮様被爲成池普請増成就出之体上置其御
悦當爲遊候て六次郎に御褒美之上意其上上水未々迄過不足無之行
届候様出精可仕之御黒印被下置上水之水元役と申役名を被下置永
久相續相勤右水道御普請無懈怠御世話仕候様被仰渡則御黒印難有
頂戴仕御請奉申上其後水道橋邊ニテ貳千坪餘之屋敷拜願仕猶又其
後材木等拜願仕難有奉存彌以出精仕上水御普請取掛り右七井の池
(台徳院様上覽右池際ノ木蓮花ト申大木に御指添の御小刀にて七井
ノ池と御手自御彫刻云々とあり)より御府内の方野方拾六ヶ村堀
普請夫より水戸様御屋敷邊小石川筋小川町通埋石垣樋夫より猿樂
町神田橋外同埋樋同御堀前水溜樋陸樋下り龍樋潜樋登り龍樋水清
樋渡り樋別れ樋夫より所々御用屋敷御大名様方御旗本様方右別
れ樋より相應分量樋樋シ大小差別仕掛餘り候水は御堀に落候様仕
神田橋外より南の方は御堀端通西紺屋町迄夫より東の方本材木町

東京市水道検査成積

通りを限り新大橋兩國橋邊夫より淺草御門内迄其中之町々不殘濱
町御屋敷并町家迄所々堀々右の龍樋を以堀を越させ船之通路等差
障に不相成様仕井水自由に相成候様御普請成就仕候儀に御座候(申
畧)其頃又候台徳院様七井之池に被爲成追日水勢強湧出候躰上覽之
上當時水下武家方并町家之井戸え往渡り候間井之頭と改号すと上
意被爲遊新御殿に被爲入南光僧正御對顔還御被爲遊候由其時より
井の頭御上水と唱申候處神田明神宮は御府内之北にて其邊神田と
唱御上水も神田の方より掛り初り候故神田御上水と唱一名は御茶
之水共唱申候(下略)

同書ニ正徳五乙未年ノ頃玉川庄右衛門同清右衛門兩人ノ差出シタル
玉川上水ニ係ル上申書アリ曰ク
一玉川上水之儀六拾三年以前承應元壬辰年迄御城内并御城下御武家
様方共上水道無御座候に付下々にては御堀又は溜池之水を樋に

南に... 地造法拾三里程之所野山共に日敷水盛吟味仕御用水ニ罷成可申
段細繪圖書付を以御評定にて申上候則其節御老中様方御列座阿
部豊後守様松平伊豆守様寺社御奉行安藤右京亮様松平出雲守様神
尾備前守様町御奉行石谷將監様牧野織部様八木勘十郎様御勘定御
奉行曾根源左衛門様伊丹藏人様伊奈半左衛門様右之繪圖御覽被爲
遊御吟味之上御調法成御忠進申上候由にて則爲御見分牧野織部様
八木勘十郎様伊奈半十郎様右御三人様御越被遊候に付拙者共も御
供仕候て上水道通り明細に掛御目候に付道筋に六日御逗留にて御
見分相濟御歸府被遊右同年極月廿五日御評定に於て惣御寄合え親
共被爲召出上水道堀御普請早々取掛候様被爲仰付則御入用金六千
兩被爲遊御渡翌年巳四月四日より堀り始同年十一月十五日迄に四
ッ谷大木戸迄堀渡申候所先つ玉川より水仕掛け御覽被遊度由被仰

東京市水道水検査成績

付候間則羽村大川にて堰仕立水仕掛申候所無滯四ッ谷大吐迄満水
に參申候然ル處右御渡被遊候御入用金六千兩は高井戸邊迄に拂仕
廻金子多分不足御座候間此段度々中上候所堀普請以來以後水無滯
掛申候は、未だ悪敷は被爲遊間敷候間先つ此未は手前入用を以虎
御門前迄堀立申様にと被仰付候間難有奉存手前金貳千兩餘并町屋
敷三ヶ所金千兩餘を賣代替金子ヲ以虎御門前迄不殘堀立申候て水
仕掛申候所十分に無滯參り申候に付御満足被遊其後親共被爲召出
玉川上水御役永代被仰付則兩人共に其節貳百石分金子にて被下置
名字も玉川に御改被下刀御免被遊候に付難有奉存候(下略)

トアリ是ニ依リ之レヲ觀レハ神田上水ハ慶長年中(今ヲ距ルテ二百七十九年以前)德川
幕府玉川ノ農内田六次郎ナル者ニ命シ疏通セシメ又玉川上水ハ其後
承應元年十二月玉川庄右衛門ノ父某ニ命シ翌二年四月二百三十九年
以前工ヲ起シ十一月竣功セシモノ、如シ果シテ然ラハ神田上水ハ玉

其大畧ヲ記ス(上水記ニ據ル)

一青山上水ハ万治三庚子年(二百三十二年前)初メテ出來右ノ水口ハ四ツ谷大木戸ヨリ木樋ニテ南ノ方裏大番町通り東ノ方横町通り夫レヨリ表大番町ヨリ青山六道ノ辻ニ出テ青山大通リニ至リ二派トナリ赤坂ノ一部及足輕町龍土町六本木町市兵衛町飯倉片町芝新堀同朋町等ニ分佈セリ此上水ハ享保七年十月(百七十年前)ヨリ廢止セリ
一三田上水ハ青山上水ヨリ四年ノ後即チ寛文四年辰十一月(二百二十八年前)中村八郎左衛門磯野助六ナル者ニ命シ北澤村ニ於テ上水道ヲ開鑿シテ玉川上水ヨリ分水シ代々木村中澁谷村三田村上中目黒村白金村大崎村ヲ經テ二本榎伊皿子通聖坂三田八ツ山高輪芝田町新網町僧上寺新門前大芝町金杉ニ至ル此上水ハ享保七年(百七十年前)十月ヨリ廢止セリ

享保七寅九月三日桔梗門ニテ大久保佐渡守石川近江守ヨリ道奉

東京市水道水検査成績

行ハ渡セシ書付

青山三田兩所上水之儀中興よりかゝり候事ニ候故自今相止候間其段向々え可被申達候來ル十月より上水取不申候筈ニ候條可被得其意候以上

一龜有上水ハ三田上水ヨリ三十餘年ノ後即チ元祿年中(百八十九年前)ニ竣功シ龜有村ヨリ本所法恩寺前マテ白堀ニシテ夫レヨリ木樋ニテ南北本所一圓ニ分佈シ南ハ高橋萬年橋邊ニ達ス其水源ハ埼玉縣下埼玉郡瓦曾根村溜井ノ分水ニシテ久兵衛門新田等ヲ經テ龜有村ニ至ル樋筋凡二萬間程ナリト云フ此上水ハ享保七年ニ廢止セリ
一千川上水ハ元祿九年(百九十六年前)初メテ竣功保谷新田ヨリ巢鴨村迄五里二十四町ノ間白堀出來仙川村ノ名目ニ由リ千川ト改メ該工

年村々ノ百姓ヨリ田用水トシテ上水分水ノ儀出願シテ開濬下ナリ

再七河上水ヲ下谷及淺草ニ引用セシカ同六年十一月十七日復廢止
スト云フ

享保七年八月十七日石川近江守宅ニテ道奉行へ相渡セシ書付
千川上水の儀中興よりかゝり候事に候故自今相止候間其段向
々へ可被申達候來る十月より上水取不申等ニ候間可被得其意
候

現今千川上水ト稱シ本郷區下谷區ノ一部ニ給水スルモノハ明治十
三年三月岩崎彌太郎等水道會社ヲ設立シ舊來ノ水路ニ由リ之ヲ再
興セルモノナリ

第二 神田玉川兩上水々道費

神田玉川兩上水保存ノ爲メニ毎年支出スル費用ハ大約五六萬圓ニシ
テ收入モ亦殆ント之レニ同シ例之明治二十三年度合計豫算ハ左ノ如
シ

神田玉川兩上水々道費 二十三年度豫算

第一項	五千九百〇五圓八十三錢八厘	水源水路費
第二項	四萬千五百五十九圓四十錢七厘	植樹費
第三項	五千七百五十八圓四十二錢	雜給
第四項	二百四十六圓十五錢	需用費
第五項	百六十圓	營繕費
第六項	七十四圓七十三錢九厘	新費
第七項	四千四百九十九圓〇七錢五厘	豫備費
合計	五萬七千八百〇三圓六十二錢九厘	

神田玉川兩上水ノ水道收入 二十三年度豫算

第一項	五萬二千四百五十二圓三十三錢一厘	上水々料
第二項	四萬三千八百七十七圓四十錢	上水井水料
第三項	千九百七十八圓〇六十錢	分水々料

水車水料

宮内省下渡水料

海軍火藥製造所水料

雜収入

不用品拂代

年賦金収入

繰越金

廿二年度繰越金

(五) 七百二十二圓八十三錢三厘
(六) 三千八百圓六十錢
(七) 九百六十九圓四十三錢八厘

第二項 四百四十七圓四十九錢七厘
(一) 四百四十二圓八十錢
(二) 四圓六十九錢七厘

第三項 四千九百〇三圓八十錢一厘
(一) 四千九百〇三圓八十錢一厘

合計五萬七千八百〇三圓六十二錢九厘

第三東京市ニ存在スル上水ノ種類

目今東京市内ニ供給スル水道上水ハ玉川神田及千川ノ三上水ニシテ其水路ノ最モ擴濶ナルハ玉川上水ニシテ神田上水之レニ亞ギ千川上水ハ其分佈區域最モ狭小ナリトス

(一) 玉川上水ノ東京市内ノ入口ハ四ツ谷區(世俗大木戸)ニシテ之レカ排水口ハ麴町區錢龜橋南岸京橋區比丘尼橋南岸南小田原町四丁目二番地ノ三所トス

(二) 神田上水ノ入口ハ小石川區關口ニシテ之レカ排水口ハ麴町區錢龜橋北岸日本橋區一石橋北岸蠣殼町三丁目十番地京橋區比丘尼橋北岸ノ四所トス

以上記載セル排水口ハ日常潺々流出スル所ニシテ其他尙ホ數多ノ排水口アルモ之レ水量ノ増加セル時ニ際シ流出スルモノナレバ斯ニ贅セズ (第二圖參照)

第四 上水ノ源泉及助水

(一) 玉川上水ノ水源ニ諸説アリ或曰ク甲斐信濃兩國ノ山中ヨリ多波山ノ幽谷ヲ經テ流出ス故ニ初メ多波川ト云ヒ後ニ黒川ト相合シ武藏國留津浦村ニ至リ玉川ト云フト蓋シ留津浦ハ多摩郡ナルヲ以テ多波川ト云フ

ナリ云々然レトモ之ニ至ルニ玉川ハ甲信ノ深山幽谷ノ清澗細流相
合シ神奈川縣下ヲ經テ大小二十有餘ノ溪流ヲ合セ初メテ大河トナル
モノナレバ其源ヲ一所ニ求ムベキニアラス而メ該留津浦村ヨリ羽村
ニ至ル迄水路概テ十餘里ニシテ羽村ヨリ該水ノ一分上水トナリテ東
京ニ來リ本流ハ水路凡ソ十六里ヲ經羽根田浦ニ至リ海ニ入ル所謂六
郷川之レナリ
玉川上水ハ羽村ニ於テ玉川本流ヨリ分レタル一小流ニシテ其中凡ソ
二間ヲ越ヘズ西多摩郡砂川村近傍ニ至リ同郡箱根ヶ崎ノ狹山ヶ池ヨ
リ來ル一小濁流(第十項ノ表中第三ヲ參照)ヲ合併シ同郡境村近傍ニ至
リ千川上水ヲ分岐シ南豐島郡淀橋町ニ於テ更ニ神田上水ニ其一部ヲ
分與シ(十二層ノ瀑布ハ之ニ屬ス)四ツ谷大木戸ニ達シテ木樋ニ入ル但
シ羽村ヨリ四ツ谷大木戸ニ至ル水路延長十里三十一丁餘ナリ
故ニ玉川上水ノ助水トシテハ只狹山ヶ池ヨリ來ル一小濁流アルノミ然

レ此方今該地ハ漸次埋没シテ水量減少シ連日晴朗ノ際ニハ池水殆
ト流出スルヲナク稍乾涸スルニ至ルモ一朝強雨ノ至ルニ遇フカ或ハ
細雨日ヲ累ヌルカ如キハ池水忽チ滿溢シ濁流上水ニ混シテ試驗成
績ニ不真ヲ呈スルニ至リ助水ノ功ヲ爲サハルノミナラズ却テ水質ヲ
汚スト少ナカラサレバ之ヲ他ニ排除スルノ策ヲ講スルハ目下ノ急務
ナルベシ

(二) 神田上水ノ源泉ハ北多摩郡吉祥寺村ト牟禮村トノ間ナル井頭池水
(第十項表中第四ヲ參照)ニシテ其周圍千〇六十五間半坪數一万二千七
百七十餘ニシテ源泉ハ清澄ナルモ其水路ノ如キハ田畔畝頭ヲ經過シ
水田ノ灌漑等ニ分與シタル餘水ハ他ニ放流スルノ途ナク再ヒ上水ニ
合流シ和田村近傍ニ於テ一ツノ助水即チ東多摩郡下井草村ノ善福寺
池ノ湧水(第十項表中第五ヲ參照)ヲ合シ南豐島郡淀橋町ニ至リ更ニ玉
川上水ノ補助水ヲ得爾水ノ下落合村ニテ上井草村妙正寺池ノ流レ(第十

口ニ至ル間ハ無蓋ノ紀法ニシテ開口ニ至リ初メテ有蓋ノ小溝トナル
故ニ神田上水ノ助水ハ善福寺妙正寺ノ雨池水及玉川上水分與水ノ三
トス

(三) 千川上水ノ源泉ハ玉川上水ニシテ埼玉縣下保谷村ニ於テ舊來ノ千
川用水路ニ導キ田用水ト合流シ路傍又ハ農家ノ軒下等ヲ流レテ集鴨
町溜池ニ至ル水路五里六町餘夫レヨリ溝渠ニ引キ入レ本郷區ニ達ス

(第一圖參照)

第五上水ノ分佈區域及方向

(一) 玉川上水ハ四ツ谷大木戸ニ於テ直ニ麻布上水(明治十三年四月麻布
區會ニ於テ議決シ允許ヲ得テ同年九月工ヲ起シ十四年十二月竣功ス
水路ハ往昔ノ青山上水樋筋ニ係ル)ヲ分派シテ麻布及赤坂ノ一部ニ給
水シ本流ハ四ツ谷傳馬町ヲ東ニ向フテ流レ傳馬町二丁目ト三丁目ノ
間ニ於テ一小派ヲ分チ同町近傍ニ分佈シ麴町十三丁目ニ至リ葦笥町

ニ向フテ一派ヲ分チ更ニ麴町十二丁目ニ至リ復々一派ヲ分ツ本流ハ
直下シテ四ツ谷門外ヨリ溝渠ニ沿フテ右折シ赤坂區表傳馬町ニ至リ
田町ヲ通過シ遂ニ虎門外ニ達ス

麴町十三丁目ヨリ分岐セル一派ハ更ニ一枝ヲ分チ麴町十二丁目ヨリ
分派シ來ル一派ト共ニ三流併行シテ四ツ谷門ヲ通過シ麴町區内ニ入
リ其左側ヲ流ル、モノヨリ番町飯田町ニ分佈スル兩派(小官等ノ検査
セル靖國神社
前ノ水ハ)ヲ分チ本流ハ進ンテ半藏門ヲ入り代官町ヲ經テ元衛町近傍ニ
達ス中流ハ直ニ進ンテ半藏門ヲ經テ吹上禁園内ニ達シ右側流ハ麴町
五丁目及四丁目ニ於テ二派ヲ分チ平川町永田町三年町霞夕關近傍ニ
分佈シ本流ハ麴町一丁目ニ至リ溝渠ニ沿フテ右折シ外櫻田門近傍ニ
至ル

虎ノ門外ニ至ル本流ハ此處ニ於テ二派ヲ分チ本流ハ虎ノ門ヲ入り外
櫻田門ニ達シ此門ヲ通過シテ祝田町室田町元千代田町及八重洲町以

町備前町兼房町ヨリ芝口一丁目ニ至リ方向ヲ轉シ芝口二三丁目源助
 町柴井町(以上芝區)ニ達シ更ニ新錢座町ヲ經テ濱離宮ニ達スル一派ヲ
 分チ本流ハ尙ホ進ンテ金杉橋ヲ越ヘ高輪近傍ニ至ル
 虎門外ヨリ分派セル他ノ一派ハ凡ソ一町ヲ隔テ、同シク前者ニ併行
 シ久保町伏見町兼房町ヲ經テ二葉町(以上芝區)ニ至リ一枝ヲ分派シ本
 流ハ更ニ進ンテ木挽町築地小田原町采女町新富町入舟町船松町南飯
 田町(以上京橋區)等近傍ニ分佈ス二葉町ヨリ分岐シタル一派ハ土瓶ヲ
 經テ丸屋町竹川町宗十郎町尾張町銀座(以上京橋區)等ノ近傍ニ分佈シ
 終ニ京橋ニ至リ方向ヲ轉シテ白魚橋近傍ヨリ溝渠底ヲ通過シテ松屋
 町ニ至リ八丁堀水谷町岡崎町永島町及靈岸島(以上京橋區)一般ニ分佈
 ス
 (二) 神田上水ハ小石川關口ヨリ東京市内ニ入り小石川區内ニ數小派ヲ

分チ直ニ世俗御茶ノ水ヲ通過シテ神田區内ニ入り三崎町中猿樂町今
 川小路等近傍ニ分佈スル兩三派ヲ分チ本流ハ猿樂町ニ沿フテ小川町
 ニ出テ錦町及裏神保町等ニ分佈スル一派ヲ分チ進ンテ佐柄木町淡路
 町新銀町鍋町黒門町松下町豐島町龍關町富松町美土代町旭日町新石
 町白壁町鍛冶町元岩井町紺屋町(以上神田區)等近傍ニ分佈スル數派ヲ
 分チ本流ハ方向ヲ一轉シテ神田橋ニ向フテ流レ斯ニ更ニ一流ヲ分チ
 溝渠ノ外圍ニ沿フテ龍關橋ニ至リ之ヲ越ヘテ又一兩派ヲ分チ本流ハ
 尙ホ進ンテ本町河岸常盤橋近傍ニ至リ二流ニ分ル
 神田橋ニ於テ分岐セル一流ハ同橋ヲ越ヘ大手町道三町錢龜町(以上麴
 町區)近傍ヲ經テ錢龜橋ニ至ル
 龍關橋ニ於テ分岐セル一兩派ハ本銀町大傳馬町馬喰町(日本橋區)等近
 隣ノ諸町ニ分佈ス

本町區内ニ於テ分岐セル一兩派ハ本銀町本町替町北新町大傳馬町油町等

本町河岸ニ於テ分岐セル他ノ一流ハ尙ホ溝渠ニ沿フテ流レ一石橋ヲ
經テ吳服町檜物町上横町箔屋町青物町佐内町坂本町茅場町北島町龜
島町近傍及北横町桶町南鍛冶町大鋸町鞆町壘町五郎兵衛町柳町以上
日本橋區近傍ニ分佈スル數派ヲ分ツ
以上細別セルカ如ク(一)玉川上水ノ分佈區域ハ四ツ谷區麻布區赤坂區
麴町區芝區京橋區ノ大部及日本橋區ノ小部等ニシテ(二)神田上水ハ小
石川區神田區日本橋區ノ大部及京橋區ノ小部ナリ又千川上水ハ纔カ
ニ本郷下谷二區ノ小部ニ過キサルヲ以テ細別ヲ省略ス(第二圖參照)

第六 東京市内ニ流入スル各上水ノ水量及本所深川二區へ水
船ヲ以テ供給スル水量

各上水日々ノ水量ハ玉川上水ハ一秒時間ニ三七、九〇三立方尺神田上
水ハ二六、三二〇立方尺千川上水ハ二、二二〇立方尺ニシテ日々吐棄ス

ル所ノ水量ハ詳ナラズ然レモ該吐棄スル水ノ一分ハ水船ヲ以テ探酌
運送シ良好ノ水ニ乏シキ深川區及本所區ノ一部ニ供給スルモノ一日
ノ量大約三千七百二十石ニ達ス

第七 東京市内ニ於テ上水ノ供給ヲ受クル人口

(一)玉川上水ハ四ツ谷、赤坂、麻布、麴町、芝、京橋、及日本橋七區ノ一部人口
凡ソ十七万六千餘ニ供給シ(二)神田上水ハ小石川、神田、日本橋三區ノ一
部人口凡ソ二十二万餘ニ給與シ(三)千川上水ハ本郷下谷二區ノ一部人
口凡ソ一万七千餘ニ分佈ス以上三上水ヲ供給スル人口ハ四十一万三
千餘ニシテ之ニ水船ヲ以テ配水スル本所深川二區ノ一部人口凡ソ八
万七千餘ヲ合セバ四十八万四千餘ニ及フベシ今上水ヲ飲料ニ供スル
所ノ人口ナ市下十五區ノ人口百二十萬七千餘(明治二十三年十二月調
査)ニ比スルニ大約五分ノ二ニシテ其餘ハ之レカ供給ヲ井水及ヒ他ノ河
水(利根)ヲ受クルモノトス

尺徑四尺五寸最小石垣樋ハ方一尺五寸木樋ハ方三寸ナリ然レモ其
 使用スルモノハ木樋トス其形狀ハ方形長方形圓形ノ三種アリ其厚
 サハ樋ノ大小ニ依リ五寸乃至二寸ヲ有ス而シテ此水道樋管ノ地下埋伏
 ノ深サハ地盤ノ高低ニヨリ四尺乃至十八尺ニ至ル又樋管ノ二條連接
 スルニハ樋管ノ大小ニ隨ヒ二尺五寸乃至六尺ノ内徑ヲ有スル樋ヲ用
 フ市下上水ノ延長ハ無蓋溝萬年樋(石ヲ以テ造リタルモノ)樋管ヲ合シ(一)玉川上水ハ
 五萬〇九百〇九間(二)神田上水ハ四萬〇〇九十間餘(三)千川上水ハ三千
 八百七十九間餘合計九萬四千八百七十九間ニシテ之ヲ里數ニ改算ス
 レバ四十三里三十三丁十九間ナリトス

第九 上水検査手續

第一探酌

毎週水曜日午前左ノ十一ヶ所ノ水道榭ニ於テ探酌セリ

玉川上水 四谷大木戸 麴町十三丁目 九段靖國神社前

芝金杉橋 靈岸島新船松町

神田上水 小石川關口 神田水道橋 日本橋本町河岸

日本橋區綠橋 兩國米澤町 京橋區本材木町

但シ其探酌ノ法ハ化學的検査用水ハ先ツ能ク洗條シタル大硝子壺
 ナ取り檢水ヲ以テ一二回洗滌シ然ル後之レヲ探酌スルト硝子壺
 ノ大約十分ノ八(大約三リートル)ニ至ル之ヲ試驗所ニ携帶シ直ニ試
 験ニ着手セリ又タ黴菌學的検査用水ハ別ニ豫メ消毒シタル共口小
 硝子壺ヲ取り放棧後瞬間ニ水中ニ投入シテ之ヲ探酌シ其後一時間
 以內ニ於テ之レカ検査ニ着手セリ元來黴菌ナルモノハ探酌後時間
 ナ經ルニ從テ其數ヲ増加スルモノナレハ探酌ノ際其時間ヲ詳記シ
 其遲速ニ依リ検査着手ヲ異ニセリ而シテ探酌ニハ兩者共ニ水道榭ノ
 中央部ニ於テ水面下數寸ノ深サニ於テセリ之レカ探酌ハ先ツ黴菌
 検査用水ヲ酌ミ次テ化學検査用水ヲ酌メリ蓋シ化學検査用水ハ大

第二 清濁、色及臭

長サ大約二十五センチメートル、直徑大約五、六ミリメートルノ無色硝子圓柱ヲ取リテ之ニ檢水ヲ盛り白紙上ニ置キテ上部ヨリ通觀シ蒸餾水ト相ヒ比較セリ又々臭ハ直ニ或ハ蒸發ノ際之ヲ檢セシニ毎ニニツモ異臭アルコトナカリシ

第三 反應

檢水大約二十立方仙迷ヲ硝子管ニ盛り之ニ「ロゾール」酸溶液四五滴ヲ点加シテ色相ノ如何ヲ檢シ微ニ血紅色ヲ呈スルルルハ之ヲ弱亞爾加里トシ其色鮮明ナルルルハ亞爾加里トシ又々黃色ヲ呈スルルルハ之ヲ酸性トセリ然ルニ上水ハ毎ニ弱亞爾加里性ヲ呈セリ

第四 固形物

檢水二百五十立方仙迷ヲ取リ既ニ秤定セル陶製皿ニ盛りテ重湯煎上ニテ蒸發乾燥セシメ更ニ之ヲ空氣乾燥器ニ致シ攝氏百二十度ノ

東京市水道水検査成績

温ニ於テ數時間乾燥セシメ次テ硫酸乾燥器ニ移シテ放冷シ然ル後秤量ス斯ノ如ク反覆シテ終ニ一定ノ重量ヲ得ルニ至リテ止ム而シテ茲ニ得タル總量ヨリ蒸發皿ノ重量ヲ減シ殘餘ノ差分ニ四ヲ乘スルルルハ水一リートル中ニ含有セル固形物ノ量ヲ得ルナリ
上水ハ毎ニ多少ノ浮游物或ハ沈澱ヲ含有スルカ故ニ之ヲ靜置シ殊ニ霖雨ノ後ノ如キ濁濁甚々シキルルハ之ヲ濾過シ上清或ハ濾過水ニ就テ更ニ固形物ヲ定量セリ表中掲載セル上清中固形物是レナリ故ニ固形物總量ヨリ上清中固形物ノ量ヲ減スレバ輒チ水中含有セル浮游物及沈澱ノ量ヲ知ルヲ得ベシ

第五 格魯兒

檢水二百立方仙迷ヲ取リ重湯煎上ニテ蒸發シ大約二十立方仙迷ニ減容スルニ至リテ放冷シ冷後之ニ格羅謨酸加里溶液一二滴ヲ和シ百分一定規硝酸液ヲ点加シ生スル所ノ赤色ノ復々消失セサルニ至

第六 硝酸

檢水二十立方仙迷ヲ白色ノ陶製皿ニ盛リ重湯煎上ニテ蒸發乾燥セシメ冷後之ニ貌兒失涅結晶一二小片ヲ投シ純濃硫酸四五滴ヲ注加シ着色ノ濃淡ヲ以テ硝酸ノ多少ヲ檢定セリ但シ硝酸多量ヲ存スルハ著シク赤色ヲ呈ス然ルハ「インジコ」液ヲ以テ之レカ定量ヲナスノ順序ナリシニ上水ハ毎ニ痕跡以內ニ止リシヲ以テ未タ一回モ其定量法ヲ施セシナカリシ

第七 亞硝酸

檢水五十立方仙迷ヲ内容大約七十立方仙迷ノ無色ノ有栓硝子圓柱ニ盛リ白紙上ニ置キ之レニ五滴ノ純濃硫酸及二立方仙迷ノ沃度亞鉛澱粉液ヲ注キ着色ノ有無ヲ檢セリ若シ直ニ或ハ時ヲ經テ著シク青色ヲ呈スルハ同一ノ圓柱數個ヲ取り一ニハ檢水五十立方仙迷

東京市水邊水檢査成績

ヲ盛リ他ニハ一立方仙迷中ニ〇、〇一「シリグラム」ノ亞硝酸ヲ含有セ
ル液ノ種々ノ量例ヘハ〇、二ニ或ハ一、二ニ立方仙迷等ヲ加ヘ蒸餾水
ヲ以テ正シク五十立方仙迷トナシ前記ノ如ク純濃硫酸及沃度亞鉛
澱粉液ヲ加ヘテ直ニ或ハ時ヲ經テ着色ノ濃淡ヲ視ヒ比較ス例ヘハ
其着色〇、二ニ立方仙迷ノ亞硝酸液ヲ加ヘタルモノト同一ナルトキ
ハ檢水一リートル中〇、四四ミリグラム「ノ亞硝酸ヲ含有スルモノト
シ又一、二ニ立方仙迷ヲ加ヘタルモノト一致スルハ〇、二四四ミリ
グラム」ヲ含有スルモノトス

第八 安母尼亞

檢水五十立方仙迷ヲ内容大約七十立方仙迷ノ無色有栓硝子圓柱ニ
盛リ白紙上ニ置キ之ニネスレル氏試藥五滴ヲ点加シテ着色ノ有無
ヲ檢ス黄色或ハ黃褐色ヲ呈スルハ別ニ稀薄ノ安母尼亞定量液ヲ以
テ比色定量ヲ行フ其法ハ亞硝酸比色定量法ノ如ク同一ノ數個ノ硝

○五取ハ二五立方仙迷等。加ヘタル水ヲ以テ正シク五十立方仙迷トナシ之ニネスレル氏試薬ヲ加ヘテ着色ノ度ヲ相比較ス例ヘハ安母尼亞液○五立方仙迷ヲ加ヘタルモノト其色相一致スルルハ水一リートル中○五ミリグラムノ安母尼亞ヲ含有セルモノトシ又々二五立方仙迷ヲ加ヘタルモノト同一ナルルハ○二五ミリグラムヲ含有セルモノトス

第九 過滿俺酸加里褪色ノ量(有機物)

檢水(上清)百立方仙迷ヲ内容大約二百立方仙迷ノ「コルフ」ニ盛リ稀硫酸(硫酸一分)五立方仙迷及百分定規過滿俺酸加里液ヲ加ヘ強赤色ヲ呈スルニ至ラシシテ沸スルヲ五分時ノ後手之ニ百分定規稀酸液十立方仙迷ヲ加ヘテ褪色セシメ更ニ之ニ定規過滿俺酸加里液ヲ滴加シテ淡赤色ヲ帶フルヲ度トス而シテ茲ニ費シタル過滿俺酸加里液ノ全量ヨリ稀酸定規液十立方仙迷ニ應スル過滿俺酸加里液ノ量ヲ減シ

殘餘ノ過滿俺酸加里液ノ差分ニ $\frac{316}{100} \times$ (過滿俺酸加里定規液十ccニ應ス) ナ乗スルルハ水一リートル中ニ含有セル有機物ヲ酸化セシムルニ要シタル過滿俺酸加里ノ量ヲ得ルナリ但シ亞硝酸モ亦過滿俺酸加里ヲ褪色セルヲ以テ之ヲ含有スルルハ此法ヲ以テハ正シク有機物ノ爲メ酸化セル過滿俺酸加里ノ量ヲ檢定スルヲ得ズ然ルルハ他法ヲ用フ

第十 細菌

豫メ一日大約二時間ツ、二日間消毒セル蒸餾水九十九立方仙迷ヲ「ピペット」(消毒セルモノナリ以下供)ノ媒介ニテ消毒セル綿栓ヲ有スル「コルフ」内ニ致シ檢水一立方仙迷ヲ「ピペット」ニテ採取シ能ク振盪混和シ此水一立方仙迷ヲ溶解シ置キタル膠質榮養液ニ注加シ又々別ニ半立方仙迷ヲ同榮養液ニ注加シ「ペトリ」皿皿上ニ於テ扁平培養法ヲ行ヒ攝氏二十度ノ温ニ放置シ兩三日ヲ經過スルルハ細菌聚落ヲ發見ス之レヲ計測シテ其數ニ甲板ハ一百乙板ハ二百ヲ乘シテ得

則チ檢水一立方仙迷中ニ四千八百乃至五千箇ヲ有スルノ比例ニシ
 テ之レカ平均數ヲ取ルテ其トス故ニ

$$\frac{4000 + 4000 + 4000 + 4000}{4} = 4000$$
 檢水一立方仙迷中ニハ四千九百箇ノ細菌ヲ有スルモノトス
 第十 神田、玉川兩上水々源實地檢査成績
 東京市内ニ於ケル兩上水ノ調査ヲ爲スニ當リ其水源若クハ水源ニ近
 キ場所ニ於ケル水質ノ檢査成績ヲ記スルハ最モ必要ノコト、思惟ス
 然レトモ本檢査ハ明治二十三年五月中旬玉川及井ノ頭(神田上水ノ水
 源)等ニ三張シテ實地之ヲ行ヒ其記事ハ載セテ前項ニアリ依テ茲ニ之
 ヲ畧ス

第十一 神田玉川兩上水每週檢査成績表 但シ水一リットル中ニ於ケル「ミリグラム」量
 第一回明治廿二年六月十三日探酌

探酌地名	性狀	反應	總量	形物	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿檢査加一立方仙迷 呈色量中 細菌數
關口	澄明	加弱酸性	七六、〇〇			七、一〇	痕跡	〇	〇	二、六一
水道橋	微濁	全	一〇五、〇〇			七、四五	〇	〇	〇	三、九〇
本町河岸	全	全	一一〇、〇〇			七、七〇	極痕	〇	極痕	三、九〇
綠橋	全	全	一〇四、〇〇			九、二三	全	〇	〇	五、三七
米澤町	全	全	一〇〇、〇〇			八、五二	〇	〇	〇	五、三七
本材木町	全	全	一一六、〇〇			一三、四九	痕跡	痕跡	〇	三、六八
四ッ谷大木戸	澄明	全	七六、〇〇			一、四二	〇	〇	〇	四、六〇
麹町十三丁目	全	全	八二、〇〇			三、一九	〇	〇	〇	二、三〇
金杉橋	微濁	全	七〇、〇〇			一、四二	極痕	極痕	〇	二、九一
新船橋町	全	全	八六、〇〇			三、一九	〇	〇	〇	四、四五
新船橋町	全	全	八六、〇〇			三、一九	〇	〇	〇	四、四五

第三回六月二十九日探酌

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過錳酸鉀一立方厘米里顏色	中微菌數
關口	微濁	弱亞爾加	七六〇〇		七四六	痕跡	○	○	三、六八	一三〇〇
水道橋	全	全	九二〇〇		八、五二	全	○	痕跡	五、二一	五五五〇
本町河岸	全	全	九四〇〇		八、五二	全	○	痕跡	四、二九	五二五〇
綠橋	全	全	一〇〇〇〇		九、二三	○	○	痕跡	五、二一	九一五〇
米澤町	全	全	七六〇〇		八、八七	痕跡	○	○	四、二九	七三五〇
本材木町	全	全	九八〇〇		九、九四	僅微	○	痕跡	四、六〇	一七八五〇
四ッ谷大木戸	澄明	全	六八〇〇		一、四二	全	○	○	二、四五	六五〇
麹町十三丁目	全	全	七六〇〇		一、四二	全	○	○	二、四五	二〇五〇
金杉橋	微濁	全	六六〇〇		一、四三	全	○	○	二、四五	三九〇〇
新船松町	全	全	七〇〇〇		一、七八	全	○	○	二、七六	四七〇〇
靖國神社前	全	全	八〇〇〇		一、七八	痕跡	○	極痕	三、三八	三七〇〇

東京市水道水検査成績

第三回六月二十六日探酌

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過錳酸鉀一立方厘米里顏色	中微菌數
關口	微弱	弱亞爾加	八八〇〇		七、一〇	痕跡	○	○	三、五三	一四六五〇
水道橋	全	全	八六〇〇		七、四六	全	○	○	三、六八	二二一〇〇
本町河岸	全	全	九四〇〇		七、六三	極痕	○	痕跡	三、九八	二六八五〇
綠橋	全	全	九四〇〇		七、九五	全	全	全	五、〇六	三七七五〇
米澤町	微濁	全	九〇〇〇		一〇、一二	痕跡	○	○	五、〇六	三五六二〇
本材木町	微濁	全	九八〇〇		一一、三六	全	○	○	四、二九	四六五〇〇
四ッ谷大木戸	微濁	全	五八〇〇		一、〇七	○	○	○	一、八四	一三二〇
麹町十三丁目	全	全	七〇〇〇		一、〇七	○	○	○	一、三三	一五六〇
金杉橋	全	全	七〇〇〇		一、三三	極痕	○	○	一、九九	一七一五〇
新船松町	全	全	七四〇〇		一、七〇	全	○	○	二、三〇	一五〇〇〇

探酌地名	性狀	反應	總量	形物	上清中固	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	單體色量	中微菌數
關口	微濁	野亞爾加	八四、〇〇			五、九五	痕跡	極痕	極痕	三、八三	九三〇〇
水道橋	全	全	一〇〇、〇〇			六、〇四	全	全	全	四、九九	八〇〇〇
本町河岸	全	全	一一四、〇〇			六、二一	全	痕跡	全	五、一一	一〇九〇〇
綠橋	濁	全	一〇八、〇〇			七、一〇	全	全	全	六、三二	一一三〇〇
米澤町	微濁	全	一一〇、〇〇			一〇、三〇	全	痕跡	痕跡	四、九九	八九二〇
本材木町	濁	全	一九八、〇〇			二、三七九	全	〇、二四三	僅微	六、五八	一七三〇〇
四ッ谷大木戸	微濁	全	七〇、〇〇			一、〇七	全	〇	〇	二、五〇	五七五〇
廻町十三丁目	全	全	七八、〇〇			一、一五	全	〇	極痕	二、八三	四七五〇
金杉橋	全	全	七八、〇〇			一、四二	全	〇	全	二、九九	三二〇〇
新船松町	全	全	七二、〇〇			二、八四	全	〇	〇	一、九九	三九〇〇
靖國神社前	全	全	七六、〇〇			〇、八九	全	〇	極痕	一、六七	四四〇〇

東京市水道水検査成績

第五回七月十日探酌

探酌地名	性狀	反應	總量	形物	上清中固	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	單體色量	中微菌數
關口		野亞爾加	一三〇、〇〇		八二、〇〇	五、八六	痕跡	痕跡	痕跡	二、二五	
水道橋		全	一三六、〇〇		一〇〇、〇〇	七、二八	全	全	全	二、七四	
本町河岸		全	一五二、〇〇		一〇四、〇〇	八、五二	全	〇、〇七四	全	二、五八	
綠橋	小虫二尾アリ	全	一四四、〇〇		九八、〇〇	九、二三	全	〇、〇九四	全	二、五八	
米澤町		全	一二八、〇〇		一〇〇、〇〇	一一、五四	全	〇、二四三	全	二、五八	
本材木町		全	一八四、〇〇		一六六、〇〇	二、三三七	僅微	一、二二五	僅微	四、八四	
四ッ谷大木戸		全	一六〇、〇〇		七〇、〇〇	二、四九	痕跡	〇	〇	一、九三	
廻町十三丁目		全	一七〇、〇〇		八四、〇〇	二、六六	全	〇	〇	一、九三	
金杉橋	小虫及其尾アリ	全	一八〇、〇〇		七六、〇〇	三、三七	全	痕跡	〇	二、五八	
新船松町		全	二二四、〇〇		一四二、〇〇	一、二四三	全	僅微	〇	二、九〇	

融化學數ルハ能ス

探酌地名	性狀	反應	總固形物	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿酸加一立方仙迷里褪色量	中微菌數
關口	微濁	弱性弱加	一一八、〇〇	七八、〇〇	五、八六	全	極痕	〇	二、六九	五一五〇
水道橋	全	弱性弱加	一一〇、〇〇	九二、〇〇	七、一〇	全	全	〇	二、七〇	融化
本町河岸	濁	全	一〇八、〇〇	九八、〇〇	六、七五	全	全	〇、二四三	二、三五	一一〇五〇
綠橋	全	全	一一四、〇〇	九二、〇〇	七、二九	全	痕跡	痕跡	二、〇二	一六七五〇
米澤町	微濁	全	八八、〇〇	八六、〇〇	七、九〇	全	〇	〇	三、二〇	一五三〇〇
本材木町	濁	全	一三〇、〇〇	一二〇、〇〇	一四、五六	全	痕跡	痕跡	四、八一	—
四ッ谷大木戸	微濁	全	八二、〇〇	七八、〇〇	一、四二	全	痕跡	全	〇、七八	三八五〇
約町十三丁目	全	全	七六、〇〇	六六、〇〇	一、六〇	全	〇	〇、七八	〇、七一	五一〇〇
金杉橋	全	全	八八、〇〇	六八、〇〇	二、五七	全	極痕	〇、一九三	—	—
新船松町	全	全	三二八、〇〇	一八六、〇〇	二九、四七	全	全	〇、一四六	四、七〇	二六四五〇
靖國神社前	全	全	七四、〇〇	六二、〇〇	一、六〇	全	〇	〇、五八四	〇、七八	五五〇〇

東京市水道水検査成績

第七回七月二十五日探酌

探酌地名	性狀	反應	總固形物	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿酸加一立方仙迷里褪色量	中微菌數
關口	微濁	弱性弱加	一〇六、〇〇	七六、〇〇	五、八六	痕跡	〇	〇	二、一六	六二〇〇
水道橋	濁	全	一一〇、〇〇	八六、〇〇	六、七五	全	〇	〇	二、一六	一〇五〇〇
本町河岸	微濁	全	一一四、〇〇	八四、〇〇	七、九九	全	〇	〇	二、一六	八七五〇
綠橋	全	全	二二八、〇〇	一〇〇、〇〇	八、七〇	全	〇	〇	二、七八	四五六〇
米澤町	濁	全	二二八、〇〇	二四、〇〇	一一、一八	全	痕跡	痕跡	三、一〇	一〇六五〇
本材木町	全	全	一五二、〇〇	一四八、〇〇	一六、三三	全	痕跡	痕跡	三、七二	一一四〇〇
四ッ谷大木戸	澄明	全	一〇五、〇〇	六二、〇〇	一、四二	全	全	全	一、二四	一一〇〇
約町十三丁目	全	全	一〇五、〇〇	六四、〇〇	一、四二	全	〇	〇	一、二四	一一〇〇
金杉橋	微濁	全	一〇〇、〇〇	六四、〇〇	一、四二	全	〇	〇	一、五五	三七五〇
新船松町	全	全	一一二、五〇	八二、〇〇	三、七二	全	極痕	極痕	一、八六	四六三〇

採酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿掩酸加一立方仙迷里糖色量	中微菌數
關口	微濁	弱顯加	九〇,〇〇〇	六六,〇〇〇	六,〇三	痕跡	〇	〇	一,三三	六一〇〇
水道橋	全	全	一〇六,〇〇〇	八〇,〇〇〇	六,三九	全	〇	〇	〇,九二	二八五〇〇
本町河岸	濁	全	一〇〇,〇〇〇	八二,〇〇〇	六,七五	全	〇	〇	一,六九	三三〇〇〇
綠橋	全	全	二二六,〇〇〇	八二,〇〇〇	七,四六	全	〇	〇	一,五三	四一五〇
米澤町	全	全	八六,〇〇〇	七四,〇〇〇	七,二〇	全	〇	〇	一,八四	二一五〇〇
本材木町	全	全	二二〇,〇〇〇	一一八,〇〇〇	一三,六七	全	〇	極痕	二,九一	六七四五〇
四ッ谷大木戸	微濁	全	九四,〇〇〇	六四,〇〇〇	一,六〇	全	〇	〇	〇,九二	九〇〇〇
廻町十三丁目	全	全	八四,〇〇〇	六四,〇〇〇	一,六〇	全	〇	〇	〇,九二	一〇八〇〇
金杉橋	濁	全	八〇,〇〇〇	六二,〇〇〇	二,八四	全	〇	〇	一,〇九	四〇五〇〇
新船松町	全	全	二七八,〇〇〇	一五二,〇〇〇	二,八八	全	〇	〇	二,一八	三二九〇〇
靖國神社前	微濁	全	七二,〇〇〇	七二,〇〇〇	一,六〇	痕跡	痕跡	〇	〇,九二	一二六〇〇

東京市水道水検査成績

第九回八月七日採酌

採酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿掩酸加一立方仙迷里糖色量	中微菌數
關口	全	弱顯加	八六,〇〇〇	八二,〇〇〇	五,五〇	痕跡	〇	〇	一,八五	一〇五〇〇
水道橋	全	全	一〇四,〇〇〇	八六,〇〇〇	五,八六	全	〇	〇	二,〇〇	三七〇〇
本町河岸	全	全	一〇六,〇〇〇	八六,〇〇〇	六,三〇	全	〇	〇	二,二二	七八〇〇
綠橋	全	全	一一四,〇〇〇	九四,〇〇〇	六,七五	全	〇	〇	二,七七	一四五五〇
米澤町	全	全	八八,〇〇〇	八六,〇〇〇	六,七五	全	〇	〇	二,七七	一三四〇〇
本材木町	全	全	一〇六,〇〇〇	一〇四,〇〇〇	八,〇五	全	〇	〇	三,五四	七五〇〇
四ッ谷大木戸	全	全	六四,〇〇〇	六六,〇〇〇	一,四二	全	〇	〇	〇,六二	五〇〇〇
廻町十三丁目	全	全	七〇,〇〇〇	六六,〇〇〇	一,五一	全	〇	〇	〇,六二	二〇五〇
金杉橋	全	全	七六,〇〇〇	六五,二〇〇	三,三七	全	〇	〇	〇,四六	一六五〇
新船松町	全	全	七二,〇〇〇	六八,〇〇〇	一,六〇	全	〇	〇	三,三八	一一四七〇

採取地名	性状	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	遊離色量	中微菌數
關口		弱亞爾加	八六、〇〇	七八、〇〇	五、三三	痕跡	痕跡	〇	〇、九五	一〇〇〇
水道橋			一〇八、〇〇	八八、〇〇	五、三三	全	全	〇	〇、九五	三二〇〇
本町河岸			一一二、二八	九二、〇〇	六、二二	全	全	〇	一、二六	二四〇〇
綠橋			一一四、〇〇	八二、〇〇	六、五六	全	全	極痕	一、五八	一〇七〇〇
米澤町			一〇四、〇〇	八〇、〇〇	六、〇三	全	全	全	二、二〇	一三四五〇
本材木町			一二四、八〇	一二四、〇〇	九、四〇	全	全	痕跡	一、九〇	一三五〇〇
四ッ谷大木戸			一〇二、〇〇	六八、〇〇	一、五九	全	全	〇	一、二六	二五〇
廻町十三丁目			一〇四、〇〇	六六、〇〇	一、五九	全	全	〇	一、二六	一三五〇
金杉橋			八二、八〇	七〇、〇〇	一、九〇	全	極痕	〇	五〇六	五五五〇
新船松町			九六、〇〇	六六、八〇	二、三〇	全	全	〇	一、五八	二〇六五〇
靖國神社前			一〇二、二〇	二〇二、二〇	一、五九	全	痕跡	〇	一、五八	一〇五〇

東京市水道水検査成績

四十五

第十一回八月廿一日採取(前三日間時々暴風雨)

採取地名	性状	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	遊離色量	中微菌數
關口		弱亞爾加	八六、〇〇	七八、〇〇	五、三三	痕跡	痕跡	〇	三、四七	二三五〇
水道橋			九〇、〇〇	七八、〇〇	五、六八	全	全	〇	三、四七	一九〇〇
本町河岸			八九、〇〇	七六、〇〇	五、六八	全	全	〇	三、一六	二六五〇
綠橋			一〇七、〇〇	一〇〇、〇〇	五、六八	全	全	〇	五、六九	一六三五〇
米澤町			九四、〇〇	八四、〇〇	六、二四	全	全	〇	四、四三	融化する為不明
本材木町			一一八、〇〇	一〇八、〇〇	一〇、四七	全	全	〇	四、四三	融化する為不明
四ッ谷大木戸			九〇、〇〇	六四、〇〇	一、二四	全	極痕	〇	二、二二	二三〇〇
廻町十三丁目			九二、〇〇	六六、八〇	一、二四	全	全	〇	二、二二	二八〇〇
金杉橋			九八、〇〇	六九、〇〇	二、三〇	全	全	〇	二、二二	五〇〇〇
新船松町			八九、〇〇	六八、〇〇	一、五六	全	全	〇	二、八五	一五九五〇

四十六

地名	性狀	反應	總量	形物	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣	中微菌數
關口		弱酸性	九四、〇〇	七二、〇〇	三、八三	痕跡	痕跡	〇	三、七五	六四五〇
水道橋			八〇、〇〇	八〇、〇〇	四、一二	全	全	〇	三、七五	一三三五〇
本町河岸			七六、〇〇	七四、〇〇	四、二六	全	全	〇	三、七五	七二五〇
綠橋			九八、〇〇	八八、〇〇	四、九七	全	全	〇	四、四二	二七八五〇
米澤町			一〇二、〇〇	九四、〇〇	六、一〇	全	全	痕跡	五、三七	一六三五〇
本材木町			一三二、〇〇	一一八、〇〇	八、三三	全	全	〇	六、三二	一八七五〇
四ッ谷大木戸			六四、〇〇	五八、〇〇	一、二八	全	全	〇	一、二六	一九〇〇
總町十三丁目			六八、〇〇	五八、〇〇	一、二八	全	全	〇	一、二六	二八〇〇
金杉橋			六六、〇〇	六〇、〇〇	一、二八	全	全	〇	一、二六	一三七五〇
新船松町			八〇、〇〇	七〇、〇〇	一、八五	全	全	〇	一、二六	八三五〇
靖國神社前			六八、〇〇	六〇、〇〇	一、二八	全	全	〇	〇、六三	二六〇〇

東京市水道水検査成績

第十三回 九月五日採酌

採酌地名	性狀	反應	總量	形物	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣	中微菌數
關口		弱酸性	七三、二〇	七二、〇〇	五、一五	痕跡	痕跡	〇	二、二二	一五二〇
水道橋			一〇四、〇〇	七八、二〇	五、五〇	全	全	〇	二、二二	三三〇〇
本町河岸			九八、〇〇	七六、〇〇	六、〇三	全	全	〇	二、二二	四六二〇
綠橋			一〇二、〇〇	一〇〇、〇〇	九、四〇	全	極痕跡	痕跡	二、二二	四三〇〇
米澤町			九〇、〇〇	一〇四、〇〇	八、八七	全	全	〇	二、八五	三三〇〇
本材木町			一四二、〇〇	一三三、〇〇	一五、〇八	全	痕跡	〇	四、四二	五三二〇
四ッ谷大木戸			七六、〇〇	五八、〇〇	一、〇六	全	全	〇	一、二六	一一〇〇
總町十三丁目			七〇、〇〇	六〇、〇〇	一、二四	全	全	〇	一、二六	一三二〇
金杉橋			七〇、〇〇	六二、〇〇	二、三〇	全	全	〇	一、五八	一七〇〇
新船松町			八七、二〇	八七、〇〇	四、九七	全	全	〇	二、八四	二〇五〇

第十四回九月十八日採酌

採酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃倍數加 一立方仙送 里遜色量	中微菌數
關口		弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性	一六〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	八二七	痕跡	〇	〇	四二二	三三三〇〇
水道橋		全	一三二,〇〇〇	七〇,〇〇〇	九五〇	全	〇	極痕	四〇七	二八二〇〇
本町河岸		全	一五四,〇〇〇	八六,〇〇〇	一一一八	全	〇	全	四〇七	六六二〇〇
綠橋		全	一五六,〇〇〇	二二〇,〇〇〇	一三三二二	全	〇	全	四〇七	二三五五〇
米澤町		全	一四二,〇〇〇	二二二,〇〇〇	一四九一	全	〇,〇〇九四	全	四六九	一一七〇〇
本材木町		全	一七四,〇〇〇	二四二,〇〇〇	一八九九	全	〇,〇一九三	痕跡	四五三	三〇二〇〇
四ツ谷大木戸		全	九〇〇,〇〇〇	一〇六,〇〇〇	三五五	全	〇	極痕	九六二	二七五〇〇
總町十三丁目		全	六五四,〇〇〇	七四,〇〇〇	三七三	全	〇	痕跡	八五〇	二六七五〇
金杉橋		全	二五八,〇〇〇	八四,〇〇〇	六二二	全	痕跡	全	七九〇	二五〇〇〇
新船松町		全	—	—	—	痕跡	—	—	—	一七七五〇
靖國神社前		全	三九二,〇〇〇	七四,〇〇〇	三九九	痕跡	〇	痕跡	八八二	二六一〇〇

東京市水道水検査成績

第十五回九月十八日採酌

採酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃倍數加 一立方仙送 里遜色量	中微菌數
關口		弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性 弱性	一〇〇,〇〇〇	六四,〇〇〇	五三三	痕跡	〇	〇	一六〇	一一六〇〇
水道橋		全	九六,〇〇〇	六八,〇〇〇	六七五	全	〇	〇	二四〇	一三五〇〇
本町河岸		全	一〇八,〇〇〇	七八,〇〇〇	七六三	全	〇	極痕	二一〇	二七七五〇
綠橋		全	一一八,〇〇〇	九二,〇〇〇	九五九	全	〇,〇一九三	痕跡	二一〇	一四六五〇
米澤町		全	一〇八,〇〇〇	九六,〇〇〇	一〇四七	全	痕跡	痕跡	二七三	一〇三五〇
本材木町		全	一九〇,〇〇〇	九八,〇〇〇	二二一九	全	〇	〇	四三三	八九五〇
四ツ谷大木戸		全	一一四,〇〇〇	六八,〇〇〇	一六八	全	〇	〇	一四四	一一一五〇
總町十三丁目		全	一三〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	一八四	全	〇	〇	二一〇	二五五〇〇
金杉橋		全	一一六,〇〇〇	六四,〇〇〇	二八四	全	〇	〇	二一〇	二八三〇〇
新船松町		全	—	—	—	全	〇	〇	—	—
靖國神社前		全	三九二,〇〇〇	九四,〇〇〇	六八二	全	〇	〇	二七三	二七〇〇

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃倍加 里褪色量	一立方仙迷 中微菌數
關口		弱酸性 弱加	八八、〇〇	六六、〇〇	六、〇四	痕跡	〇	極痕	一、九五	九三〇〇
水道橋		全	九二、〇〇	七〇、〇〇	六、五七	全	〇	全	二、二一	一〇五〇〇
本町河岸		全	一〇四、〇〇	七二、〇〇	七、四六	全	〇	全	二、二二	一二四〇〇
綠橋		全	一〇八、〇〇	九二、〇〇	九、〇五	全	〇	全	二、四四	九二〇〇
米澤町		全	九〇、〇〇	八六、〇〇	八、七〇	全	〇	全	三、四二	八九五〇
本材木町		全	一四二、〇〇	一三六、〇〇	一六、三三	痕跡	痕跡	痕跡	三、五八	九七五〇
四ッ谷大木戸		全	七二、〇〇	六四、〇〇	一、七八	全	〇	〇	一、二四	二九五〇
麴町十三丁目		全	七八、〇〇	七〇、〇〇	一、七八	全	〇	〇	二、四七	三一〇〇
金杉橋		全	八八、〇〇	六八、〇〇	二、四九	全	〇	極痕	二、二二	七五〇〇
新船松町		全	九二、〇〇	九〇、〇〇	五、三三	全	〇	痕跡	二、二八	一二五〇〇
靖國神社前		全	八八、〇〇	六四、〇〇	二、一三	全	〇	全	一、七九	四七五〇

東京市水道水検査成績

樋修 中 繕 付 檢 能 八 能 六 能 四 能 二 能 〇 能

第十七回十月二日探酌

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃倍加 里褪色量	一立方仙迷 中微菌數
關口		全	七四、〇〇	五六、〇〇	一、七八	痕跡	〇	〇	〇、六五	一三〇〇
水道橋		全	七〇、〇〇	五八、〇〇	二、二三	全	〇	〇	〇、六五	一三五〇
本町河岸		全	七六、〇〇	六四、〇〇	二、七五	全	極痕	〇	〇、九五	二五〇〇
綠橋		全	八四、〇〇	七〇、〇〇	三、五五	全	〇	〇	〇、八二	二二五〇
米澤町		全	七四、〇〇	五六、〇〇	一、七八	痕跡	〇	〇	〇、六五	一三〇〇
本材木町		全	七〇、〇〇	五八、〇〇	二、二三	全	〇	〇	〇、六五	一三五〇
四ッ谷大木戸		全	七四、〇〇	五六、〇〇	一、七八	痕跡	〇	〇	〇、六五	一三〇〇
麴町十三丁目		全	七〇、〇〇	五八、〇〇	二、二三	全	〇	〇	〇、六五	一三五〇
金杉橋		全	七六、〇〇	六四、〇〇	二、七五	全	極痕	〇	〇、九五	二五〇〇
新船松町		全	八四、〇〇	七〇、〇〇	三、五五	全	〇	〇	〇、八二	二二五〇
靖國神社前		全	八四、〇〇	七〇、〇〇	三、五五	全	〇	〇	〇、八二	二二五〇

探酌地名	性状	反應	總量	形物	上清中固	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	濁濁係酸加一立方厘米 呈褐色量	中微菌數
關口		異性 對亞爾加	七六、〇〇	七〇、〇〇	四、二六	痕跡	〇	〇	〇	一、三六	四〇〇〇
水道橋			九四、〇〇	八〇、〇〇	四、九七	全	〇	〇	〇	一、三六	四〇五〇
本町河岸			八八、〇〇	七六、〇〇	五、五〇	全	〇	〇	〇	一、三六	四七〇〇
綠橋			一一〇、〇〇	八〇、〇〇	六、二二	全	〇	〇	〇	一、七〇	四二五〇
米澤町			一一二、〇〇	九六、〇〇	六、五七	全	痕跡	痕跡		二、二二	五〇五〇
本材木町			一〇二、〇〇	八二、〇〇	一一、八九	全	〇	〇	〇	二、三八	三三〇〇
四ッ谷大木戸			六四、〇〇	五〇、〇〇	一、四二	全	〇	〇	〇	〇、六八	二〇五〇
總町十三丁目			六四、〇〇	五二、〇〇	一、四二	全	〇	〇	〇	一、〇二	二二五〇
金杉橋			六八、〇〇	五〇、〇〇	一、六〇	全	〇	〇	〇	一、〇二	二二〇〇
新船松町			七〇、〇〇	五二、〇〇	一、七八	全	〇	〇	〇	一、三六	四四五〇
靖國神社前			六六、〇〇	五〇、〇〇	一、四二	全	〇	〇	〇	一、〇二	二八五〇

京京市水道水検査成績

第十九回 十月十六日 探酌

探酌地名	性状	反應	總量	形物	上清中固	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	濁濁係酸加一立方厘米 呈褐色量	中微菌數
關口		異性 對亞爾加	一五〇、〇〇	六六、〇〇	六、六七	痕跡	〇	〇	全	二、七六	二二一五〇
水道橋			一五二、〇〇	六六、〇〇	七、二八	全	〇	〇	全	二、七六	三四八五〇
本町河岸			一三四、〇〇	七四、〇〇	七、九九	全	〇	〇	全	二、九一	六五一五〇
綠橋			一二六、〇〇	九二、〇〇	八、一七	全	〇	〇	全	三、〇六	二〇〇五〇
米澤町			一一八、〇〇	一一二、〇〇	一一、四三	全	〇、〇七	痕跡	全	三、六八	一一三五〇
本材木町			一二三、〇〇	一一八、〇〇	一二、九六	全	痕跡	全	全	三、〇六	五六〇〇
四ッ谷大木戸			八八、〇〇	六二、〇〇	一、三三	全	〇	〇	全	〇、九二	一一七五〇
總町十三丁目			九〇、〇〇	七〇、〇〇	一、五一	全	〇	〇	全	一、三八	二九四〇〇
金杉橋			七八、〇〇	六六、〇〇	二、一三	全	〇	〇	全	一、〇七	二二〇〇〇
新船松町			一〇二、〇〇	八六、〇〇	二、四六	全	〇	〇	全	〇、九二	六二〇〇〇

採酌地名	性狀	反應	總量	形物	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	里羅色量	中微菌數
關口		弱亞爾加	七六、〇〇	七二、〇〇	四、七九	痕跡	〇	〇	〇、九四	二七〇〇
水道橋			八四、〇〇	七六、〇〇	五、五〇	全	〇	〇	〇、九四	六八五〇
本町河岸			八二、〇〇	七二、〇〇	六、二一	全	〇	〇	〇、九四	七〇五〇
綠橋			八六、〇〇	八六、〇〇	七、四六	全	〇	〇	〇、九四	三二五〇
米澤町			九〇、〇〇	八八、〇〇	七、八一	全	〇	〇	一、八八	三三〇〇
本村木町			一二四、〇〇	一二六、〇〇	一二、三一	全	〇	〇	一、八八	五四五〇
四ッ谷大木戸			七六、〇〇	六〇、〇〇	一、六〇	全	〇	〇	〇、四七	一二〇〇
廻町十三丁目			六六、〇〇	六四、〇〇	一、六〇	全	〇	〇	〇、九四	五三〇〇
金杉橋			六八、〇〇	六四、〇〇	一、七八	全	〇	〇	一、二五	一二五〇
新船松町			七二、〇〇	七六、〇〇	一、六〇	全	〇	〇	〇、九四	三三〇〇
靖國神社前			六六、〇〇	六二、〇〇	一、四三	全	〇	〇	〇、九四	一〇五〇

東京市水道水検査成績

採酌地名	性狀	反應	總量	形物	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿飽酸加里羅色量	中微菌數
關口		弱亞爾加	七四、〇〇	六四、〇〇	四、六二	痕跡	〇	〇	〇、六三	二二五〇
水道橋			八四、〇〇	六四、〇〇	四、九六	全	〇	〇	〇、六三	七四五〇
本町河岸			七八、〇〇	六六、〇〇	五、四八	全	〇	〇	〇、六三	八六二〇
綠橋			九一、二〇	七八、〇〇	六、一六	全	〇	〇	一、一一	三〇〇〇
米澤町			八六、〇〇	八二、〇〇	七、七〇	全	極痕	〇	二、〇五	三〇五〇
本村木町			一二八、〇〇	一二六、〇〇	一二、八四	全	痕跡	〇	二、〇五	五五五〇
四ッ谷大木戸			六二、〇〇	五四、〇〇	一、三七	全	〇	〇	〇、六五	一〇〇〇
廻町十三丁目			七〇、〇〇	六二、〇〇	一、五四	全	〇	〇	〇、六五	二七〇〇
金杉橋			六八、〇〇	五六、〇〇	二、〇五	全	〇	〇	〇、七九	二九〇〇
新船松町			七二、〇〇	六二、〇〇	二、九九	全	〇	〇	一、四二	三七五〇

探酌地名	性状	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿色量	中微菌數
關口		弱亞爾加	七六、〇〇	七三、〇〇	四、七一	痕跡	〇	〇	〇、四六	一瓶流失ノ爲
水道橋			七六、〇〇	七三、〇〇	四、九六	全	〇	〇	〇、四六	三九五〇
本町河岸			八二、〇〇	八〇、〇〇	五、四八	全	〇	〇	一、〇七	三九〇〇
綠橋			八八、〇〇	八〇、〇〇	五、九九	全	〇	〇	一、〇七	二七五〇
米澤町			九四、〇〇	八六、〇〇	七、五三	全	痕跡	〇	一、〇七	二五〇〇
本村木町			一二八、〇〇	一二〇、〇〇	一〇、六一	全	全	〇	一、八四	三二五〇
四ッ谷大木戸			六〇、〇〇	五八、〇〇	一、二八	全	〇	〇	〇、四六	七〇〇
麹町十三丁目			六六、〇〇	五八、〇〇	一、二八	全	〇	〇	〇、六一	一八五〇
金杉橋			六六、〇〇	五八、〇〇	二、五六	全	〇	〇	〇、七七	一〇五〇
新船松町			六二、〇〇	六二、〇〇	一、八八	全	〇	〇	〇、六一	一二〇〇
靖國神社前			六八、〇〇	六〇、〇〇	一、二八	全	〇	〇	〇、四六	七〇〇

京京市水道水検査成績

第二十三回十一月十三日探酌

探酌地名	性状	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿色量	中微菌數
關口		弱亞爾加	六四、〇〇	六二、〇〇	四、四五	痕跡	〇	〇	〇、九一	四〇五〇
水道橋			七二、〇〇	七〇、〇〇	四、八八	全	〇	〇	〇、九一	五〇五〇
本町河岸			七二、〇〇	七〇、〇〇	四、九六	全	〇	〇	〇、九一	一二四〇〇
綠橋			八二、〇〇	七二、〇〇	六、六八	全	〇	〇	一、三七	四六五〇
米澤町			七二、〇〇	七二、〇〇	八、三九	全	〇	〇	一、五一	二四五〇
本村木町			一一〇、〇〇	一〇四、〇〇	一〇、七九	全	極痕	〇	一、八二	三七〇〇
四ッ谷大木戸			六四、〇〇	六二、〇〇	一、〇三	全	〇	〇	〇、六一	九五〇
麹町十三丁目			六六、〇〇	六四、〇〇	一、五四	全	〇	〇	〇、七六	一六五〇
金杉橋			七二、〇〇	七〇、〇〇	二、〇五	全	〇	〇	〇、九一	一四〇〇
新船松町			六四、〇〇	六二、〇〇	二、三三	全	〇	〇	〇、九一	一一〇〇

探酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣 里維色量	一立方 中酸數
關口		弱酸性	七六、〇〇	七二、〇〇	五四八	痕跡	〇	〇	〇、九一	八九〇〇
水道橋		全	八二、〇〇	七八、〇〇	六五一	全	〇	〇	〇、九一	九三五〇
本町河岸		全	八二、〇〇	八〇、〇〇	六六二	全	〇	〇	一、三七	一五九五〇
綠橋		全	八二、〇〇	八二、〇〇	七一九	全	〇	〇	〇、九一	一四五五〇
米澤町		全	八八、〇〇	八八、〇〇	八七三	全	〇	〇	一、六七	一八〇五〇
本材木町		全	一〇八、〇〇	一一〇、〇〇	一一、三三	全	極痕	極痕	一、八二	二三二五〇
四ッ谷大木戸		全	七〇、〇〇	六二、〇〇	二、五七	全	〇	〇	〇、六一	四八〇〇
龜町十三丁目		全	七二、〇〇	六二、〇〇	三、四二	全	〇	〇	〇、六一	五三五〇
金杉橋		全	六八、〇〇	六八、〇〇	三、七七	全	〇	〇	〇、六一	五八五〇
新船松町		全	七〇、〇〇	七〇、〇〇	五、六六	全	〇	〇	〇、六一	三四〇〇
靖國神社前		全	七六、〇〇	六二、〇〇	一、八九	全	〇	〇	〇、六一	四九五〇

東京市水道水検査成績

第二十五回十一月廿七日探酌

探酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣 里維色量	一立方 中酸數
關口		弱酸性	一二四、〇〇	七三、〇〇	六、三六	痕跡	極痕	極痕	一、九〇	二七九〇〇
水道橋		全	一一八、〇〇	七六、〇〇	七、二四	全	全	全	一、九〇	三〇三二〇
本町河岸		全	一二〇、〇〇	八二、〇〇	八、二三	全	全	全	二、五三	四二五〇〇
綠橋		全	一一〇、〇〇	八六、〇〇	七、九五	全	全	全	二、二二	四六八〇〇
米澤町		全	一〇〇、〇〇	九六、〇〇	九、三七	全	全	全	一、二六	五一〇〇
本材木町		全	一一六、〇〇	一一〇、〇〇	一一、五五	全	痕跡	全	二、〇五	六七〇〇
四ッ谷大木戸		全	八〇、〇〇	七〇、〇〇	一、九四	全	極痕	全	〇、六三	三六〇〇
龜町十三丁目		全	七〇、〇〇	六八、〇〇	一、九四	全	全	全	〇、六三	二七〇〇
金杉橋		全	七二、〇〇	七〇、〇〇	二、八三	全	全	全	〇、九五	二四〇〇
新船松町		全	七六、〇〇	七六、〇〇	二、六五	全	全	全	〇、六三	二四〇〇

探酌地名	性状	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃酸加一立方厘米 呈色量	中酸量
關口	澄清	全	六四、〇〇	六二、〇〇	四、五九	痕跡	〇	〇	一、一二	一、一〇〇
水道橋	全	全	七四、〇〇	七二、〇〇	五、〇四	全	〇	〇	〇、九六	一七〇〇
本町河岸	微濁	全	七六、〇〇	七二、〇〇	五、一二	全	〇	〇	〇、九六	一三〇五〇
綠橋	全	全	八四、〇〇	七八、〇〇	五、六五	全	〇	〇	一、二八	七九五〇
米澤町	全	全	七六、〇〇	七四、〇〇	六、〇一	全	〇	〇	一、四四	一一〇〇
本材木町	汚濁	全	一五二、〇〇	九六、〇〇	一、四九	全	痕跡	極痕	三、八三	三六五〇
四ツ谷大木戸	微濁	全	六二、〇〇	六〇、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、六四	三〇〇
廻町十三丁目	全	全	六八、〇〇	五八、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、九六	四五〇
金杉橋	全	全	七二、〇〇	六四、〇〇	一、七七	全	〇	〇	一、二八	一一〇〇
新船松町	濁濁	全	六八、〇〇	六二、〇〇	二、一二	全	〇	〇	一、二八	一三五〇
靖國神社前	微濁	全	六四、〇〇	五八、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、九六	四〇〇

東京市水道水検査成績

第二十七回十二月十一日探酌

探酌地名	性状	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃酸加一立方厘米 呈色量	中酸量
關口	澄清	全	六六、〇〇	六〇、〇〇	四、九五	痕跡	痕跡	〇	〇、六三	一三〇〇
水道橋	全	全	六六、〇〇	六四、〇〇	五、六五	全	全	〇	〇、六三	一三〇〇
本町河岸	微濁	全	六七、〇〇	六二、〇〇	五、六五	全	全	〇	〇、九五	一八五〇
綠橋	全	全	七〇、〇〇	六二、〇〇	六、三六	全	全	〇	〇、九五	五二五〇
米澤町	全	全	七二、〇〇	六四、〇〇	六、〇一	全	全	〇	一、一一	六七〇〇
本材木町	全	全	九八、〇〇	八八、〇〇	九、九〇	全	全	〇	一、七四	二三〇〇
四ツ谷大木戸	澄清	全	六四、〇〇	五八、〇〇	一、二四	全	全	〇	〇、六三	四五〇
廻町十三丁目	全	全	六六、〇〇	六〇、〇〇	七、七七	全	全	〇	〇、六三	五五〇
金杉橋	全	全	六八、〇〇	六二、〇〇	二、一二	全	全	〇	〇、七九	二〇五〇
新船松町	全	全	六二、〇〇	六〇、〇〇	一、九四	全	極痕	〇	〇、七九	六〇〇

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣一立方仙迷里總色量	中酸指數
關口	澄清	弱亞爾加	六八〇〇	六四〇〇	六一八	痕跡	極痕	〇	〇、四八	九〇〇
水道橋	全	全	七六〇〇	六六〇〇	六一八	全	全	〇	〇、四八	二〇五〇
本町河岸	全	全	七四〇〇	七〇〇〇	五、六五	全	全	〇	〇、四八	二九五〇
綠橋	全	全	七八〇〇	七四〇〇	六、五四	全	全	〇	〇、六四	三六五〇
米澤町	微濁	全	八二〇〇	七四〇〇	六、七一	全	痕跡	〇	〇、九六	一〇五〇
本材木町	全	全	一〇二〇〇	九二〇〇	一〇、四三	全	全	〇	一、二八	二七五〇
四ッ谷大木戸	全	全	六〇〇〇	五四〇〇	一、九四	全	極痕	〇	〇、三二	四〇〇
廻町十三丁目	全	全	六八〇〇	五四〇〇	二、二二	全	全	〇	〇、七九	六五〇
金杉橋	全	全	六六〇〇	五六〇〇	二、二二	全	全	〇	〇、六四	九〇〇
新船松町	全	全	六二〇〇	五四〇〇	一、九四	全	全	〇	〇、四八	一〇五〇
靖國神社前	全	全	六四〇〇	五四〇〇	一、九四	全	〇	〇	〇、三二	六〇〇

東京市水道水検査成績

第二十九回十二月廿五日探酌

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣一立方仙迷里總色量	中酸指數
關口	微濁	弱亞爾加	八〇〇〇	六六〇〇	四、九五	痕跡	〇	〇	〇、六四	一六五〇
水道橋	全	全	八〇〇〇	六八〇〇	五、四八	全	〇	〇	〇、六四	二三五〇
本町河岸	全	全	八〇〇〇	六八〇〇	五、七四	全	〇	〇	〇、六四	一九〇〇
綠橋	全	全	八四〇〇	七二〇〇	六、一〇	全	痕跡	〇	〇、九六	二三五〇
米澤町	全	全	八四〇〇	七〇〇〇	六、一〇	全	全	〇	〇、九六	二三五〇
本材木町	全	全	九四〇〇	八四〇〇	八、五七	全	極痕	〇	一、二八	一六五〇
四ッ谷大木戸	全	全	六二〇〇	五二〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、三二	二四〇〇
廻町十三丁目	全	全	七二〇〇	五二〇〇	一、五九	全	極痕	〇	一、四四	一三三〇
金杉橋	全	全	六四〇〇	五二〇〇	一、九四	全	痕跡	〇	〇、六四	五五〇
新船松町	全	全	八〇〇〇	七二〇〇	一、六六	全	〇	〇	〇、六四	一七〇〇

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硫酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃酸加一立方仙迷里遜色量	中微菌數
關口	澄清	弱亞爾加	七〇、〇〇	七〇、〇〇	四、四二	痕跡	極痕	〇	〇、三三	一二五〇
水道橋	全	全	七四、〇〇	七四、〇〇	五、一三	全	全	〇	〇、三三	二八〇〇
本町河岸	微濁	全	八〇、〇〇	八〇、〇〇	五、三二	全	全	〇	〇、九九	五六〇〇
綠橋	全	全	七八、〇〇	七八、〇〇	五、六六	全	全	〇	一、三二	一八〇〇
米澤町	全	全	七六、〇〇	七六、〇〇	七、〇八	全	〇	〇	一、九九	三二〇〇
本材木町	全	全	一〇二、〇〇	九六、〇〇	九、〇二	痕跡	痕跡	〇	一、九九	一九五〇
四ッ谷大木戸	澄清	全	七〇、〇〇	五四、〇〇	一、二四	極痕	痕跡	〇	〇、三三	二五〇
廻町十三丁目	微濁	全	八〇、〇〇	五六、〇〇	二、二二	痕跡	痕跡	〇	一、八一	四五〇
金杉橋	全	全	七二、〇〇	五六、〇〇	一、九五	全	〇	〇	〇、六六	三五〇
新船松町	全	全	七二、〇〇	五八、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、六六	七五〇〇
靖國神社前	全	全	六〇、〇〇	五四、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、三三	三〇〇

東京市水道水検査成績

第三十一回 一月十五日探酌

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硫酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃酸加一立方仙迷里遜色量	中微菌數
關口	澄清	弱亞爾加	七〇、〇〇	六〇、〇〇	四、四二	痕跡	痕跡	〇	〇、四八	一四五〇
水道橋	全	全	七四、〇〇	六〇、〇〇	四、七八	全	極痕	〇	〇、四八	一五五〇
本町河岸	微濁	全	七八、〇〇	六二、〇〇	四、七八	全	痕跡	〇	〇、四八	一四五〇
綠橋	全	全	七四、〇〇	六八、〇〇	五、三一	全	全	〇	〇、九六	一三五〇
米澤町	全	全	七二、〇〇	六四、〇〇	四、七八	全	極痕	〇	〇、六四	三五五〇
本材木町	全	全	九六、〇〇	八六、〇〇	七、七八	全	痕跡	〇	一、二二	二八五〇
四ッ谷大木戸	澄清	全	七〇、〇〇	五〇、〇〇	一、四二	全	全	〇	〇、三二	六〇〇
廻町十三丁目	微濁	全	八〇、〇〇	五〇、〇〇	一、五九	全	全	〇	一、六〇	一一二〇
金杉橋	澄清	全	七二、〇〇	五四、〇〇	一、七七	全	極痕	〇	〇、八〇	六五〇
新船松町	全	全	七二、〇〇	五四、〇〇	一、七七	全	全	〇	〇、三三	七〇〇

探酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿飽酸加 一立方仙迷 里遜色量	中微菌數
關口	澄清	全	七四、〇〇	六四、〇〇	四、七八	痕跡	〇	〇	〇、四八	一五五〇
水道橋	全	全	七四、〇〇	六六、〇〇	四、七八	全	〇	〇	〇、四八	二三五〇
本町河岸	微濁	全	二二四、〇〇	七六、〇〇	四、七八	全	極痕	〇	〇、九六	二四五〇
綠橋	澄清	全	七四、〇〇	七二、〇〇	四、九五	全	〇	〇	〇、六四	二五〇〇
米澤町	微濁	全	七八、〇〇	七二、〇〇	四、七八	全	〇	〇	〇、九六	四二〇〇
本材木町	全	全	八八、〇〇	八四、〇〇	六、九〇	全	極痕	〇	一、二八	二九五〇
四ッ谷大木戸	澄清	全	五六、〇〇	五六、〇〇	一、九五	全	〇	〇	〇、六四	二〇〇〇
龜町十三丁目	微濁	全	七八、〇〇	六〇、〇〇	六、七二	全	〇	痕跡	〇、〇九四	二、七一
金杉橋	澄清	全	七四、〇〇	五八、〇〇	三、一〇	全	〇	〇	〇、六四	七五〇
新船松町	微濁	全	六二、〇〇	五六、〇〇	四、〇七	全	〇	〇	〇、八〇	一一〇〇
靖國神社前	澄清	全	六八、〇〇	五四、〇〇	一、九五	全	〇	〇	〇、三三	二五〇

東京市水道大檢査成績

第三十三回一月廿九日探酌

探酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿飽酸加 一立方仙迷 里遜色量	中微菌數
關口	微濁	全	七四、〇〇	六四、〇〇	五、三一	痕跡	痕跡	〇	〇、九六	一二五〇〇
水道橋	全	全	八八、〇〇	六四、〇〇	五、六六	全	全	〇	〇、九六	一三八〇〇
本町河岸	全	全	八六、〇〇	六八、〇〇	六、一九	全	全	〇	〇、九六	一一〇〇〇
綠橋	全	全	九〇、〇〇	八四、〇〇	八、三一	全	全	極痕	一、二八	一八五〇〇
米澤町	全	全	七二、〇〇	七〇、〇〇	六、五五	全	全	全	一、六〇	一六二〇〇
本材木町	全	全	九〇、〇〇	八八、〇〇	八、三一	全	極痕	全	一、四四	二二四五〇
四ッ谷大木戸	全	全	七〇、〇〇	六〇、〇〇	一、五〇	全	痕跡	〇	〇、三三	四一五〇
龜町十三丁目	全	全	九〇、〇〇	六二、〇〇	二、三〇	全	全	〇	一、三八	四六〇〇
金杉橋	全	全	七〇、〇〇	六八、〇〇	二、五七	全	全	〇	〇、三三	二二五〇
新船松町	全	全	六二、〇〇	六二、〇〇	一、五〇	全	全	〇	〇、三三	二二五〇

採酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過錳酸鉀加一立方仙達里褪色量	中微菌數
關口	澄清	弱亞爾加	六四、〇〇	六四、〇〇	四、二五	痕跡	極痕	〇	〇、六五	一二五〇
水道橋	全	全	七二、〇〇	七二、〇〇	四、六〇	全	全	〇	〇、六五	一八五〇
本町河岸	全	全	七四、〇〇	七四、〇〇	四、六〇	全	全	〇	〇、五〇	二二五〇
綠橋	全	全	七六、〇〇	七六、〇〇	五、一三	全	全	〇	〇、五〇	一九五〇
米澤町	微濁	全	七〇、〇〇	六八、〇〇	四、九五	全	全	〇	〇、六五	一六五〇
本材木町	全	全	八四、〇〇	八〇、〇〇	七、六一	全	極痕	〇	一、九九	六二〇〇
四ッ谷大木戸	澄清	全	六二、〇〇	六二、〇〇	一、四二	全	〇	〇	〇、三三	三〇〇
趣町十三丁目	微濁	全	七二、〇〇	六二、〇〇	一、五九	全	痕跡	極痕	二、三三	七五〇
金杉橋	全	全	六六、〇〇	六二、〇〇	二、〇三	全	〇	〇	〇、六五	五五〇
新船松町	澄清	全	六二、〇〇	六二、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、三三	六五〇
靖國神社前	全	全	六四、〇〇	六四、〇〇	一、四二	全	〇	〇	〇、三三	六五〇

東京市水道水検査成績

第三十五回二月十二日採酌(但シ△印ハ十三日採酌)

採酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過錳酸鉀加一立方仙達里褪色量	中微菌數
關口	微濁	弱亞爾加	七〇、〇〇	六八、〇〇	四、七八	痕跡	〇	〇	〇、八三	二五〇〇
水道橋	全	全	七六、〇〇	七二、〇〇	五、三一	全	〇	〇	一、一六	二九五〇
本町河岸	全	全	七二、〇〇	七二、〇〇	五、三二	全	〇	〇	〇、六六	三四五〇
綠橋	澄清	全	八四、〇〇	七六、〇〇	六、七二	全	極痕	〇	〇、八三	三三五〇
米澤町	微濁	全	七六、〇〇	七二、〇〇	五、六六	全	〇	〇	一、四九	三一〇〇
本材木町	澄清	全	七〇、〇〇	六四、〇〇	四、九五	全	極痕	〇	〇、八三	三六五〇
四ッ谷大木戸	全	全	六八、〇〇	五八、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、五〇	六〇〇
趣町十三丁目	全	全	六四、〇〇	六二、〇〇	一、五九	全	〇	〇	一、四九	一一五〇
金杉橋	全	全	七〇、〇〇	六八、〇〇	二、一二	全	〇	〇	〇、九九	一二五〇
新船松町	全	全	七〇、〇〇	六八、〇〇	一、五九	全	〇	〇	一、一六	一二五〇

採酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃液體加一立方仙迷 呈色量 中微菌數
關口	微濁	弱亞爾加	七六、〇〇	六六、〇〇	四、九五	痕跡	極痕	〇	〇、八四
水道橋	全	全	八二、〇〇	六八、〇〇	五、三一	全	全	〇	〇、八四
本町河岸	全	全	八四、〇〇	六八、〇〇	五、四八	全	全	〇	〇、八四
綠橋	全	全	九二、〇〇	七六、〇〇	六、三七	痕跡	痕跡	〇	〇、八四
米澤町	全	全	八〇、〇〇	七六、〇〇	六、三七	全	全	〇	〇、八四
本材木町	全	全	一〇〇、〇〇	八八、〇〇	九、三八	全	全	痕跡	一、一八
四ッ谷大木戸	全	全	七八、〇〇	六〇、〇〇	一、四二	全	全	痕跡	一、三四
龜町十三丁目	帶色	全	九〇、〇〇	六〇、〇〇	一、五九	全	痕跡	痕跡	一、〇三
金杉橋	全	全	八二、〇〇	六二、〇〇	二、八三	全	全	〇	三、七八
新船松町	全	全	六四、〇〇	五八、〇〇	一、五九	全	全	〇	四、五〇
靖國神社前	全	全	八八、〇〇	五六、〇〇	一、四二	全	全	〇	一、〇三

東京市水道水検査所

第三十七回二月廿六日採酌

採酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃液體加一立方仙迷 呈色量 中微菌數
關口	澄清	弱亞爾加	七四、〇〇	六〇、〇〇	四、四二	痕跡	〇	〇	〇、六四
水道橋	全	全	八八、〇〇	六二、〇〇	四、九五	全	〇	〇	〇、六四
本町河岸	微濁	全	七六、〇〇	六四、〇〇	五、二三	全	〇	〇	〇、八〇
綠橋	全	全	九〇、〇〇	七二、〇〇	五、八四	全	〇	〇	〇、八〇
米澤町	全	全	八四、〇〇	七四、〇〇	五、八四	全	〇	〇	〇、八〇
本材木町	全	全	一〇六、〇〇	八八、〇〇	九、二〇	全	〇	〇	一、四四
四ッ谷大木戸	澄清	全	七六、〇〇	五八、〇〇	一、五九	全	〇	〇	一、四四
龜町十三丁目	微濁	全	八二、〇〇	六〇、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、八〇
金杉橋	澄清	全	七六、〇〇	六四、〇〇	一、九五	全	〇	〇	二、二五
新船松町	全	全	八六、〇〇	七八、〇〇	六、五五	全	〇	〇	一、一二
靖國神社前	全	全	八六、〇〇	七八、〇〇	六、五五	全	〇	〇	〇、九六

第三十九回三月十二日探酌

探酌地名	性狀	反應	總固形物	形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣一立方仙迷	中微菌數
關口	微濁	弱性弱加	八二、〇〇	六八、〇〇	五、六六	〇	極痕	〇	一、〇七	三九五〇
水道橋	全	全	一〇二、〇〇	六八、〇〇	五、八四	〇	全	〇	一、七〇	五八五〇
本町河岸	全	全	九〇、〇〇	七四、〇〇	六、〇一	〇	痕跡	〇	一、二二	八八五〇
綠橋	全	全	一〇二、〇〇	八〇、〇〇	六、九〇	〇	全	〇	一、三七	四三五〇
米澤町	全	全	八〇、〇〇	七四、〇〇	七、〇八	〇	全	〇	一、八三	三五五〇
本材木町	全	全	九二、〇〇	九六、〇〇	一〇、四四	〇	全	〇	一、九八	六〇五〇
四ッ谷大木戸	全	全	六八、〇〇	六二、〇〇	一、五九	〇	極痕	〇	一、七〇	二〇〇〇
麴町十三丁目	全	全	七八、〇〇	六二、〇〇	二、二二	〇	痕跡	〇	三、二二	二五〇〇
金杉橋	全	全	七〇、〇〇	六六、〇〇	二、四八	〇	極痕	〇	二、二九	二六五〇
新船松町	全	全	六六、〇〇	五八、〇〇	三、三六	〇	全	〇	一、七〇	二八〇〇

第三十九回三月十二日探酌

七十四

京市水道水検査成績

七十三

探酌地名	性狀	反應	總固形物	形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣一立方仙迷	中微菌數
水道橋	澄清	弱性弱加	七六、〇〇	七六、〇〇	四、六〇	痕跡	〇	〇	〇、七五	一二五〇
本町河岸	全	全	八〇、〇〇	七二、〇〇	四、八六	全	〇	〇	〇、九〇	一三五〇
綠橋	全	全	八二、〇〇	七四、〇〇	四、八六	全	〇	〇	一、〇五	八七五〇
米澤町	微濁	全	九二、〇〇	八四、〇〇	五、五七	全	〇	〇	〇、九〇	二五〇〇
本材木町	全	全	八二、〇〇	八〇、〇〇	五、八四	全	〇	〇	一、八〇	二二五〇
四ッ谷大木戸	澄清	全	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	八、六七	全	痕跡	〇	二、二一	四七五〇
麴町十三丁目	帶色	全	六六、〇〇	五八、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、六〇	八〇〇
金杉橋	澄清	全	六八、〇〇	六二、〇〇	一、九五	全	〇、〇四四	痕跡	三、一六	一〇〇〇
新船松町	全	全	七〇、〇〇	六六、〇〇	一、九五	全	〇	〇	〇、六〇	八五〇
靖國神社前	全	全	七二、〇〇	七二、〇〇	三、八九	全	〇	〇	〇、六〇	一二〇〇
			七四、〇〇	六四、〇〇	一、五九	全	〇	〇	〇、六〇	九五〇

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣一立方仙迷里褪色量	中微菌數
關口	澄清	弱酸性	八〇、〇〇	六六、〇〇	四七八	〇	〇	〇	一〇九	五一五〇
水道橋	全	全	九二、〇〇	六八、〇〇	五三一	〇	〇	〇	〇、九四	六三五〇
本町河岸	全	全	九〇、〇〇	六八、〇〇	五三一	〇	〇	〇	〇、六三	六八〇〇
綠橋	全	全	九八、〇〇	九八、〇〇	六〇一	〇	〇	〇	一、二五	五一五〇
米澤町	微濁	全	八二、〇〇	八二、〇〇	六一〇	〇	〇	〇	一、二五	四八五〇
本材木町	澄清	全	九六、〇〇	八八、〇〇	九〇二	〇	極痕	〇	一、二五	七三五〇
四ッ谷大木戸	全	全	八〇、〇〇	六四、〇〇	二、一二	〇	〇	〇	一、四一	一三〇〇
麴町十三丁目	帶色	全	九〇、〇〇	六四、〇〇	一、九五	〇	〇	〇	〇、四七	三三〇〇
金杉橋	澄清	全	七六、〇〇	七二、〇〇	二、八三	〇	〇	〇	〇、六三	三五五〇
新船場町	微濁	全	九二、〇〇	六四、〇〇	二、三九	〇	〇	〇	〇、六三	五五〇〇
落窪町	微濁	全	九二、〇〇	六四、〇〇	二、三九	〇	〇	〇	〇、六三	一五〇〇

東京市水道水質検査成績

第四十一回 三月廿六日 探酌

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣一立方仙迷里褪色量	中微菌數
關口	全	弱酸性	九八、〇〇	七二、〇〇	六三七	全	〇	〇	一、四八	三五五〇
水道橋	全	全	一一二、〇〇	七〇、〇〇	六五五	全	〇	〇	一、六五	六二一〇
本町河岸	全	全	一一〇、〇〇	八二、〇〇	七七八	全	〇	〇	一、九八	七六五〇
綠橋	全	全	一一三、〇〇	七六、〇〇	七九六	全	〇	〇	二、三〇	四二〇〇
米澤町	全	全	九六、〇〇	八〇、〇〇	九〇二	全	極痕	〇	二、一四	三九五〇
本材木町	全	全	一〇六、〇〇	九〇、〇〇	一四、三三	全	痕跡	極痕	二、六三	八二五〇
四ッ谷大木戸	全	全	九六、〇〇	六四、〇〇	二、一二	全	〇	〇	二、九六	一六五〇
麴町十三丁目	全	全	九八、〇〇	六二、〇〇	二、一二	全	極痕	〇	二、九六	四五五〇
金杉橋	全	全	一〇四、〇〇	六六、〇〇	三、〇一	全	〇	〇	四、二八	四一五〇
新船場町	全	全	九八、〇〇	七四、〇〇	四、二五	全	〇	〇	四、二八	四一五〇
落窪町	全	全	九八、〇〇	七四、〇〇	四、二五	全	〇	〇	四、二八	四一五〇

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿飽加一立方仙達里褪色量	中微菌數
關口	濁	弱酸性加	一二四、〇〇	六八、〇〇	六七二	痕跡	〇	〇	一、三六	一八五〇
水道橋	全	全	一二四、〇〇	七二、〇〇	七、二五	全	極痕	〇	一、三六	三五〇〇
本町河岸	全	全	一二六、〇〇	八〇、〇〇	七、九六	全	全	〇	一、〇二	九六五〇
綠橋	全	全	一二四、〇〇	八八、〇〇	八、六七	全	全	〇	一、〇二	二〇五〇
米澤町	全	全	一一二、〇〇	一一二、〇〇	一一、八五	痕跡	極痕	〇	二、三八	一六五〇
本材木町	全	全	一二四、〇〇	一一〇、〇〇	一三、九八	全	痕跡	痕跡	二、〇四	一三〇〇
四ッ谷大木戸	全	全	九二、〇〇	六六、〇〇	二、八三	全	〇	〇	一、三六	八五〇
龜町十三丁目	全	全	一〇八、〇〇	六二、〇〇	二、四八	全	痕跡	痕跡	三、四〇	一五〇〇
金杉橋	全	全	九三、〇〇	六八、〇〇	三、七一	全	極痕	〇	一、三六	九三〇
新船松町	全	全	一〇四、〇〇	九六、〇〇	八、四九	全	〇	〇	一、三六	二三〇〇
靖國神社前	全	全	一〇〇、〇〇	六二、〇〇	二、四八	全	〇	〇	一、三六	八〇〇

東京市水道水検査成績

探酌地名	性狀	反應	固形物總量	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過滿飽加一立方仙達里褪色量	中微菌數
關口	濁	弱酸性加	一一〇、〇〇	七〇、〇〇	六三七	痕跡	極痕	〇	〇、九七	三三〇〇
水道橋	全	全	一二〇、〇〇	七八、〇〇	六、九〇	全	〇	〇	〇、九七	七〇五〇
本町河岸	全	全	一一三、〇〇	七八、〇〇	七、二五	全	痕跡	〇	一一、二九	七三五〇
綠橋	全	全	一一三、〇〇	八六、〇〇	八、三一	全	全	〇	一、六一	七三〇〇
米澤町	全	全	一一〇、〇〇	九六、〇〇	一一、一四	全	極痕	痕跡	二、二六	六八〇〇
本材木町	全	全	一二四、〇〇	一一〇、〇〇	一一、四三	全	痕跡	痕跡	一、七八	五九五〇
四ッ谷大木戸	全	全	八八、〇〇	六六、〇〇	二、三〇	全	〇	〇	一、一五	二〇五〇
龜町十三丁目	全	全	八六、〇〇	七〇、〇〇	二、二二	全	痕跡	痕跡	三、二九	二八〇〇
金杉橋	全	全	八二、〇〇	七〇、〇〇	三、一八	全	極痕	〇	〇、九七	一九五〇
新船松町	全	全	九二、〇〇	八四、〇〇	四、七八	全	〇	〇	〇、九七	三六五〇

採酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃檢酸加 星褪色量	一立方仙迷 中微菌數
關口	濁濁	弱亞加	一、一六、〇〇	七〇、〇〇	六、三七	〇	極痕	〇	〇、九五	二、三〇〇
水道橋	全	全	一、四〇、〇〇	七〇、〇〇	六、九〇	〇	全	〇	一、一一	五、七五〇
本町河岸	全	全	一、三二、〇〇	七〇、〇〇	七、六一	〇	全	〇	一、五八	八、六二〇
縹橋	全	全	一、五六、〇〇	八六、〇〇	八、八五	〇	全	〇	一、七四	四、二〇〇
米澤町	全	全	一、四〇、〇〇	一〇八、〇〇	一、二、九一	〇	〇、三九一	極痕	二、〇五	四、一〇〇
本村木町	全	全	一、〇四、〇〇	八四、〇〇	一〇、〇八	〇	〇、一四三	〇	二、五三	四、五一〇
四ッ谷大木戸	微濁	全	六八、〇〇	六二、〇〇	二、三九	〇	〇	〇	〇、九五	一、三二〇
麹町十三丁目	帶色	全	六六、〇〇	六六、〇〇	二、二二	〇	〇、一九三	極痕	三、一六	二、〇五〇
金杉橋	微濁	全	六八、〇〇	六二、〇〇	二、九二	〇	極痕	〇	一、一一	一、八五〇
新船松町	全	全	七二、〇〇	七〇、〇〇	四、一六	〇	〇	〇	一、四二	二、六五〇
靖國神社前	全	全	六六、〇〇	六四、〇〇	一、九五	〇	〇	〇	〇、六三	一、六〇〇

東京市水道水検査成績

第四十五回四月廿三日採酌

採酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃檢酸加 星褪色量	一立方仙迷 中微菌數
關口	澄清	弱亞加	八二、〇〇	六六、〇〇	五、七八	痕跡	極痕	〇	一、三〇	四、〇〇〇
水道橋	全	全	九二、〇〇	七〇、〇〇	九、〇二	全	全	〇	〇、九八	七、〇五〇
本町河岸	微濁	全	九六、〇〇	七〇、〇〇	六、九〇	全	全	〇	一、三〇	一、二四〇〇
縹橋	全	全	一一〇、〇〇	八〇、〇〇	九、五五	全	全	〇	一、三〇	三、三〇〇
米澤町	全	全	七六、〇〇	八二、〇〇	七、九六	全	〇、〇九四	〇	一、六三	四、〇〇〇
本村木町	全	全	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一、八〇四	全	〇、〇四四	極痕	二、四四	八、五〇〇
四ッ谷大木戸	澄清	全	六六、〇〇	五六、〇〇	一、五九	極痕	極痕	〇	〇、八一	一、五五〇
麹町十三丁目	帶色微濁	全	六六、〇〇	五六、〇〇	一、五九	痕跡	〇、〇三八六	極痕	二、九三	二、九〇〇
金杉橋	澄清	全	六六、〇〇	六二、〇〇	二、三〇	極痕	極痕	〇	〇、九八	一、六〇〇
新船松町	全	全	六四、〇〇	六〇、〇〇	二、八三	全	〇	〇	一、三〇	二、八〇〇

採酌地名	性狀	反應	總形物	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣加里亞色量	一立方仙迷中微菌數
關口	澄清	弱亞爾加里性	八二,〇〇〇	七四,〇〇〇	五六六	痕跡	〇	〇	一,五一	六九〇〇
水道橋	微濁	全	一〇四,〇〇〇	七二,〇〇〇	六三七	全	〇	〇	一,五一	六九五〇
本町河岸	全	全	九六,〇〇〇	六八,〇〇〇	六七二	全	〇	〇	一,五一	二五三五〇
綠橋	全	全	一〇四,〇〇〇	八二,〇〇〇	一七六一	全	〇	〇	一,五一	六八五〇
米澤町	全	全	九〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	八四九	全	〇	〇	一,八一	五六五〇
本材木町	全	全	九八,〇〇〇	八八,〇〇〇	九三八	全	〇	〇	二,一一	六九〇〇
四ッ谷大木戸	澄清	全	六二,〇〇〇	五二,〇〇〇	一五〇	極痕跡	〇	〇	〇,六〇	一七〇〇
麴町十三丁目	帶色微濁	全	六六,〇〇〇	六〇,〇〇〇	一五〇	痕跡	〇,〇〇四四	〇	二,四一	九三〇〇
金杉橋	微濁	全	六八,〇〇〇	五六,〇〇〇	二二一	極痕跡	〇	〇	〇,二二	四一五〇
新船松町	澄清	全	六二,〇〇〇	六二,〇〇〇	一九五	全	〇	〇	〇,二二	四五五〇
靖國神社前	全	全	六六,〇〇〇	五六,〇〇〇	一四二	全	〇	〇	〇,六〇	一九五〇

東京市水道水検査成績

第四十七回五月七日採酌

採酌地名	性狀	反應	總形物	上清中固形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過磷酸鈣加里亞色量	一立方仙迷中微菌數
關口	汚濁	弱亞爾加里性	一七二,〇〇〇	六四,〇〇〇	六七二	痕跡	〇	極痕跡	四,七〇	二六〇〇〇
水道橋	全	全	一八四,〇〇〇	八〇,〇〇〇	八一四	全	〇	全	四,八五	三七三五〇
本町河岸	全	全	一七六,〇〇〇	八二,〇〇〇	九〇二	全	〇	全	四,五六	二八一五〇
綠橋	全	全	一六六,〇〇〇	八六,〇〇〇	九七三	全	〇	全	三,三六	一六六〇〇
米澤町	濁濁	全	一四八,〇〇〇	二八,〇〇〇	一五,五七	全	〇,〇〇九四	全	三,九七	一八一五〇
本材木町	全	全	一四〇,〇〇〇	二六,〇〇〇	一九,四六	全	〇,〇〇九四	全	三,〇九	四八一〇〇
四ッ谷大木戸	汚濁	全	一九八,〇〇〇	六四,〇〇〇	四,六〇	全	極痕跡	全	三,六八	一九七〇〇
麴町十三丁目	全	全	二七八,〇〇〇	七六,〇〇〇	五,二三	全	全	全	六,六一	三四九〇〇
金杉橋	全	全	一四〇,〇〇〇	八八,〇〇〇	八,六七	全	全	全	四,二六	八九五〇
新船松町	濁濁	全	一七六,〇〇〇	一三八,〇〇〇	一七,五一	全	全	全	三,三六	七三六〇

探酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃使酸加 呈色量	一立方厘米 中微菌數
關口	微濁	弱酸性 弱加	八四、〇〇	六六、〇〇	六五五	痕跡	〇	〇	一、八七	七〇〇〇
水道橋	全	全	九六、〇〇	六八、〇〇	七〇八	全	〇	〇	一、八七	八七五〇
本町河岸	全	全	一一〇、〇〇	七〇、〇〇	七、六一	全	〇	〇	二、一八	一一二〇〇
綠橋	全	全	一一〇、〇〇	八〇、〇〇	九、〇二	全	〇	〇	二、一八	九六五〇
米澤町	全	全	九二、〇〇	八二、〇〇	九、二〇	全	〇	〇	二、八一	五五五〇〇
本材木町	全	全	一一〇、〇〇	九六、〇〇	一一、八五	全	〇	極痕	二、五〇	四四五〇
四ツ谷大木戸	澄清	全	七二、〇〇	五八、〇〇	一、七七	全	〇	〇	〇、九三	一九五〇
麴町十三丁目	微濁	全	八〇、〇〇	六四、〇〇	一、七七	痕跡	〇	〇	三、一三	一四六〇〇
金杉橋	全	全	八二、〇〇	六二、〇〇	二、四八	全	〇	極痕	三、一三	一七五〇
新船松町	澄清	全	七〇、〇〇	六八、〇〇	三、三六	全	〇	〇	三、一三	四七〇〇
靖國神社前	微濁	全	七四、〇〇	五四、〇〇	一、七七	全	〇	〇	三、一三	二二〇〇

東京市水道水検査成績

第四十九回五月廿八日探酌(但シ第三回ハ水濁調査ノ爲メ出張中ニ付檢スルヲ得サリシ)

探酌地名	性狀	反應	固形物 總量	上清中固 形物總量	格魯兒	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	過濃使酸加 呈色量	一立方厘米 中微菌數
關口	微濁	弱酸性 弱加	九六、〇〇	六四、〇〇	六、七二	極痕	〇	〇	三、八二	六八五〇
水道橋	全	全	一一四、〇〇	七二、〇〇	七、六一	全	〇	〇	三、八二	九八五〇
本町河岸	全	全	一一五、〇〇	九八、〇〇	一一、六八	痕跡	〇	〇	三、四七	二四五〇〇
綠橋	全	全	一一五、〇〇	八四、〇〇	九、二〇	全	〇	〇	三、八二	八七〇〇
米澤町	全	全	一〇〇、〇〇	九四、〇〇	一一、五〇	全	〇	〇	四、八六	五五〇〇
本材木町	全	全	一四六、〇〇	一一八、〇〇	一五、五七	全	〇	〇	四、六九	一八二五〇
四ツ谷大木戸	全	全	一一〇、〇〇	六八、〇〇	二、三〇	極痕	〇	〇	三、四七	二二五〇
麴町十三丁目	全	全	一五二、〇〇	六〇、〇〇	二、三〇	全	〇	〇	七、二九	八八五〇
金杉橋	全	全	一四〇、〇〇	三三、〇〇	九、三八	痕跡	〇、〇一九三	〇	四、一七	九一五〇
新船松町	全	全	一四〇、〇〇	二四、〇〇	一二、三八	痕跡	〇	〇	四、一七	九一五〇

明治廿二年六月三日ノ平均表

探酌地名	固形物之總量	上清中固形物總量	格魯兒	過滿色量	一立方仙迷
關口	八〇、〇〇		七、二二	三、二七	六三〇〇
水道橋	六一、〇〇		七、八一	四、二六	一一〇五〇
本町河岸	六六、〇〇		七、九五	四、五五	一一三三三
線橋	六六、〇〇		八、八〇	五、二一	二二四〇〇
米澤町	八八、六七		九、一七	四、三四	一四九〇〇
本村木町	一〇四、〇〇		一一、六〇	四、五〇	二三〇五〇
四ッ谷大木戸	六七、三三		一一、三〇	二、二〇	一〇三三
總町十三丁目	七六、〇〇		一一、八九	二、二〇	一九〇三
金杉橋	六四、六七		一一、三九	二、九六	一〇九五〇
新船松町	七六、六七		一二、二二	二、四五	七一六七
靖國神社前	八〇、〇〇		一、六六	二、六六	四七八三

東京市水道水検査成績

同七月五回平均表

(但シ上清中固形物總量ハ四週四回ノ平均ナリ)

探酌地名	固形物之總量	上清中固形物總量	格魯兒	過滿色量	一立方仙迷
關口	一〇五、六〇	七五、五〇	五、九一	二、四五	六六八八
水道橋	一一二、四〇	八九、五〇	六、七一	二、七〇	一五六六七
本町河岸	一一七、六〇	九二、〇〇	七、二四	二、七八	一五九二五
線橋	一二四、〇〇	九三、〇〇	七、九四	三、〇五	一八四四〇
米澤町	一〇八、〇〇	九六、〇〇	九、六〇	三、四七	一四〇九三
本村木町	一五六、八〇	一三八、〇〇	一八、一四	四、五七	三三三八三
四ッ谷大木戸	一〇二、二〇	六八、五〇	一、六〇	一、四七	四九二五
麴町十三丁目	一〇二、六〇	六九、五〇	一、六九	一、五四	五六八八
金杉橋	一〇五、二〇	六七、五〇	二、三二	一、八四	一五八一七
新船松町	一八〇、九〇	一四〇、五〇	一五、四六	二、七三	一六九七〇

採酌地名	固形物之總量	形上物總量	格魯兒	過滿色量	一立方仙迷
關口	九〇、二五	七八、〇〇	四、九一	二、五一	五〇七五
水道橋	九五、五〇	八三、〇〇	五、二五	二、五四	五五三八
本町河岸	九五、八二	八二、〇〇	五、六一	二、七〇	五〇〇〇
綠橋	一〇八、二五	九一、〇〇	五、九九	二、六二	一四八六三
米澤町	九九、五〇	八六、〇〇	六、二八	三、六九	一四四〇〇
本材木町	一二〇、二〇	一一三、五〇	九、〇四	四、〇五	一三九二三
四ッ谷大木戸	八〇、〇〇	六四、〇〇	一、三八	一、三四	一二三八
麴町十三丁目	八三、五〇	六四、〇〇	一、四一	一、三四	二二五〇
金杉橋	八〇、七〇	六六、〇五	二、二一	二、二五	九九八八
新船松町	八四、二五	六八、二〇	一、八三	一、七七	一四九一三
靖國神社前	八二、八〇	七二、八〇	一、四七	一、一七	四八〇〇

本町水道水検査成績

同九月四回平均表

採酌地名	固形物之總量	形上物總量	格魯兒	過滿色量	一立方仙迷
關口	一〇五、二五	六八、〇〇	六、一七	二、五〇	一三四三〇
水道橋	一〇六、〇〇	七一、五〇	七、〇八	二、七〇	一三八七五
本町河岸	一一六、〇〇	七八、〇〇	八、〇八	二、六三	二七七四三
綠橋	一二一、〇〇	一〇三、五〇	一〇、三二	二、七一	一二九二五
米澤町	一〇七、五〇	一〇二、〇〇	一〇、七四	三、四〇	八八二五
本材木町	一六二、〇〇	一二八、五〇	一八、一五	四、二二	一三五五五
四ッ谷大木戸	八八、〇〇	七四、〇〇	二、〇三	三、四四	一〇九二五
麴町十三丁目	八五、八五	六六、〇〇	二、一五	三、三三	一四一六八
金杉橋	七四、九五	六九、五〇	三、四六	三、四三	一五六二五
新船松町	一〇二、四〇	九〇、三三	五、七七	二、六二	一三七五〇

採酌地名	固形物之總量	形上物總量	格魯兒	里褪飽酸加	中一立方仙迷
關口	九四、〇〇	六八、〇〇	五、〇七	一、四二	七七七五
水道橋	一〇三、五〇	七一、五〇	五、六八	一、四二	一〇八〇〇
本町河岸	九五、五〇	七二、〇〇	六、三〇	一、四六	二一三八〇
綠橋	一〇一、三〇	八四、〇〇	六、九八	一、七〇	七六三八
米澤町	一〇一、五〇	九四、五〇	八、六三	二、四六	五九一三
本材木町	一一九、〇〇	一一〇、五〇	一一、五〇	二、三四	三九七五
四ッ大谷木戸	七二、八〇	五六、四〇	一、五〇	〇、六七	三四六〇
麴町十三丁目	七二、〇〇	六一、二〇	一、六六	〇、九三	八一八〇
金杉橋	七一、六〇	六〇、〇〇	二、〇六	一、〇二	二二一〇
新船松町	八〇、〇〇	六九、二〇	二、四八	一、〇九	三九九〇
靖國神社前	七〇、〇〇	六〇、八〇	一、四六	〇、九三	二七九〇

東京市水道局調査成績

十一月四周回平均表

採酌地名	固形物之總量	形上物總量	格魯兒	里褪飽酸加	中一立方仙迷
關口	八五、〇〇	七〇、〇〇	五、二五	一、〇五	一三六一七
水道橋	八七、〇〇	七四、二五	五、九〇	一、〇五	一二一四三
本町河岸	八九、〇〇	七八、〇〇	六、三二	一、四七	二三一八八
綠橋	九〇、五〇	八〇、〇〇	六、九五	一、三九	一七一八八
米澤町	八八、五〇	八五、五〇	八、五一	一、三八	七〇二五
本材木町	一一五、五〇	一一〇、五〇	一一、五七	一、八八	六七二五
四ッ大谷木戸	六八、五〇	六三、〇〇	一、七一	〇、五八	二五一三
麴町十三丁目	六八、五〇	六三、〇〇	二、〇五	〇、六五	二八八八
金杉橋	六九、五〇	六六、五〇	二、八〇	〇、八一	二六七五
新船松町	六八、〇〇	六七、五〇	三、一三	〇、六九	二〇七五

探酌地名	固形物之總量	形上清物總量	格魯兒	過滿色量加	中一立方仙迷
關口	六九、五〇	六三、〇〇	五、一七	〇、七二	一一三八
水道橋	七四、〇〇	六七、五〇	五、五九	〇、六八	一八五〇
本町河岸	七四、二五	六八、〇〇	五、五四	〇、七六	四九三八
絲橋	七九、〇〇	七一、五〇	六、一六	〇、九六	四八〇〇
米澤町	七八、五〇	七〇、五〇	六、二二	一一、二〇	二六二五
本材木町	一一一、五〇	九〇、〇〇	一〇、一〇	二、〇三	二七七五
四ッ谷大木戸	六二、〇〇	五六、〇〇	一、五九	〇、四八	三七五
麴町十三丁目	六八、五〇	五六、〇〇	一、七七	〇、九六	六九五
金杉橋	六七、五〇	五八、五〇	一、九九	〇、八四	一一五〇
新船松町	六八、〇〇	六二、〇〇	四、四二	〇、八〇	一一七五
靖國神社前	六三、五〇	五六、五〇	一、八一	〇、七二	五二五

東京市水道水質検査報告

明治廿三年一月四周四回平均表(但シ第一周ハ水探酌人ノ都合ニ由テ検査ヲ欠ク)

探酌地名	固形物之總量	形上清物總量	格魯兒	過滿色量加	中一立方仙迷
關口	七二、〇〇	六四、五〇	四、七三	〇、五六	四一八八
水道橋	七七、五〇	六六、〇〇	五、〇〇	〇、五六	五二二五
本町河岸	九二、〇〇	七一、五〇	五、二七	〇、八五	五二二五
絲橋	七九、〇〇	七五、五〇	六、〇五	一、〇五	六〇三八
米澤町	七四、五〇	七〇、五〇	五、八〇	一、〇五	六五六三
本材木町	九四、〇〇	八九、五〇	八、〇〇	一、二一	七五五〇
四ッ谷大木戸	六六、五〇	五五、〇〇	一、五三	〇、四〇	一三〇〇
麴町十三丁目	八二、〇〇	五七、〇〇	三、一八	一、八五	一八一八
金杉橋	七二、〇〇	五九、〇〇	二、三五	〇、六一	一〇〇〇
新船松町	六六、五〇	五七、五〇	二、二三	〇、五三	一一八八

探酌地名	固形物之總量	形上物總量	格魯兒	里褪色量	中一立方仙迷
關口	七一、〇〇	六四、五〇	四、六〇	〇、七四	一五八〇
水道橋	七九、五〇	六八、五〇	五、〇四	〇、八二	二四五〇
本町河岸	七六、五〇	六九、五〇	五、一三	〇、七〇	三三〇〇
綠橋	八五、五〇	七五、〇〇	六、〇二	〇、七四	四〇一三
米澤町	七七、五〇	七二、五〇	五、七一	一、一九	二七〇五
本材木町	九〇、〇〇	八〇、〇〇	七、七九	一、四〇	五六五〇
四ッ谷大木戸	七一、〇〇	五九、五〇	一、五一	〇、六七	八三一三
麴町十三丁目	七七、〇〇	六一、〇〇	一、五九	二、四六	一八二五
金杉橋	七三、五〇	六四、〇〇	二、二三	〇、九四	一〇二五
新船松町	七〇、五〇	六六、五〇	二、八三	〇、八三	一三三三
靖國神社前	七七、〇〇	六三、五〇	二、五一	〇、七〇	九六三

東京市水道水検査成績

同三月第四周四回平均表

探酌地名	固形物之總量	形上物總量	格魯兒	里褪色量	中一立方仙迷
關口	八四、〇〇	七〇、五〇	五、三五	一、一〇	三四七五
水道橋	九六、五〇	六九、五〇	五、六四	一、三〇	四九四〇
本町河岸	九五、五〇	七四、五〇	五、九九	一、一二	八〇一三
綠橋	一〇三、五〇	八四、五〇	六、六一	一、四六	四〇五三
米澤町	八五、〇〇	七九、〇〇	七、〇一	一、七六	三六五〇
本材木町	九八、五〇	九三、五〇	一〇、六二	一、九九	六六〇〇
四ッ谷大木戸	七七、五〇	六二、〇〇	一、八六	一、六七	一四三八
麴町十三丁目	八三、五〇	六二、五〇	一、九五	二、四五	二八三八
金杉橋	八〇、〇〇	六七、五〇	二、四七	一、九五	二八〇〇
新船松町	八七、六七	六八、〇〇	三、八三	二、四一	三三三三

探酌地名	固形物之總量	形上物總量	格魯兒	里過襪色量	中一立方仙迷
關水道口	一〇二、八〇	六九、六〇	六、一八	一、二二	一七〇〇
水道橋	一一六、〇〇	六二、四〇	七、二九	一、一九	一七三八
本町河岸	一一六、〇〇	七三、二〇	七、二三	一、三四	六三三八
綠橋	一二五、二〇	八四、四〇	八、六〇	一、四四	一七二三
米澤町	一〇四、〇〇	九五、六〇	一〇、四七	二、〇三	一四二三
本材木町	一一〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一三、一六	二、一八	一七〇〇
四ッ谷大木戸	七五、二〇	六〇、四〇	二、一二	〇、九七	四二五
魏町十三丁目	七八、四〇	六二、八〇	二、九六	三、〇四	二二三
金杉橋	七五、二〇	六三、六〇	二、八六	〇、九一	一〇四
新船松町	七八、八〇	七四、四〇	四、四四	一、〇三	一一四
靖國神社前	七七、六〇	六一、六〇	一、八八	〇、八一	四八八

東京市水道検査成績

同五月第三週三回平均表 (但シ第三週ハ水源調査ノ爲メ出張中ニ付キ検査ヲ欠ク)

探酌地名	固形物之總量	形上物總量	格魯兒	里過襪色量	中一立方仙迷
關水道口	一一七、三三三	六四、六六	六、六六	三、四六	一三二八三
水道橋	一一三、三三三	七三、三三三	七、六一	三、五一	一八六五〇
本町河岸	一四三、三三三	八三、三三三	一〇、一〇	三、四〇	二二六一七
綠橋	一四六、六六	八三、三三三	九、三三	三、一二	一一六五〇
米澤町	一一三、三三三	一〇一、三三三	一二、〇九	三、八八	二六三八三
本材木町	一二九、三三三	一二三、三三三	一九、六三	三、四三	一三六〇〇
四ッ谷大木戸	一二四、〇〇	六三、三三三	二、八九	二、七九	七九六六
魏町十三丁目	一七〇、〇〇	六六、六六	三、〇七	五、六八	一九四五〇
金杉橋	一二〇、六六	九四、〇〇	三、七二	三、八五	五九五〇
新船松町	一二八、六六	一一〇、〇〇	一一、〇八	三、五五	六〇二二

明治十七年四月ヨリ十八年三月迄一年間平均量但水一リートル中ミリグラム量

探酌地名	固形物之總量	上清物總量	固形物總量	格魯兒	過飽飽酸加里褪色量	中後數
關口	九一、三九	六八、七五	五、六〇	一、七五	六六、九三	
水道橋	九五、〇二	七三、三六	六、二二	一、八九	九〇、一二	
本町河岸	九八、一三	七六、五五	六、七三	一、九八	一三四、三六	
綠橋	一〇三、四九	八四、一六	七、四八	二、一二	一〇六、四六	
米澤町	九三、八八	八六、六八	八、三五	二、四九	九二、八四	
本材木町	一一七、五七	一〇六、一六	一一、五二	二、八二	一一二、六七	
四ツ大谷木戸	七九、五九	六二、〇一	一、七五	一、三九	三七、四八	
麴町十三丁目	八七、三二	六二、七〇	二、〇三	二、二〇	五五、五一	
金杉橋	七九、六二	六六、九二	二、四九	一、七八	九三、五七	
新船橋町	九一、〇三	七九、七四	四、九八	一、七一	六二、九三	
靖國神社前	八三、五六	六四、一二	一、八八	一、五一	四〇、三〇	

東京市水道水検査成績

九十七

第十二 前ニ檢定セル兩上水ノ化學的検査ノ大要

九十八

探酌地名	固形物ノ總量	格魯兒	過飽飽酸加里褪色量
小石川	七七、九七	七、一五	三、六
八間橋	八八、六九	七、九五	三、五
油町橋	九八、三五	一〇、二七	三、八
燗鼓町三丁目	一四一、五八	一六、六七	四、三
受思案橋	八三、一五	九、五三	三、九
本材木町三丁目	一一五、八五	一三、〇七	四、〇
四ツ谷大木戸	六二、五五	一、四八	二、三
半藏門外出掛	六二、九三	一、四九	二、三
虎ノ門外	六五、一九	二、四三	二、九
金杉橋	七四、七三	二、九七	三、八
八間橋	六三、七六	二、七六	三、六

神田上水六ヶ所平均一里トミラグリム量

月	固形物總量(1)	格魯兒(2)	過滿飽加(3)	固形物總量(1)	格魯兒(2)	過滿飽加(3)
一月	九三、五〇	八、三四	三、五二	七二、九二	五、八一	〇、八八
二月	九二、八三	一一、二一	三、七七	七一、六七	五、七二	〇、九三
三月	九五、〇〇	一〇、六五	三、六三	七八、五八	六、八七	一、四六
四月	一六四、四〇	一五、〇三	三、七四	八二、六〇	八、八二	一、五七
五月	一〇六、三三	一二、七一	三、四三	八六、五五	一〇、九二	三、四七
六月	九五、九〇	一一、四四	四、七七	—	八、七六	四、三六
七月	九二、八三	一一、八四	四、一七	九七、三三	九、二六	三、一七
八月	一〇一、五七	一二、三七	三、八七	八八、九二	六、一八	三、〇二
九月	一〇〇、七〇	一〇、五二	四、〇七	九一、九二	一〇、〇九	三、〇三
十月	九二、八八	八、七七	三、九三	八三、四二	七、五三	一、八〇
十一月	九二、七二	八、二一	三、六七	八三、〇四	七、四二	一、三七
十二月	九五、八五	七、三三	三、五七	七一、七五	六、四六	一、〇六

東京市水道水検査成績

玉川上水五ヶ所平均一里トミラグリム量

月	固形物總量(1)	格魯兒(2)	過滿飽加(3)	固形物總量(1)	格魯兒(2)	過滿飽加(3)	中立菌數
一月	六四、一〇	一、六九	二、二二	五六、七〇	二、一四	〇、七四	一一三三
二月	六九、〇八	一、七九	二、六〇	六二、九〇	一、九三	一、一二	二六七二
三月	七六、〇七	三、四九	二、六二	六四、二〇	二、四二	二、〇五	二六九三
四月	四〇、一七	二、一四	一、四〇	六四、五六	二、六五	一、三五	二四三四
五月	七二、八三	一、九四	一、八五	八一、〇六	四、八二	三、八五	九一九一
六月	七一、五〇	二、六七	四、一一	—	一、六九	二、四九	九一六五
七月	七七、〇〇	二、八五	五、〇八	八三、七〇	四、六〇	一、七九	一八〇八〇
八月	六五、六八	二、四六	三、八七	六七、〇一	一、六六	一、五七	六六三八
九月	七六、七〇	二、七二	三、六二	七三、二七	三、一四	三、二九	一三八四六
十月	六五、五七	一、七三	二、七二	六一、五二	一、八三	〇、九三	四一二六
十一月	五九、一八	一、六九	二、二七	六四、七五	二、三〇	〇、六八	三三四八

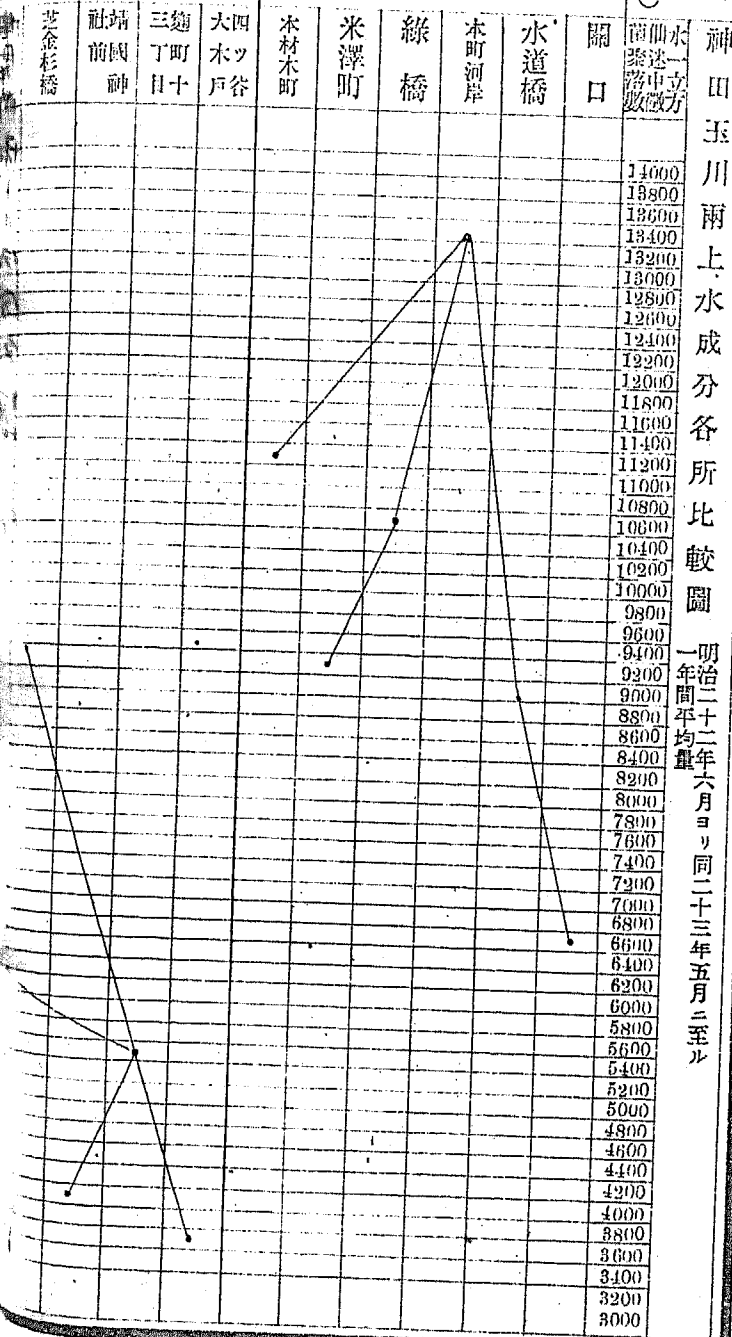
(前)明治十七年四月ヨリ十八年三月ニ至ル

(後)明治二十二年六月ヨリ二十三年五月ニ至ル

水 上 川 玉

水 上 田 神

④ 四十第

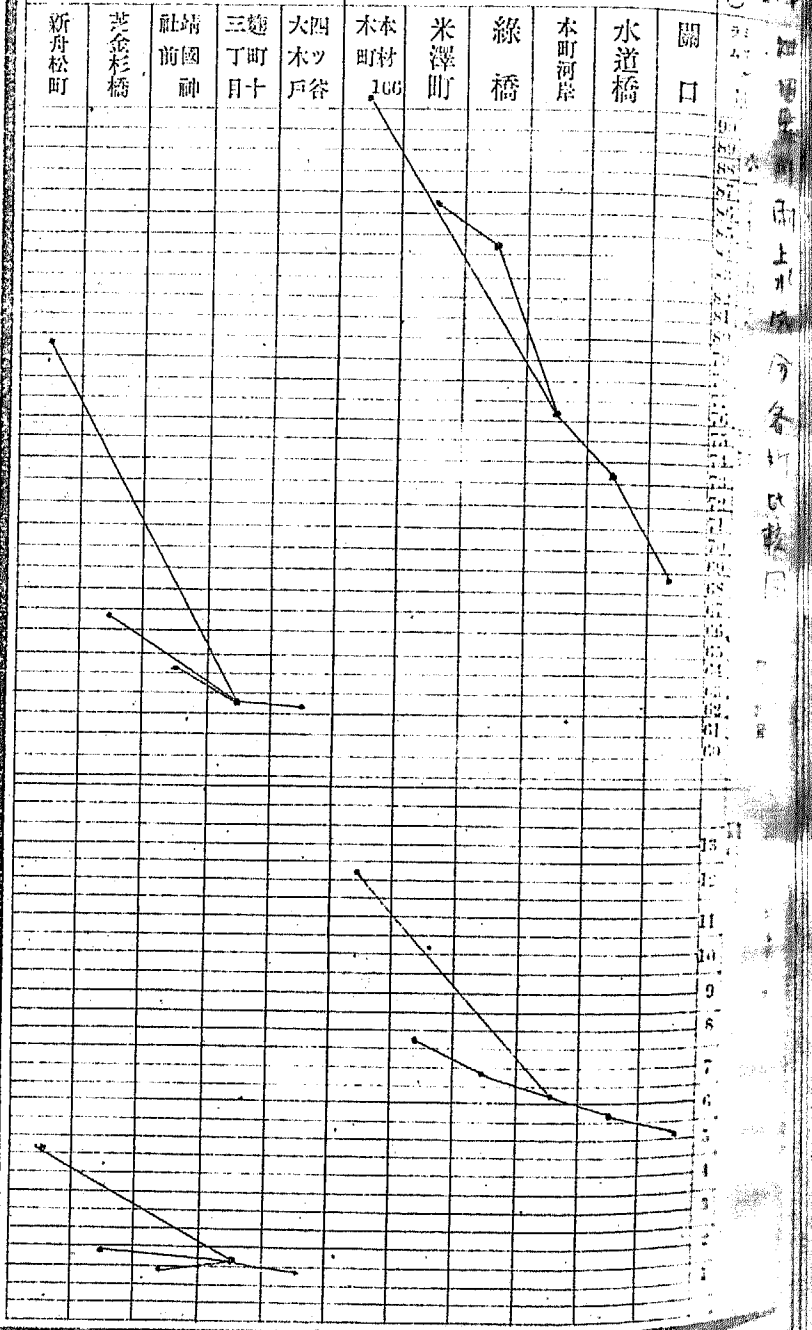


神田玉川兩上水成分各所比較圖 一明治二十二年六月ヨリ同二十三年五月ニ至ル

水 上 川 玉

水 上 田 神

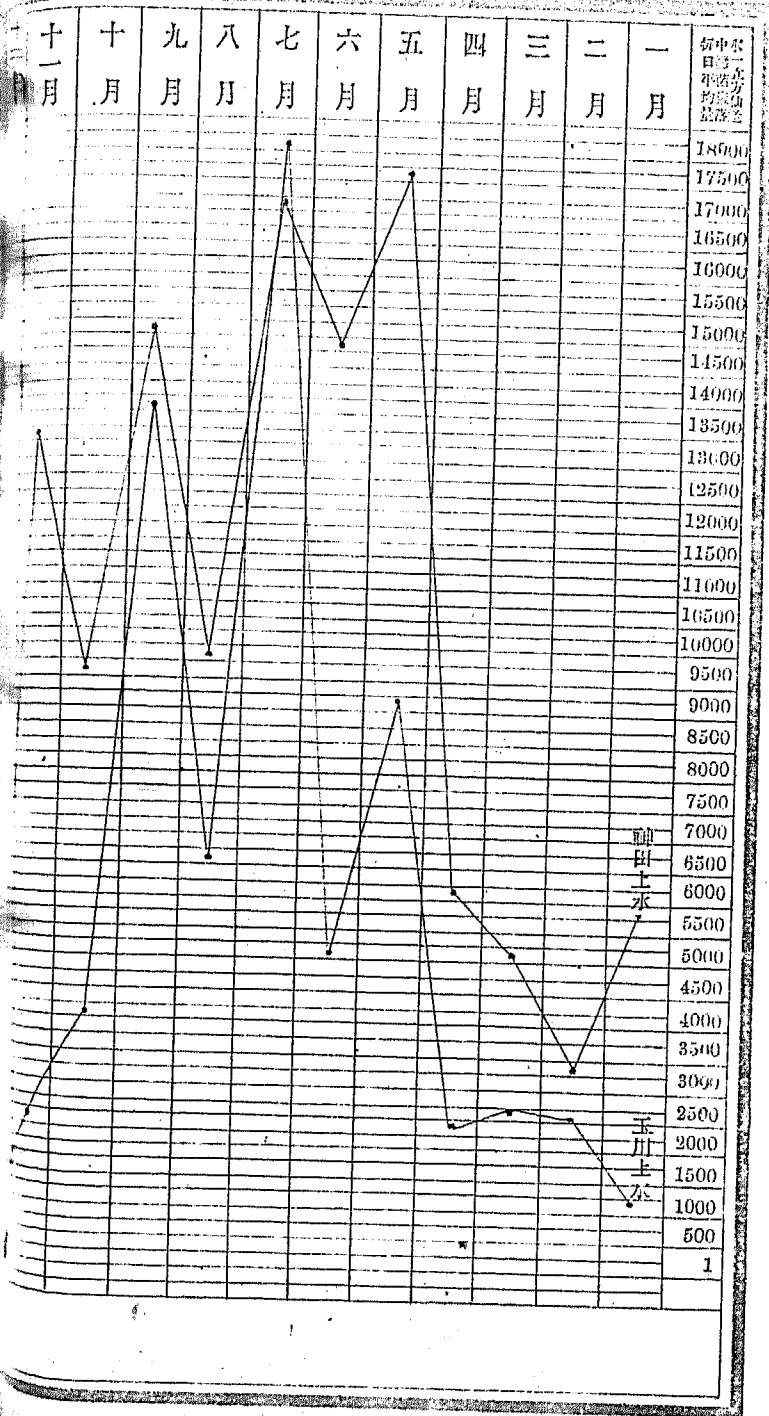
④ 四十第



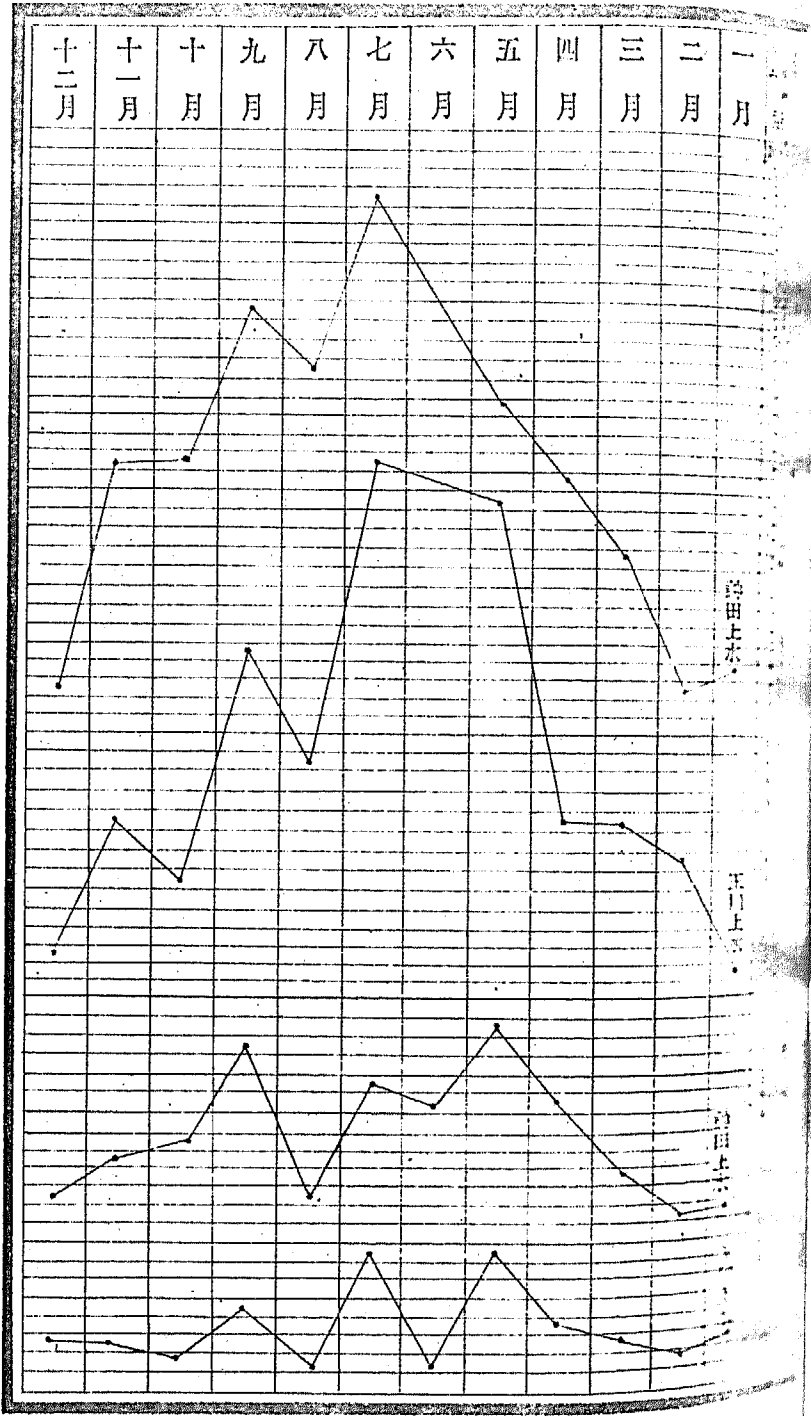
神田玉川兩上水成分各所比較圖

圖較比別月分成本上兩川玉田神乙五十第

量均平月每數ノ落集價價ル至ニ月五年三十同リヨ月六年二十治明



圖較比別月分成本上兩川玉田神乙五十第
量均平月每數ニ至ニ月五年三十同リヨ月六年二十治明



以上... 水質概ネ善良ニシテ微菌ノ如キモ僅少ナリト雖其下流ニ至リ
 濁次不真ニ傾クノ微候ヲ呈シ東京市内未流ニ至ルニ及ンテハ其汚染
 殊ニ甚シク往々飲料ニ適セサルノ点ニ達スルヲアリ蓋シ是レ人畜ノ
 排泄物及有機物ノ腐敗セルモノ等水道樋管ノ腐朽セル實質ヲ窺透ス
 ルカ或ハ之レカ接際ヨリ浸入スルニ因ルモノニシテ例ヘ時々之ヲ修
 繕交換スルモ目下ノ有様ニテハ到底此憂ヲ免ル、能ハズ今之ヲ明ラ
 カニセンカ爲メ左ニ其水質比較表ヲ掲グベシ

神田玉川兩上水々源ト市内入口及未流二箇所トノ水質比較

探 酌 地	固形物(リットル中) (ミリグラム)量	格 兒 魯	過濃酸加 里遜色ノ量	水一立方仙達中 微菌發生ノ數
羽村堰内 廿三年五月 十七日探酌	六四、〇〇	一、四二	〇、六四	四七八
玉川上水 四ツ谷大木戸 同廿八日	六八、〇〇	二、三〇	三、四七	二二五〇
京橋區 新船松町 同廿八日	一一四、〇〇	一二、三八	四、一七	五二〇〇

東京市水道水検査報告

神田上水

井ノ頭堰
小石川原
京橋區
本村木町

廿三年五月
廿一日
同廿八日
同廿八日

四六、〇〇	二、六五	〇、六四	二九五
六四、〇〇	六、七二	三、八二	六八五〇
一一八、〇〇	一五、五七	四、六九	一八二五〇

但シ上水々源ト未流トヲ比照スルニハ固ヨリ同日探酌ノ水ヲ以テ
 セサレバ正シカラサレドモ當時水源調査ノ爲メ出張中ニテ之レガ
 検査ヲ欠キタタルヲ以テ止テ得ス之ヲ次週検査ノ成績ト比較セリ
 又第十三項及十五項月別比較表ニ據ルニ諸成分及微菌ハ十二月ヨリ
 四月ニ至ル迄其減量ヲ見ルモ五月ヨリ卒然増加シテ十一月ニ互ル就
 中七月ハ最高点ヲ示セリ抑モ斯ノ如ク冬期及初春ニ減シテ晩春ヨリ
 秋末ニ其増加ヲ來スハ氣候降雨等ノ關係モアルベシト雖其最大原
 因ハ水路ノ不潔ニ歸セサルヲ得ス蓋シ其水源ハ前條ニモ云ヘルカ如
 シ水質善良ナレドモ之レカ水路ハ山野寒村ノ邊ヲ繞リ或ハ田畑古塚
 ノ間ヲ過ケルヲ以テ霖雨日ヲ累テ大雨登テ頃クルノ候或ハ...

瀆スル諸村落ノ下水ハ其居ヲ浸透シテ之ニ滲注スルハ勿論汚濁ノ汚
入スル箇所少ナカラス殊ニ神田上水ノ如キ井ノ頭源泉ノ一小半ハ田
用水トシテ之ヲ稻田ニ導キタルモノ網狀分岐ノ後細流トナリテ諸所
ヨリ再ヒ上水ニ流入スルノミナラズ其餘水ノ如キハ數里ノ下ニテ往
々之ニ混入スルヲ見ル維時挿秧除草ノ候田夫鋤鍬ヲ揮フニ忙ハシク
肥料糞泥ヲ混スル處ノ濁流上水中ニ混流スル一ツトシテ之ヲ汚染ス
ルノ基因タラサルハナシ是レ五月ヨリ特ニ成績ノ不良ヲ呈スル所以
ナルベシ又前項ノ成績ニ據リ兩上水ノ水質ヲ比スルニ其上流ニ在テ
ハ平常其水質共ニ善良ニシテ大ナル優劣ナキカ如シト雖モ東京市入
口ニ於テハ毎ニ神田上水ヲ以テ劣レリトス是レ玉川上水ハ水路長ク
概子高陸ノ地ヲ經過シ狭山池水ノ混流ヲ除クノ外他ニ水質ヲ汚スノ
傾向少シト雖モ神田上水ハ數多ノ助水ヲ合シ其水路モ多クハ田畑ノ
間ヲ繞リ反テ稻田ノ下ニ位スル所アリ汚水之レニ注カサラントスル

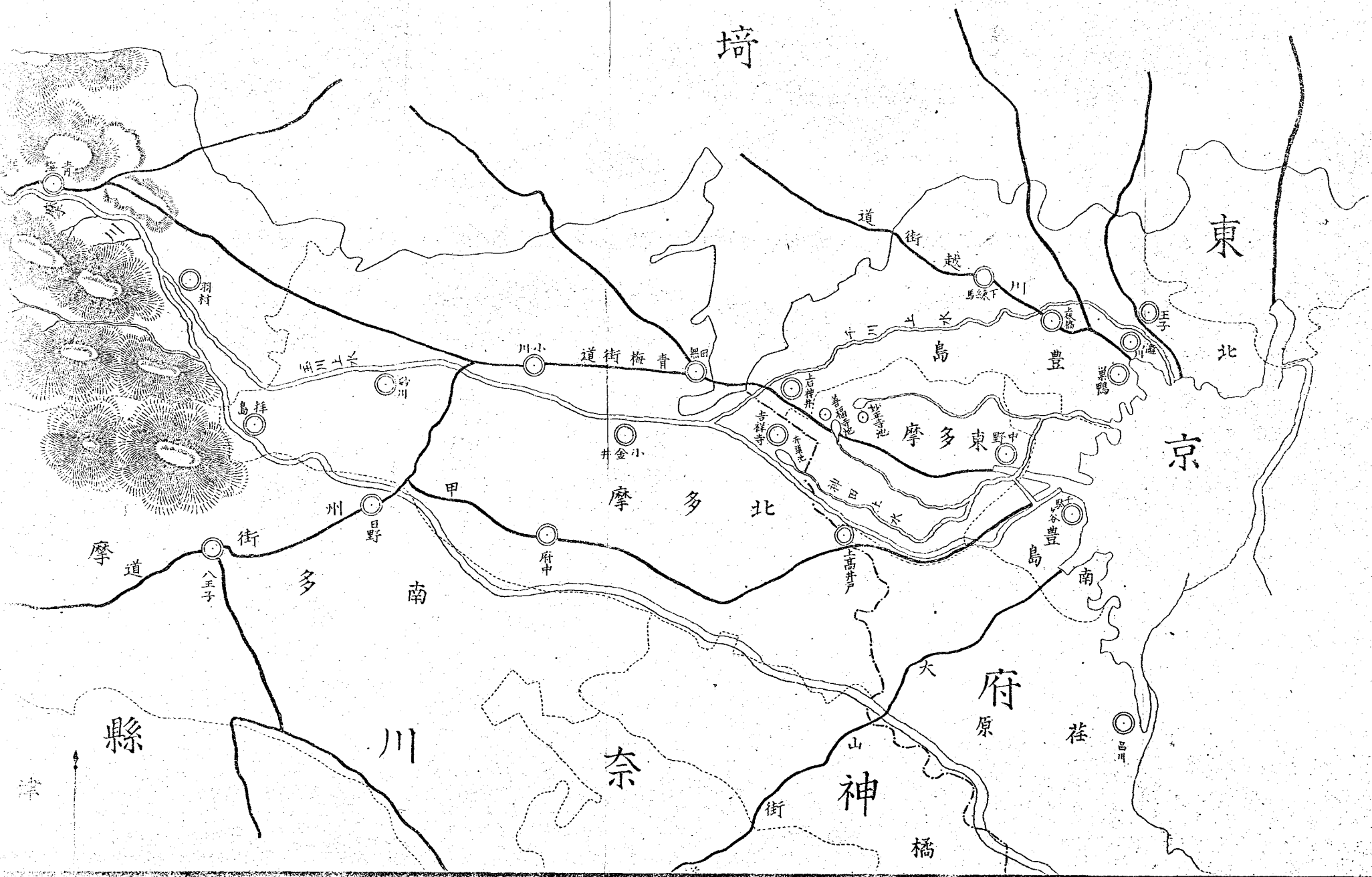
東京市水道水検査成績

モ得ヘカヲサルナリ其下流ノ不淨豈偶然ナランヤ前陳スルカ如ク市
民ノ貴重スル所ノ上水ハ益々汚染ニ傾キ虎列刺窒扶斯ノ如キ傳染病
蔓延ノ媒助ヲ爲ス憂アルヲ以テ速ニ下水疏通ト共ニ水道改良ヲ實施
シテ此禍根ヲ除去スルハ蓋シ目下ノ急務ナルベシ

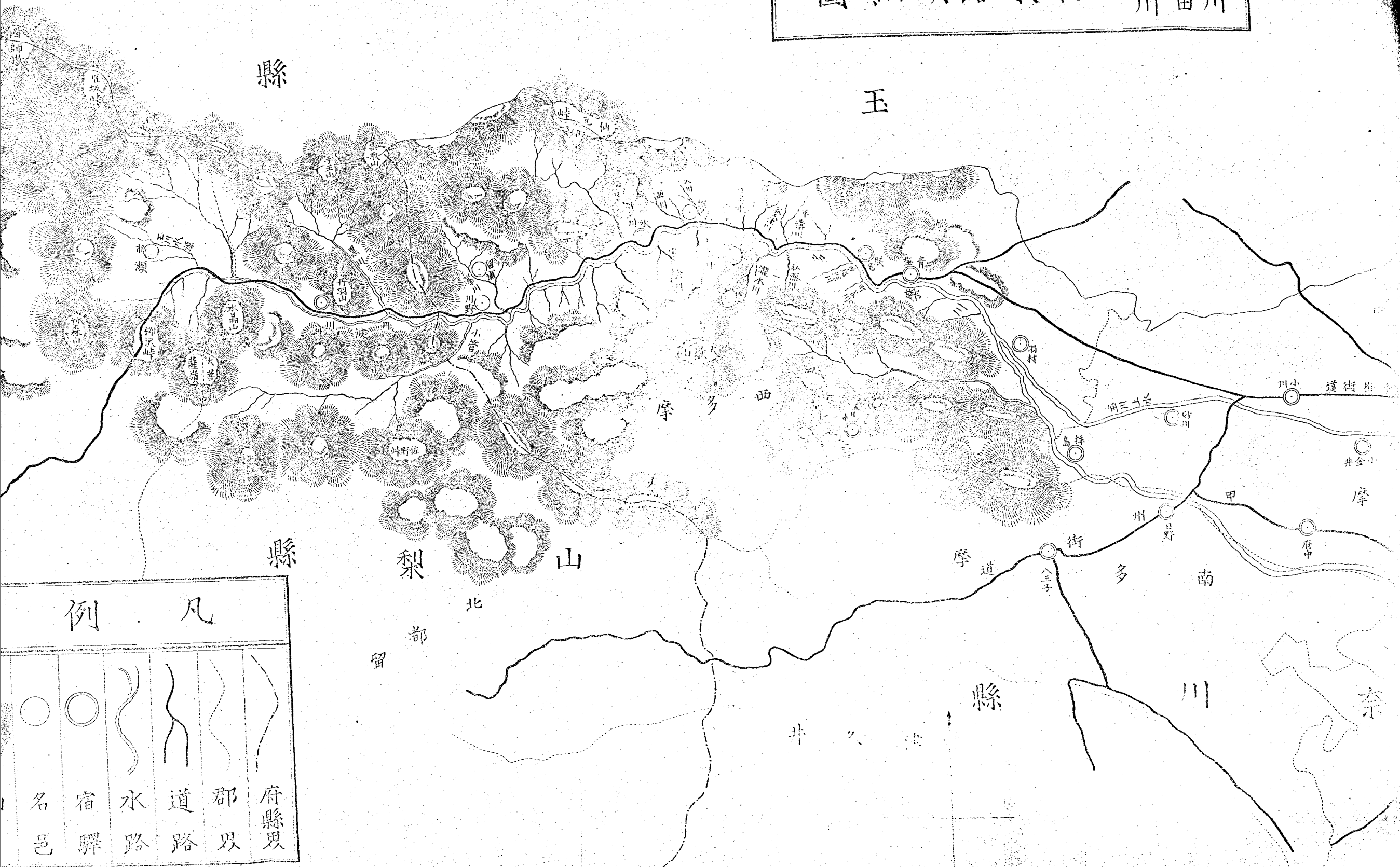
第一
神玉
田川

第一
 玉川 神田 千川 上水 水路 明細

玉



玉川神田千 上水水路明細圖



縣

玉

縣

梨山

縣

川

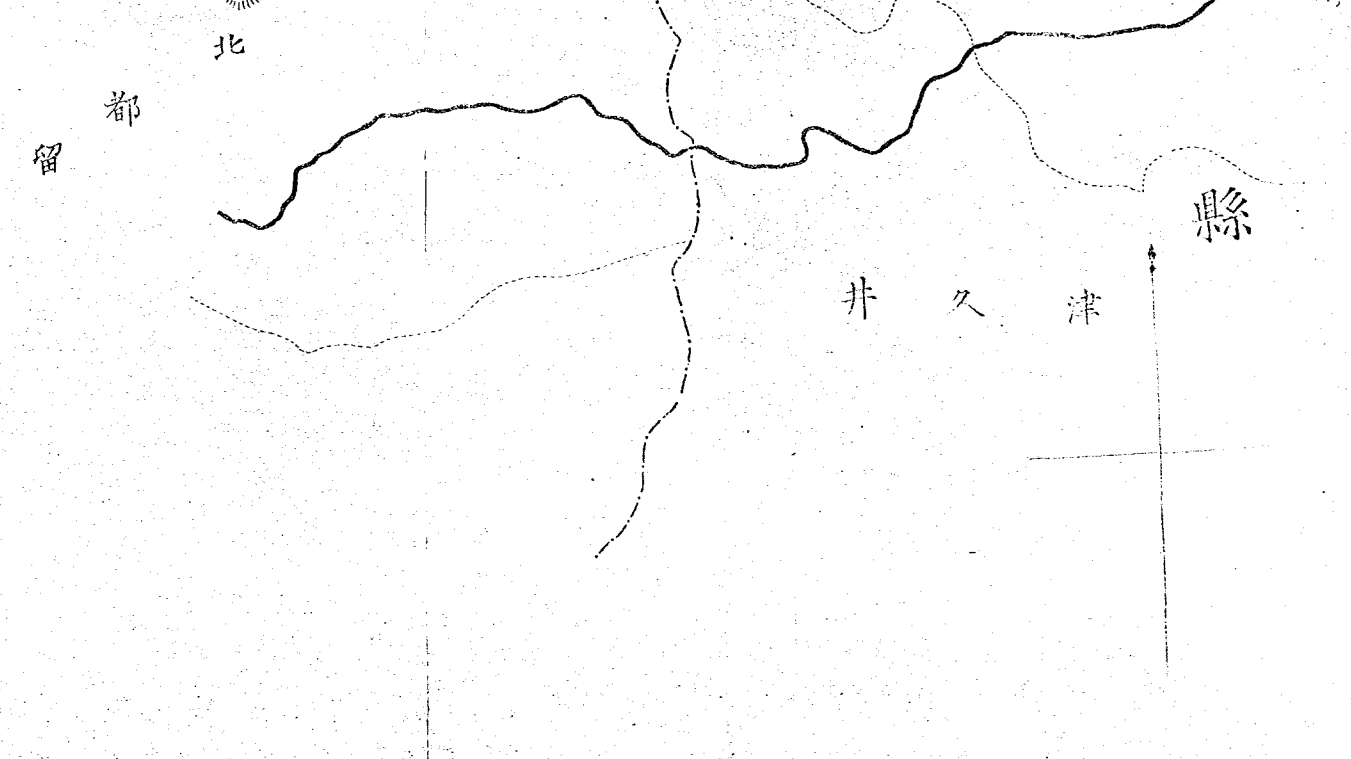
奈

凡例





名邑	宿驛	水路	道路	郡	府縣界

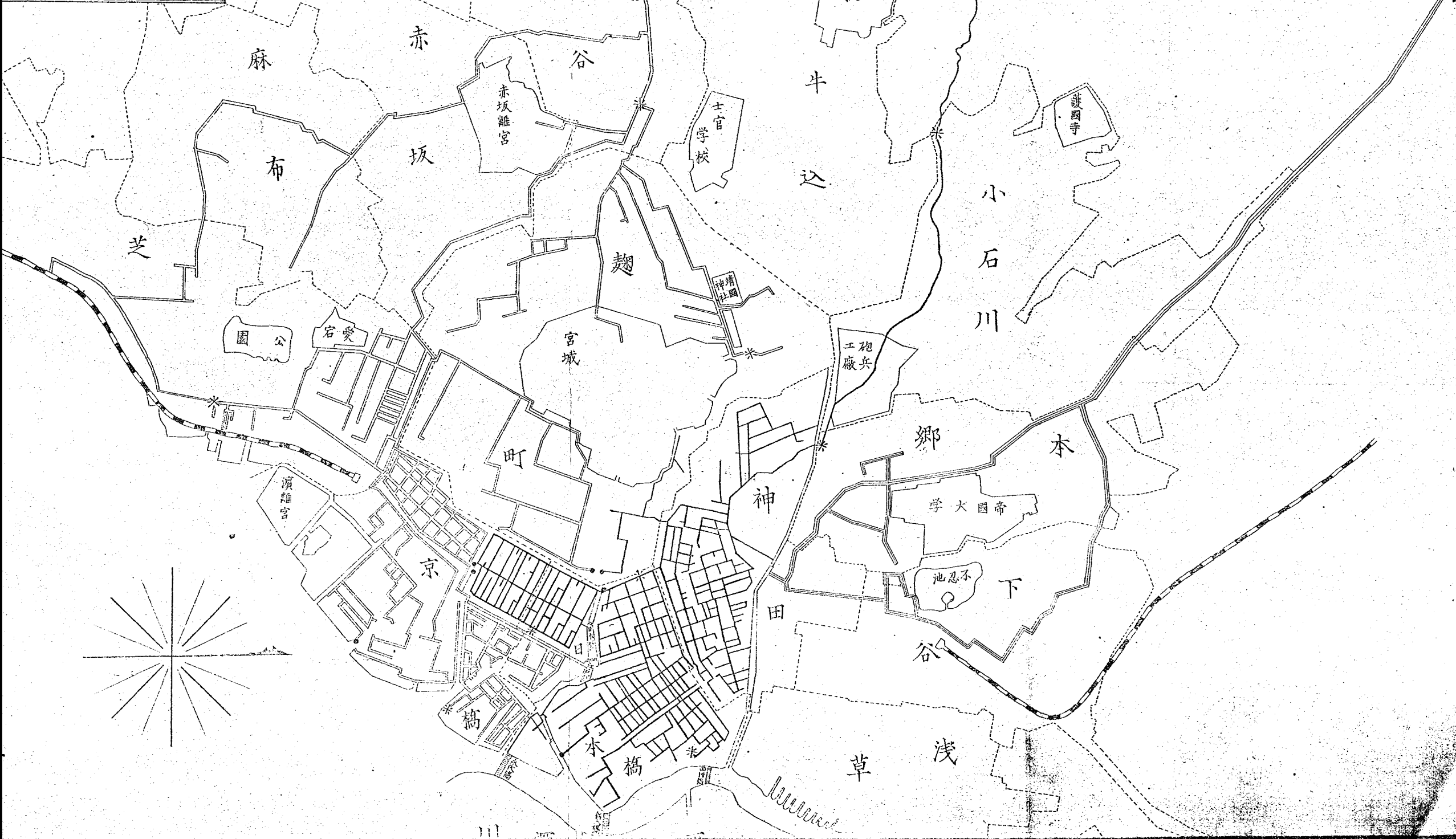


凡例					
山	名 邑	宿 驛	水 路	道 路	郡 界 府 縣 界



千神川田川
 水上分佈區明細圖

				凡例
鐵道	區界	千川上水	神田上水	



本誌第八大段衛生試驗所ニ於テ施行シタルモノ
 鏡泉試驗表

成分	食鹽炭酸泉ノ部		鹽類泉ノ部
	伊豫國宇摩郡金砂村大字平野山	攝津國川邊郡石道村	
固形物	三、六五六〇 _瓦	四、八二六四五 _瓦	一五、六四〇〇 _瓦
格魯兒化加留謨	〇、二一八八	〇、一八一五〇	〇、三〇八三
格魯兒化那魯留謨	一、六四一九	三、一二一一一	一〇、六九九八
炭酸那魯留謨	〇、七八三二	〇、七三三三三	一、三五三五
炭酸加兒叟謨	〇、七四三九	〇、五七〇〇〇	一、三三三四
炭酸麻留留夏漢	〇、一四八八	〇、一三五四〇	〇、〇七〇〇
珪酸	〇、〇五九〇	〇、〇七四〇〇	一、二三九〇
炭酸游離及半結合	一、七九五	二、一六九四三	
燐酸	痕跡	痕跡	痕跡

鏡泉試驗表

成分	單純炭酸泉ノ部		亞爾加里炭酸泉ノ部
	沃度酸	同痕跡	
硼酸	同痕跡	同痕跡	痕跡
沃化鉄及礬土	〇、〇三三〇	同痕跡	〇、〇三二九
安母尼亞	痕跡	〇、〇〇三五二	痕跡
炭酸安母紐謨		〇、〇〇八七〇	〇、〇一七八
炭酸亞酸化鉄		同痕跡	〇、一六一〇
貌羅謨		同痕跡	痕跡
礬土			〇、〇七九一一
格魯兒化安母紐謨			
格魯兒化加兒叟謨			
硫酸			痕跡

攝津國能勢郡根根村大字上森村
 一、四八八〇
 成分
 泉地
 亞爾加里炭酸泉ノ部
 先賢縣下野田出ノ礬泉ニ人造炭酸ヲ加シテ成ルモノ

格魯兒化那篤留謨	○、〇二六	格魯兒化那篤留謨	〇、〇四三
炭酸那篤留謨	〇、六〇二四	格魯兒化那篤留謨	〇、〇〇一八
炭酸加兒叟謨	〇、三三二〇	炭酸那篤留謨	一、一〇五
炭酸麻佃留謨	〇、二八五〇	炭酸加兒叟謨	〇、二六五〇
炭酸亞酸化鉄	〇、一五〇五	炭酸麻佃留謨	〇、〇〇一九
珪酸	〇、一〇九〇	酸化鉄及礬土	〇、〇一一
炭酸 遊離及半結合	一、五〇一九	珪酸	〇、一三四五
礪酸	痕跡	炭酸 遊離及半結合	七、二三三
硼酸	同	硝酸	痕跡
沃度	同	亞硝酸	同
貌羅	同	磷酸	同
礬土	同	硼酸	同
		沃度	同

鑛泉試驗成績

百七

百八

單純泉ノ部

貌羅謨

痕跡

成分	泉地		
固形物	山口縣周防國都濃郡湯野村	〇、一三五〇瓦	
硫酸加留謨		〇、〇〇五一	
硫酸那篤留謨		〇、〇二五七	
格魯兒化那篤留謨		〇、〇三六二	
炭酸那篤留謨		〇、〇六三〇	
炭酸加兒叟謨		〇、〇二八〇	
珪酸		〇、〇二六〇	
磷酸		痕跡	
酸化鉄及礬土		〇、〇〇一〇	
苦土		痕跡	
	大坂府下仕吉郡南百齊村大字湯谷島	〇、三四六〇瓦	
		〇、一一八二	
		〇、〇四七八	
		〇、〇五三〇	
		痕跡	
		酸化鉄	
		痕一、〇〇〇	
		痕五	

炭酸

炭酸

炭酸

有機

有機

有機

定性試験ノ部

伊豫國宇摩郡小川山

三重縣下負辨郡沼田村大字新田

二、五六五〇瓦

〇、二五八〇瓦

固形物

炭酸

硫酸

格魯兒

酸

酸

酸

鐵

多量

少量

多量

少量

中量

少量

少量

少量

少量

少量

少量

痕跡

〇、〇〇七〇

〇、〇二二八

〇、一四一九

痕跡

伊豫國宇摩郡小川山

百九

禁石 苦母 安母 加里 曹達 有機物

痕跡 多量 少量 痕跡 少量

痕跡 多量 痕跡 少量 中量

百十

土鍋及陶器ノ鉛析出検査

本試験ハ東京衛生試験所ニ於テ技師古川榮カ主任トナリ施行シタルモノナリ

近年流行スル珪瑯鍋ノ著シク鉛ヲ析出スルコトハ曩ニ當衛生試験所ニ於テ證明スル所ニシテ警視廳ニ於テモ亦同一ノ成績ヲ得タリト云

アヲサル陶器ハ多量ノ鉛ヲ析出セリ
 土鍋及陶器試験ノ成績ヲ報告スルニ先テ試験ノ方法ヲ左ニ略陳ス
 土鍋ハ百分中四分ノ醋酸ヲ含ム水ニテ三十分時間煮沸シ各鍋ニ就テ
 其量ヲ一定シテ殆ト五十立方仙迷トナシ之ニ硫化水素ヲ通スルニ褐
 色(少)乃至黑色(多)ニ著色セリ但シ故ラニ鉛ヲ定量セサリシハ醋ト鍋ノ
 銅接面一定セサルニ因ル
 陶器ニハ等シク四%ノ醋ヲ充テ蓋ヲ被ヒ八乃至十二度ノ温ニ於テ二
 十四時間放置シ各陶器ニ就テ其量ヲ一定シテ約ソ五十立方仙迷トナ
 シ之ニ硫化水素ヲ通スルニ褐色乃至黑色ヲ呈セリ但シ鉛ヲ定量セサ
 リシハ前項ノ理由アルニ因ル
 土鍋試験成績

名	稱	産地	販賣人	代價	徑寸、分	鉛析出ノ多少
第一號	瀬戸製柿中鍋	愛知	—	二、八	五、五	析出セズ

土鍋及陶器ノ鉛析出検査成績

名	稱	代價	徑寸、分	鉛析出ノ多少
第二號	刷毛目梅繪中鍋	野州 益子	三、八	五、五 析出セズ
第三號	安南笹繪鍋	同 阪	三、八	四、七 析出セズ
第四號	刷毛目小鍋	同 阪	三、五	四、五 析出セズ
第五號	網繪小鍋	同 賀	三、五	四、五 析出セズ
第六號	小かゝ鍋	野州 益子	一、五	四、二 析出セズ
第七號	鯖孫行鍋	野州 益子	一、七	三、二 析出セズ
第八號	水鳥つる鍋	東京 本所	九、五	四、五 多量
第九號	手か圓形鍋	同 淺草	二、五	四、五 多量
第十號	手か扁平鍋	東京 本所	三、〇	五、〇 多量
第十一號	三平土鍋	東京 本所	四、五	五、五 多量

陶器試験成績

名	稱	代價	徑寸、分	鉛析出ノ多少
第十二號	淡路焼丸形井	七、五	四、〇	多量

第十七號	出雲燻方形井	二二、〇	四、五	析出 セズ
第十六號	會津燻蓋物	五、〇	三、五	析出 セズ
第十五號	栗田燻蓋物	一五、〇	四、五	析出 セズ

以上試驗ノ成績ニ據レハ東京産ノ土鍋ハ悉ク鉛ヲ析出シ又淡路産ノ陶器モ等シク鉛ヲ析出スルモノトス

救荒植物検査成績

本試驗ハ東京衛生試驗所ニ於テ技師古川榮及技手平野猪之助主任トナリテ施行シタルモノナリ

凡ソ植物中其根、葉、實、核タルヲ論セス有害ノ物質ヲ含有セサル限リハ一定ノ調理ヲ施シテ之ヲ食料ニ供シ得ヘキモノ勘シトセス之ヲ救荒植物ト稱ス豊年ノ際ハ之カ必要ヲ感セスト雖モ一朝凶歲ニ遭遇セハ彼我ヲ辨スルノ暇ナク原野ノ植物ヲ採食シ尙ホ且ツ饑餓ヲ訴フルハ

比々皆然リ依テ救荒植物ノ研究ヲ爲スハ最モ必要ノコトナリトス

爰ニ検査シタル救荒植物ハ三十餘種ニシテ之ヲ根、葉、莖、實、核等ニ從テ類別スルハ至當ナレトモ其數少ナキカ故ニ特ニ之ヲ區別スルコトヲ爲サズ左ニ只百分中ノ成分ヲ表示ス

種別	成分	水	分	含窒素物	脂	肪	無窒素越幾斯分	木	纖維	灰	分
石蒜 (根)		六七、四九〇		〇、三二一		〇、〇七八	一六、八五〇				
王瓜 (根)		七八、八二〇		〇、三二一		〇、〇七八	一八、〇一八		一、七二三		一、〇四〇
綿菜兒 (根)		七七、四六〇		一、三五六		〇、一四四	二〇、三二三		〇、五六七		〇、一八〇
枸杞 (芽)		八六、三八〇		四、七四六		〇、四五三	四、九八二		一、八一九		一、六二〇
朴樹 (芽)		七七、八六〇		三、八四九		〇、〇五六	八、〇八五		七、三四〇		二、八一〇
虎杖 (莖)		八四、九〇〇		四、八七五		〇、二六五	六、一一五		二、四一五		一、四三〇
酸模 (葉)		八九、七二〇		二、三四八		〇、二七六	三、四三七		三、一九四		一、〇二五
酸模 (芽)		七九、五四〇		二、八〇〇		〇、八七四	一四、七三八		〇、八五六		一、一九二

竹葉	茵陳	蒲公荑	冬葱	鷄兒腸	山蒜	艾	藥	酸	蘇	茵	大薊	草
(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(藥莖)	(藥)	(藥)	(藥)	(藥)	(藥)
七八、八四〇	九三、五八五	八七、八二五	九二、三四四	八七、四五〇	八四、五八〇	八〇、五四〇	九五、一六五	八二、六五〇	八八、五二五	八七、九五〇	九一、一一〇	八六、三二五
四、二〇〇	一、六八九	一、七〇六	〇、八七四	三、二五〇	〇、二四六	四、五四五	〇、四一一	三、二三七	四、七二五	二、九七〇	二、〇一七	一、四八八
〇、七六一	〇、一九一	〇、五六四	〇、二一二	〇、三七七	〇、二七八	〇、五八四	〇、〇五七	〇、八三五	〇、二三三	〇、二五七	〇、七一七	〇、一六九
一〇、二八七	二、三八九	六、一〇四	四、九六八	五、五一六	一二、七〇四	七、一三〇	一、九〇六	九、八七四	二、四〇二	四、七五九	三、四六三	六、九六八
二、四三二	〇、九五二	一、七七二	〇、九五八	一、七九四	一、三三二	四、六四一	一、〇四六	二、二〇九	一、三二一	一、九七四	一、四七三	二、一三五
二、四八〇	一、一九五	二、〇三〇	〇、六四四	一、六二三	〇、八六〇	二、五六〇	一、四一五	一、一九五	二、八〇五	二、〇九〇	一、二二〇	一、九一三

本草植物検査成積

水芥菜	鷄毛菜	頭髮菜	零餘子	無漏子	櫛實	櫛實	標實	薏苡仁	山白竹實	ス、タケ實	枹實	同小
(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)	(草)
八五、一五〇	九五、三一五	八七、三〇〇	六五、六三〇	三八、四九〇	四五、三一〇	四五、三五〇	一二、七四〇	一一、九八〇	一四、〇四五	四六、〇五〇	三七、八三〇	
五、七三七	〇、三五〇	二、一〇〇	二、四七五	八、〇五〇	二、九七五	二、八〇〇	一三、六五〇	一一、九八〇	九、三二五	二、八一三	二、八九六	
〇、四二四	〇、一一一	〇、〇五六	〇、〇三四	〇、四一二	三、一五四	五、三六四	五、三八〇	一、五三〇	〇、九七八	〇、五九三	二、〇一四	
四、六一二	二、五六三	八、〇五〇	二八、二四四	四五、〇四二	四一、一〇七	四〇、四一四	六四、九四〇	七〇、一八〇	七一、三〇八	四七、六五九	五三、八三一	
一、三二一	〇、五二六	一、〇八六	二、二九二	六、七一一	五、七七四	四、六七二	三、一七〇	三、二九〇	三、一七四	二、三四六	二、六〇九	
二、七五六	一、一三五	一、四〇八	一、三三五	一、二九四	一、六八〇	一、四〇〇	〇、一一〇	一、〇四〇	一、一七〇	〇、五三九	〇、八二〇	

以上列記セル所單ニ化學的検査ニ止マリテ未タ以テ發價ノ高低ヲト

白質ニ屬セサルモノアリ從テ其養價モ二分ノ一以下ニ減退スルモノ
 トス脂肪ノ如キモ葉綠素過半ニ居ルハ石油依的兒越幾斯ノ極メテ綠
 色ナルヲ見テ知ルヘシ無窒素越幾斯分中ニハ糖、澱粉モ之アルヘシト
 雖モ又不明ノ物質アリ木纖維ハ殊ニ老舊植殊ニ多ク爲メニ却テ他ノ
 養分ノ吸收ヲ妨クルコトアリ其他詳細ノ点ニ就テハ充分試驗ノ上他
 日再ヒ報道スヘシ

○ 飲食物試驗成績

本試驗ハ大匠衛生試驗所ニ於テ施行シタルモノナリ
 醬油試驗表 本表中液體ニ於ケルノ數ハ總テ原液百立方仙迷中ノ瓦數ナリ

成分種類	結晶醬油	改良白色醬油	通常醬油	通常醬油
異重				
反應	酸性	微弱酸性	酸性	酸性
異重		一、一四八(攝氏十三度)	一、一八九(攝氏十三度)	一、一六一(攝氏十八度)

飲食物試驗成績

成分種類	越幾斯分	有機物	無機物	糖	糊精	窒素	揮發性酸	不揮發性酸	個里設林
水分	一六、六三〇	二九、七五一	五、三六一	二、四〇九	六、四〇〇	少	一、三三八	一、五九二	一、七五〇
水分	二一、三九八	五、九二八	一、五四七	一、六八八	痕跡	〇、三三一	一、五九二	〇、七八五	
水分	二七、三九七	九、〇八四	一、八三三	二、〇八四	少	〇、六七八	〇、四四四	〇、五八一	
水分	二八、八三四	一〇、九〇九	一、七九三	一、三九〇	〇、四二九	〇、七七二	〇、〇四九	〇、七〇六	一、一〇二

餡試驗表

成分種類	糯米製餡	粳米製餡	粟製餡	糯米製混合製餡	水	餡	牛乳餡
水分	二二、一九五	一九、三二一	一九、四七一	一九、〇三四	一四、〇六〇	一四、〇一〇	一四、〇一〇

無機鹽	〇、四一九	〇、五三一	〇、七四五	〇、六七三	〇、三九〇	一、二四〇
蛋白質	一、一九一	一、四七九	一、八〇五	一、六五二	〇、六一〇	四、三五〇
精製澱粉	一六、八四三	一三、六三五	一六、三八八	一六、四一四	一五、五五〇	三、四一〇

「ツベルクリン」製造試驗成績

東京衛生試驗所ニ於テ所長中濱東一郎カ同所技手井崎貞一郎ヲ助手トナシ製造シタル「ツベルクリン」ノ成績左ノ如シ

明治二十三年末獨逸國ニ於テ古弗カ「ツベルクリン」ヲ發明セシトノ報アリシヤ余ハ之ヲ結核「バチルス」ノ產出物ナルヘシト信セシカ其後古弗ハ詳ニ其製造法ヲ公ニセサレトモ該藥品ハ結核「バチルス」ノ產出物ナルヲ明言セリ爾來余ハ其製造ニ著手セシカ許多ノ公用起ルニ際シ之ヲ繼續スル能ハス明治二十四年九月ニ至リ漸クニシテ再ヒ之カ製造ニ著手シ今ヤ好結果ヲ得タリ

「ツベルクリン」製造試驗成績

今回余カ製造シタルモノハ管ニ理化學的性質ノ古弗「ツベルクリン」ニ同一ナルノミナラス之ヲ結核性「モルモット」ニ試ムルニ局處ノ結核病ニ其効アルヲ認メタリ

製造法

凡二百五十立珞ヲ容ルニ足ル「コルベン」八箇ニ個里設林肉羹汁凡半容ヲ滿タシ凡テ菌學的ノ注意ヲ施シ之ニ血漿培養基ニ充分發生シタル結核「バチルス」多量ヲ種接シ三十七度五分乃至三十七度八分ノ温ヲ加ヘテ安置シタリ然ルニ「バチルス」ノ發生甚ダ緩徐ナルカタメ試ニ結核「バチルス」ヲ有スル血漿ノ凝固物ヲ加ヘタルニ「コルベン」底面ニ沈降シリ依テ此培養物ノ全部ヲ濾過シ重湯煎上ニ蒸發シ其異重ノ古弗「ツベルクリン」ト殆ト同様ニ至リテ止メリ

於テモ其製造ノ時日ヲ異ニスルニ從テ多少ノ相違アルト見シテ其甚シカラス(個里設林ノ量ハ大ニ差アレトモ其効力ニ至リテハ差異ナシ)左表上段ニ掲クルモノハ古弗ツベルクリンニシテ當試驗所ニ於テ検査ヲ施セシモノ下段ハ余カ製造シタルモノナリ

古弗ツベルクリン

日本製

二月二十日製	二月十九日製	五月十九日製	十月十五日製	十月二十一日製
比 重	一、一七九	一、八三	一、二〇八	一、一九五
反 應	「アルカリ」性	「アルカリ」性	「アルカリ」性	「アルカリ」性
窒 素	—	—	二、七三〇	三、四〇〇
格魯兒	—	—	二、九五〇	三、二四〇
個里設林	—	—	三七、〇六〇	一五、八九〇
灰 分	—	—	六、三八〇	七、四〇〇
余ハ本年三月來數多ノ古弗ツベルクリンノ検査ヲ施セシカ常ニ「アル				

「ツベルクリン」製造試驗成績

カ「性」反應ヲ呈シ未ダ曾テ中性反應ヲ呈スルモノナシ然ルニ歐洲ニ於テ施シタル諸試驗ニ由レハ多クハ中性反應ヲ呈スト記シアルヲ以テ或ハ製造ノ當時ハ反應中性ナルモ時日ヲ經過スレハ其成分ニ變化ヲ起シテ「アルカリ」性ニ變スルモノナランカ或ハ該檢者ノ注意ヲ欠キタル所アルニ依ルナランカノ疑ヲ起シタルヲ以テ本年九月ノ交ニ製造スル古弗ノ助手リッベルツニ問合セタルニ本月十四日左ノ回答ニ接シタリ

伯林 千八百九十一年十月二十八日

同僚閣下

謹テ貴問ニ答ヘン余輩カ製造スル「ツベルクリン」ハ製造後ハ即時ニ「アルカリ」反應ヲ呈シ久シキニ至ルモ同様ニ御座候之レ培養基ノ然ラシムル所ナリ且熱帶地方ノ高温ニ遇フモ其効力ヲ減少スルヲトナシ蓋シ古弗カ最近ノ報告ニ於テ御承知アル如ク個里設林ヲ加ハ

以上ノ回答ヲ以テ之ヲ考フレハ「ツベルクリン」ノ反應ヲ中性トナセシ
ハ檢者ノ誤ニテ余等カ試驗ノ正確ナルヲ知レリ
今回製造ノ「ツベルクリン」ヲ結核性印度豚六頭(結核菌ヲ種接後二週乃
至四週ヲ經過シタルモノ)ニ注入スルニ(甲)乃至丙ハ十月二十一日製造
品、丁乃至己ハ十月十七日製造ノ品ヲ用ユ

(甲)ハ、〇、〇一ヲ注入スルモ反應確實ナラス依テ一日ヲ隔テ、更ラニ
〇、〇五ヲ注入セシニ注入時ノ體温三十九度六分(直腸ニテ測ル以下
做之)ナリシカ第四時ニ四十度一分ニ昇リ夫ヨリ多少弛張アリテ第
十二時ニ四十度三分(最高)ニ達シタリ潰瘍ノ周圍ハ腫起赤色著シカ
リキ

(乙)〇、〇ニヲ注入スルニ體温三十九度五分ナリシカ第二時ノ後己ニ
四十度ニ達シ夫ヨリ少シク下降シ第十一時ニ再ヒ四十度ニ達セリ

ツベルクリン製法及試驗法

又一日間歇シテ更ニ〇、一五ヲ注入セシニ第三時ノ後四十度八分ニ
昇リ夫ヨリ少シク下降シ第十二時ニ至リ再ヒ上昇シテ四十度八分
ニ至レリ

(丙)〇、〇四ヲ注入スルニ初メ體温三十九度ナリシカ第二時ニシテ三
十九度八分ニ上リ爾後少シク弛張ヲ呈シ第十一時ニ至リ再ヒ上昇
四十度(最高)ニ達シタリ又一日ヲ隔テ、〇、一ヲ注入スルニ第三時ニ
四十度一分ニ昇リ凡ソ九時間稽留シタリ

以下ノ試驗ハ十一月十七日製造ノ「ツベルクリン」ヲ用ユ
(丁)〇、〇四ヲ注入スルニ初メ體温三十九度三分ナリシカ第一時ノ後
既ニ四十度ニ昇リ第三時ニ四十度四分(最高)ニ達ス夫ヨリ一時下降
シ第九時ニ再ヒ四十度ニ昇リタリ

(戊)〇、〇六ヲ注入セシニ體温ハ第四時ノ後三十九度三分ヨリ四十度
三分ニ上レリ然ルニ其後俄然體温下降シ平温ニ下リ(三十八度)タレ

分(最高)ニ昇リ夫ヨリ一時下降シ、後再び四十度ニ達シタ
又當所ニ於テ古弗「ツベルクリン」ヲ結核性印度豚(種接後凡四週)ニ注入
スルニ〇、〇ニテ注入スルニ及ンテ明カナル反應ヲ來セルカ故ニ右ノ
成績ハ當所製造ノ「ツベルクリン」ノ古弗「ツベルクリン」ニ同一ナルヲ證
スルモノナリ

又治療ノ目的ヲ以テ右試驗ニ使用シタル甲、乙、丙三頭ノ動物ニ隔日〇、
〇ニテ注入セシニ乙獸ニ於テハ腹部ニアル結核性潰瘍ハ五回注入(初
度ノ二回ヲ算セス)ノ後外部全ク瘡痕ヲ結ンテ治癒シタリ他ノ二頭ノ
試驗獸ハ十二回及十三回ノ注入ノ後潰瘍ハ未タ全ク瘡痕ヲ結フニ至
ラサルモ著シク縮少シ將ニ治癒セントシタリシニ不幸ニモ右三頭共
ニ衰弱シ以テ斃レタリ之ヲ解剖スルニ内部結核ノ治癒ノ傾向ナカリ
シハ古弗「ツベルクリン」ヲ以テ試驗シタル結果ニ同シ
右ノ試驗ヲ終リタルニ當リ適々本年十月二十二日發兌獨逸醫事週報

「ツベルクリン」製造試驗成績

ニ接シタリ此報ニ古弗ハ「ツベルクリン」ノ製造法ヲ公示シタル一篇ヲ
載セ余カ施シタル製造法ト殆ト同一ナルヲ知レリ又其書中ニ結核「バ
チルス」ヲ種接シタル後四週乃至五週ヲ經過シタル印度豚ニ「ツベルク
リン」〇、五ヲ注入スレハ六時乃至三十時ニ必ス斃ルトノ一節アリ依テ
試ニ種接後凡五週乃至六週ヲ經過シタル印度豚二頭ニ各〇、五ヲ注入
セシニ一頭ハ二十時又一頭ハ三十三時ノ後斃レタリ以上ノ試驗ニ由
レハ余カ製造シタルモノハ古弗「ツベルクリン」ト同一ノ物質ナルヤ明
ナリ

蠅ノ傳染病ニ於ケル關係試驗成績

本試驗ハ大坂衛生試驗所技手日下毅カ施行セルモノナリ

蠅ノ傳染病ニ於ケル關係試驗成績

蠅ハ關節動物六脚蟲ニシテ二翅族蠅科ニ屬シ到ル處之ヲ生セサルナ
リ

ルモノヲ以テ其腹ノ蚊ナル或ハ去テ吾人ノ排汚物ヲ試リ或ハホ
ツテ吾人ノ飲食物ヲ嘗メ甲ノ發瀝ヲ乙ニ移スノミナラス到ル處自己
ノ糞尿ヲ散點スルヲ以テ彼ノ恐ルヘキ傳染疾患ノ病毒ヲ傳搬スルノ
虞ナキ能ハサルモノトス右來俗間痘瘡毒ハ蠅ヨリ傳染スト唱ヘ成書
ニモ脾脫疽ハ蠅ノ傳搬スルコトアルヲ説ケリドクトルグラッシーハ偶
然毛頭蟲及絲蟲卵検査ノ際蠅ノ之ヲ傳搬スルヲ發見シ醫學士北里モ
蠅ノ傳染病毒ヲ傳搬スルモノナルヲ論セリ然レトモ未タ微菌的精細
ノ實驗ヲ爲セシモノアルヲ聞カス因テ斯ニ之ヲ確メント欲シ本年六
月初旬ヨリ之ヲ試驗ニ從事シ左ノ成績ヲ得タリ

採蠅法

蠅ハ其雙翅ヲ振フテ自在ニ飛翔スルモノナレハ手掌ヲ以テ捕フルト
キハ或ハ其體ヲ壓搾シ或ハ其肢ヲ剝離スルヲトアリ此ノ如キ輕傷モ
彼レ細小ナル動物ニ於テハ實ニ重大ナル負傷ニシテ或ハ爲ニ死ニ歸

蠅ノ傳染病ニ於ケル關係試驗成績

シ或ハ其食欲ヲ減乏スルノ狀アリ余ハ之ヲ避ケント欲シ彼カ嗜好セ
ル物質ヲ時表硝子ニ盛り彼ノ貪食他念ナキヲ窺ヒ大ナル硝子漏斗ニ
テ覆ヘリ彼稍々飽食スルヤ翅ヲ放ツモ漏斗外ニ出ツルヲ得サルヲ以
テ遂ニ漏斗壁ヲ傳フテ彷徨スルニ至ル斯ニ於テカ注意シテ漏斗ヲ僅
ニ提起シ時表硝子外ニ靜ニ移動シ黑色布片ヲ漏斗ノ下ニ送り之ヲ包
裹セリ茲ニ於テ蠅ノ明處ヲ尋子漸次漏斗頸部ニ來ルヲ窺ヒ斯ニ試驗
管ヲ接シ其内ニ誘ヒ來ラシメ更ニ之ヲ大ナル硝子鐘内ニ送り貯ヘ以
テ試驗ノ用ニ供セリ此ノ如クスルトキハ蠅體ニ毫モ損傷ヲ來サハル
ヲ以テ試驗上便利ヲ得ルコト多シ

第一 「バチル」スプロヂギオーズス」試驗

(一) 本年(二十四年)六月四日午前十時千倍昇水ニテ清拭シ置タル高サ
半「メーテル」直徑三分二「メーテル」硝子鐘内ノ一隅ニ小ナル時表硝子
ニ「バチル」スプロヂギオーズス」牛肉養汁培養少許ヲ盛り他ノ一隅

之ヲ檢スルニ膠質榮養基ニ多數ノ小集落ヲ生シ其大半ハ「バチル」ス
 プロヂギオーズス」ノ集落ナルヲ認メリ爾後四十八時ヲ經過スルヤ該
 集落ハ増大シテ美麗ナル「プロヂギオーズス」固有ノ紅色素ヲ發現セリ
 (二) 同年六月六日午前九時再ヒ同一ノ法ヲ行ヒ同一ノ成績ヲ得タリ
 (三) 同年六月八日午前十時「バチル」スプロヂギオーズス「牛肉羹汁培養
 ニ僅微ノ舍利別ヲ加ヘ時表硝子ニ盛り小使部屋中蠅ノ群集スル所ニ
 放置シ之ヲ紙管セル數匹ノ蠅ヲ捕ヘ前ノ如ク昇水ニテ清拭セル硝
 子鐘内ニ入レ鐘下ニハペトリ皿ニ一ハ單純牛肉羹汁一ハ膠質榮養
 基ヲ流展凝固セシメタルモノ都合二箇ヲ放置シ二十四時ヲ經過セシ
 ニ其牛肉羹汁ハ全液悉ク美麗紅色ヲ呈シ膠質榮養基面ニハ多數ノ「プ
 ロヂギオーズス」集落ヲ生シ翌日ニ至レハ美麗ナル固有ノ紅色ヲ呈シ
 ヲリ此間鐘内ノ蠅ハ全ク健全ニシテ各所ニ飛動シ居レリ
 (四) 同年六月十一日午前十時再ヒ同上ノ法ヲ行ヒ同一ノ成績ヲ得タリ此

蠅ノ傳染病ニ於ケル關係試驗成績

際尙ホ一匹ノ蠅ヲ消毒セル試験管内ニ入レ之ニ消毒セル牛肉羹汁ヲ
 注入シ綿栓ノ上放置セシニ二十四時後ニハ其牛肉羹汁面ニ固有ノ紅
 色ヲ現ハシ全液溷濁シ蠅ハ其内ニ死シ居レリ四十八時ヲ經過セシヤ
 全液悉ク紅色ヲ呈セラ標本ヲ製シ檢セシニ「バチル」スプロヂギオ
 ズス」ノ他ニ大小桿狀菌ノ混在セルヲ見タリ
 右試験ニ據ルトキハ該牛肉羹汁及膠質榮養基ニ「バチル」スプロヂ
 ギオーズス」ヲ傳搬シタルハ彼ノ象鼻形吸嘴ニ附着セルモノ或ハ吸
 嘴内近邊部ニアルモノ、分布散漫シタルニ外ナラサルヘシ然レモ
 蠅ノ肢頭ヨリ傳搬シタルナキヲ保スル能ハス故ニ余ハ之ヲ確メン
 タメ更ニ左ノ試験ヲ施行セリ

(五)

同年六月十三日午前十一時一ノ消毒セル物體硝子板面ニ「バチル」
 スプロヂギオーズス」ニ舍利別ヲ混セルモノ一滴ヲ點シ蠅ノ群集スル

所ニ置キ精細ニ注目セシニ忽チ三匹ノ蠅ハ來リテ之ヲ食サシ少クア
 ンチニ食ハレシモノアリ

子板上ニ於テ消毒セル刀尖ニテ腹部ヲ切割セシニ腸管様物質内ニ紅色物ヲ充盈スルヲ見タルヲ以テ板上培養ヲ行ヒシニ殆ト純粹培養狀ニプロヂギオーズス「集落」ヲ來セリ

(六) 同年六月十七日午前十時同一法ヲ施行シ腹部微紅ヲ呈セル蠅二匹ヲ捕ヘ六肢及二翅ヲ缺切シ千倍昇永水中ニ投シテ之ヲ殺シ兼テ消毒セル刀尖ニテ同一様ニ施行シ同一様ノ成績ヲ收メタリ

(七) 同年六月十八日午前九時前同一法ニテ數匹ノ蠅ノ腹部微紅セルモノヲ捕ヘ消毒シタル試験管内ニ入レ綿栓シテ之ヲ窺フニ蠅ハ試験管ヲ昇降シ居タリシカ暫時ニシテ管壁ニ撒尿セリ初回ノモノハ黑色ナレトモ漸次紅褐色ヲ帯ヒ後ニハ紅色ヲ呈セルモノヲ撒セリ注意シテ此數次ノ撒尿ノ未タ乾燥セサルニ先チテ之ヲ分チ取り各別ニ板上培養セシニ黑色ノモノヨリハ全ク「プロヂギオーズス」集落ヲ檢出スル能ハサリシモ他ノ二尿即紅褐色及紅色尿ヨリハ多數ノ菌集落ヲ確知セ

蠅ノ傳染病ニ於ケル關係試驗成績

リ蓋シ黑色尿ハ此「プロヂギオーズス」ヲ攝取セサリシ以前ノ腸内容物ナルヘシ

右試驗ニ據レハ蠅ハ容易ニ微菌ヲ攝取シ其象鼻様吸嘴ヨリ之ヲ傳搬スルノミナラス尿ヨリモ傳搬シ得ルモノナルヲ確知シ得タリ今ヤ進テ該蠅ハ何時間之ヲ包藏スルカヲ檢セント欲シ左ノ試験ニ移レリ

(八) 同年六月二十日午前九時「バチル」ハス「プロヂギオーズス」牛肉羹汁培養ニ僅微ノ舍利別ヲ加ヘタルモノヲ放置シ充分紙管シテ腹部微紅ヲ呈セル蠅四十餘匹ヲ捕ヘ昇永水ニテ清淨セル前條ノ硝子鐘内ニ放置シ鐘下ニハ稀舍利別ヲ時表硝子ニ盛り以テ其飢餓ヲ拒ギタリ三時ヲ經過スルノ後鳥糞ニテ數匹ヲ捕ヘ消毒セル刀尖ニテ腹部ヲ切割シ扁平培養ヲ行ヒ尙ホ三時ヲ經テ(最初ヨリ六時間目)同一法ヲ行ヒ二十四時ヲ經テ檢スルニ「プロヂギオーズス」集落ヲ發生シ四十八時ヲ經テ

ノ集落ヲ發生スルモ漸次其數ヲ減シ自ノ微菌集落ノ數增加セルヲ認
メタリ而シテ七十二時ヲ經テ蠅腹ヨリ培養セルモノハ最早其「プロヂギ
オ」ズス「集落」ヲ認ムルコト能ハサリシ
此試驗成績ニ據レハ蠅ハ微菌ヲ攝取シ二日間ハ自己ノ體中ニ保持
スルヲ知ルニ足ル然レトモ上記ノ試驗ハ非病原的短桿狀菌即チ「バ
チル」ハ「スプロヂギオ」ズス」ノミニ係ルヲ以テ更ニ二三ノ病原的微
菌試驗ニ及ホセリ

第二 肺結核菌試驗

(九) 同年六月十九日午後一時肺癆患者咯痰ノ夥シク結核菌ヲ含メルモ
ノヲ取り消毒セル蒸溜水ニテ稀釋シ僅微ノ舍利別ヲ混シ小ナル時表
硝子ニ盛り豫メ彼ノ微菌學上應用セル濕室(フオイヒトカムメル)ヲ具
汞水ニテ清拭シタルモノニ容レ置キ活潑ナル蠅四匹ヲ捕ヘ注意シテ
彼ノ兩翅ヲ其根蒂部ニ於テ鋏切シ蠅ノ遠ク飛揚シ去ルヲ拒クダメ該

蠅ノ便糞ヲ於ケル關係ヲ試驗ス

濕室内ニ放チシニ未々兩三時ヲ經サルニ該蠅ハ糞ニ入置キタル咯痰
ヲ舐嘗セリ即チ二匹ヲ捕ヘ六肢ヲ切除シ千倍昇汞水中ニ投入シテ後
消毒セル刀尖ニテ腹部ヲ切割シ結核菌固有著色法ヲ施シテ著明ニ多
數ノ結核菌ヲ檢出セリ他ノ二匹ハ翌日午前八時ニ檢スルニ尙ホ活潑
ニ彷徨セリ即チ同一法ニ依リ檢セシニ之亦著明ニ多數ノ結核菌ヲ包
藏スルヲ認メタリ

(十) 同年六月二十三日午前十時咯痰自然ノ狀況ヲ檢セント欲シ毫モ稀
釋及舍利別注加等ヲ用ヒス四匹ノ蠅ヲ檢セシカ該蠅ハ單ニ濕室内ヲ
彷徨シ咯痰ヲ嘗メサリシモ時ヲ經ルニ從ヒ空腹トナリシニ依ルカ之
ヲ舐ルニ至レリ翌日午前八時四匹ヲ前同上法ニヨリ檢査セシニ悉ク
多數ノ結核菌ヲ含有スルヲ確認セリ

右試驗ニ據ルトキハ蠅ノ結核菌ヲ傳播スルヤ明亮ナリ殊ニ咯痰ノ
臭氣ヲ有スルモノ或ハ稍々腐敗ニ傾ケルモノニ在テハ蠅ノ好シク

ルモノニ於テ檢セント然シ左ノ試驗ニ移レリ

第三 脾脫疽病菌試驗

(十一) 同年六月二十四日午前十一時脾脫疽菌ノ牛肉糞汁培養ヲ時表硝子ニ盛り僅微ノ舍利別ヲ混シ前結核菌試驗法ト同一様ニ斷翅蠅四匹ヲ濕室ニ入レ檢セリ爾後五時間ヲ經テ之ヲ捕ヘ標本ヲ製シ檢セシニ脾脫疽ノ菌ノ長ク連續セルモノ及流離セルモノヲ檢出シ得タリ依テ二頭ノ南京鼠ニ之ヲ皮下種植セシニ三十六時ヲ經過シテ已ニ死亡セリ解屍上ノ所見ハ脾脫疽菌ニ斃レタルモノニ同一ニシテ標本ヲ脾肝血液ヨリ製シ檢スルニ明ニ此菌ノ存在ヲ認メタリ

(十二) 同年六月二十七日午後一時前同一法ヲ施行シ四時ヲ經テ檢セシニ標本上確ニ此菌ヲ認メタリ這般ハ動物試驗ヲ舉行セス之レ前ニ檢シタル成績ニヨリ最早之ヲ爲スノ必要ナク加之標本上已ニ之ヲ認メ得タレハナリ

蠅ノ傳染ニ於ケル關係實驗成績

以上列記セル諸般ノ成績ニ據ルトキハ蠅ノ傳染病毒即チ黴菌ヲ傳搬

スルコトハ事實明亮ノコトナリトス彼ノ虎列刺流行時ニ當リ往々其傳搬行路ノ不明ナルカ如キ腸窒扶私流行時ニ際シ其感染原因ノ不詳ナルカ如キハ蠅ノ媒介ト爲リシモノナラサルヲ保セス蓋シ虎列刺菌ノ如キハ乾燥狀況ニ於テ久シク其生活ヲ保持シ能ハサルモ蠅腹中ニ攝取セラルハ片ハ蠅ハ固有ノ体温ナク空氣ノ溫度ト同一ナルヲ以テ其體液中ニ包攝セラレ恰モ一ノ榮養液中ニ保護セラルト一般ナレバナリ又彼ノ結核菌、脾脫疽菌ノ如キ子胞(スポーレン)ヲ有スルモノニ於テハ完全ニ之ヲ糞屎中ニ混シテ吾人カ食器上ニ撒布スルヲ得レハナリ彼ノ往昔天然痘ハ蠅ヨリ傳搬スルコトアリト云シハ決シテ偶然ニアラサルナリ之ヲ想ヒ彼ヲ思ヘハ豈又危殆ノ至ナラスヤ今ヤ人々是等ノ關係ヲ知悉シ之カ豫防法ヲ講究スルハ衛生上必要ノ件ナルヘキハ論ヲ待タサルハシ而シテ之カ豫防法ノ如キハ可及的蠅ヲ驅除シ

人乳検査

本検査ハ東京衛生試験所ニ於テ技師古川榮及技手丸山長四郎主任トナリ施行シタルモノナリ

次ニ掲クル百餘種ノ検査成績ニ由レハ人乳ハ弱亞爾加里性ノ不澄明液ニシテ時トシテハ微ニ黄色ヲ帯ヒ(然レモ肌色ノ濃淡ニ關セス)味甘ク比重ハ攝氏十五度ニ於テ最低一、〇二五三最高一、〇三六ノ間ニ居リ其百立方仙迷中ニ含有スル主要成分ノ量ヲ示セハ平均左ノ如シ

水分	八七、七二七	含窒素物	一、五三〇	脂肪	二、九七四	糖	七、六一三	灰	〇、一五六	養分比例	九、八三
								脂肪	一、九四四		

〔備考〕養分比例トハ脂肪ニ二、五ヲ乘シ乳糖ヲ加ヘ含窒素物ニテ除シタル商ナリ

検査方法ヲ單簡ニ記述スレハ左ノ如シ

一、反應

搾取後直ニ「ロゾール」酸ヲ以テ檢セリ弱亞爾加里性ナルヲ常トス

二、比重

「ピクノメートル」ヲ用ヒ攝氏十五度ニ於テ之ヲ檢セリ百種中最低一、〇二五三最高一、〇三六〇トス維納ノモンチーハ二百九十九

三、含窒素物

亞爾爾保爾ヲ加ヘテ析出セシメ熾灼シ灰分ヲ減シ乾酪質及ヒ蛋白質ノ總量トシテ檢ス百種中最低〇、七六四最高二、七六〇

四、脂肪

マルシアンソノ乳酪計ヲ以テ檢ス故ニ直接浸出法ト多少差アルヘシ如何トナレハマルシアンソノ乳酪計法ハ簡便ニシテ迅速ニ牛乳ノ脂肪ヲ定量シ得ヘシト雖モ時トシテハ明確ノ成績ヲ得ル能ハサルコトアリ即チ脂肪二、九%以下ナル時ハ少量ヲ示シ又三、五%以上ナル時ハ却テ多量ヲ示ス其他稀ニハ毫モ脂肪層ヲ析出セス或ハ之ヲ析出スルモ實際含有量ニ分ノニ過キサルコトアリ

平均

一、五三〇%トス

四、脂肪

マルシアンソノ乳酪計ヲ以テ檢ス故ニ直接浸出法ト多少差アルヘシ如何トナレハマルシアンソノ乳酪計法ハ簡便ニシテ迅速ニ牛乳ノ脂肪ヲ定量シ得ヘシト雖モ時トシテハ明確ノ成績ヲ得ル能ハサルコトアリ即チ脂肪二、九%以下ナル時ハ少量ヲ示シ又三、五%以上ナル時ハ却テ多量ヲ示ス其他稀ニハ毫モ脂肪層ヲ析出セス或ハ之ヲ析出スルモ實際含有量ニ分ノニ過キサルコトアリ

上ナル時

ハ却テ多量ヲ示ス其他稀ニハ毫モ脂肪層ヲ析出セス或ハ之ヲ析出スルモ實際含有量ニ分ノニ過キサルコトアリ

之ヲ析出スルモ

實際含有量ニ分ノニ過キサルコトアリ

之ヲ析出スルモ

實際含有量ニ分ノニ過キサルコトアリ

百種中最低一、三三九最高八、五一〇平均二、九七四%トスモンチーハ
 二、五乃至五%ヲ最モ多トセリ又含窒素物十ニ對スル脂肪ノ量ハ十
 九、四餘ナリ

五、乳糖 フエリングノ銅液ヲ以テ定量セリ百種中最低六、七六〇最高
 八、四五〇平均七、六一三%トス

脂肪ニ二、五ヲ乘シタル積ニ乳糖ヲ加ヘ含窒素物ニテ除シタル商ハ
 九、八三ナリトス

六、灰分 灰化シテ之ヲ檢ス百種中最低〇、〇六〇最高〇、二九五平均〇、
 一五六%ナリ

結尾ノ附表ニ詳ナルカ如ク人乳採集ノ際供給者ノ年齡、分娩回數、分娩
 後經過日數等ヲ調査セシカバニゴンラト、モンチー等カ歐洲ノ婦人
 乳ニ就テ証明セル如ク特別ノ關係ナキモノトス例ヘハ分娩後ノ經過
 日數ニ就テ區別スレハ左ノ如シ

人乳検査

百三十九

經過日數	五十日以下		百日以下		百五十日以下		二百日以下	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
回數	1	1	1	1	1	1	1	1
比重	1.0310	1.0310	1.0352	1.0300	1.0355	1.0351	1.0351	1.0351
含窒素物	1.150	1.150	1.170	1.170	1.170	1.170	1.170	1.170
脂肪	1.440	1.440	1.441	1.441	1.441	1.441	1.441	1.441
乳糖	6.760	6.760	7.308	7.308	7.308	7.308	7.308	7.308
灰分	0.060	0.060	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090
脂肪	1.252	1.252	1.252	1.252	1.252	1.252	1.252	1.252
含窒素物	1.659	1.659	1.659	1.659	1.659	1.659	1.659	1.659
比發	4.82	4.82	8.07	8.07	8.07	8.07	8.07	8.07
例分								

百四十一

項目	三			二			一			回分 數燒
	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	
回數	一五			一六			二六			
比重	一、〇三三	一、〇三九	一、〇三八	一、〇三四	一、〇三六	一、〇三四	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	
含窒素物	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	
脂	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	
肪	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	
乳	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	
糖	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	
灰	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	
分	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	
脂肪	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	
含窒素物	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	
養分比例	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	

人乳百種中供給者ノ分鏡回數ノ明瞭ナルモノ七十一アリ其細別ハ左
ノ如シ

人乳検査

項目	一年以上三年			計			三百五十日以下			三百日以下			一百五十日以下		
	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低
回數	二五			一〇〇			一一			一三			五		
比重	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三
含窒素物	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇	一、二二〇
脂	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五	二、一五五
肪	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八	三、二二八
乳	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇
糖	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二	七、六四二
灰	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五	〇、〇八五
分	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二	〇、一六二
脂肪	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五	二、〇〇五
含窒素物	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五	一、九七五
養分比例	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五	九七五

分挽時ヨリ検査ノ爲メ採乳スルニ至ルノ日數及其乳ノ性質	六		五							
	平均	最高	最低	平均	最高	最低				
九	三、五	六	三	一、〇三三九	一、〇三二七	二、一五五	七、五二一	〇、一四二	一、六五二	六、七
九	三、三	〇	三	一、〇三三五	一、五〇五	二、二五七	七、五二一	〇、一七五	二、二七三	一、二二三
八	二、一	一	二	一、〇三二九	一、二七六	二、一八九	七、五二一	〇、〇六〇	二、二七三	一、〇六七
七	三、二	一	二	一、〇三四二	一、九八〇	二、二六五	七、二一六	〇、三六五	二、二二五	
年	三、三	三、六	三、五	一、〇三六〇	二、四二〇	一、七四七	七、三〇八	〇、二二〇	〇、二二〇	
齡	三、五	六	三、五	一、〇三四三	二、二八三	二、七六七	七、五二一	〇、三〇五	〇、三〇五	
分挽回数										
比重										
含窒素物										
脂肪										
乳糖										
灰分										

分挽時ヨリ検査ノ爲メ採乳スルニ至ルノ日數及其乳ノ性質

入乳検査

百四十三

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	
二五	二六	二八	二八	三〇	三三	三七	三七	三九	四三	四三	四五	四五	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三
四〇	二五	二六	三四	一七	四〇	三六	二四	三五	二二	二八	二七	二四	二七	二八	二四	二四	二四	二四	二四	二四
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四	三	三	三	四	三	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
一、〇三五〇	一、〇三三〇	一、〇三四九	一、〇三四五	一、〇三三三	一、〇三二〇	一、〇三一〇	一、〇三二〇	一、〇三三〇	一、〇三三五	一、〇三三〇	一、〇三三五	一、〇三三五	一、〇三三〇	一、〇三三〇	一、〇三三〇	一、〇三三〇	一、〇三三〇	一、〇三三〇	一、〇三三〇	一、〇三三〇
二、二四五	一、七一〇	一、五六五	一、六二〇	一、二一五	一、二二〇	二、四八〇	一、二二〇	一、九九〇	一、五八五	二、四八〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇	一、四四〇
二、一九七一	二、二六七	二、六六五	二、一五五	二、九七一	三、〇七三	三、五八三	三、〇七三	三、一七五	三、一七五	三、七八七	二、三五九	二、三五九	二、三五九	二、三五九	二、三五九	二、三五九	二、三五九	二、三五九	二、三五九	二、三五九
六、七六〇	七、七二四	七、七二四	七、九五三	七、一一六	六、七六〇	七、七一四	七、七一四	七、九五三	七、三〇八	七、五二一	七、三〇八	七、三〇八	七、三〇八	七、三〇八	七、三〇八	七、三〇八	七、三〇八	七、三〇八	七、三〇八	七、三〇八
〇、二九五	〇、二二五	〇、二〇〇	〇、二〇〇	〇、一七〇	〇、二二五	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇	〇、二二〇

百四十四

(五十日以下)

七五	七五	七一	七〇	六六	六六	六三	六一	五九	五八	五四	五三
二四	二四	二三	二二	二五	二六	三五	二〇	三八	二二	二三	三〇
一〇	二	五	〇	〇	〇	〇	九	一一	〇	〇	〇
一	一	三	一	三	一	一	一	六	二	一	三
一,〇三二六	一,〇三一八	一,〇二八七	一,〇三三三	一,〇三三五	一,〇三一九	一,〇三三三	一,〇三二五	一,〇二九八	一,〇三八二	一,〇三八一	一,〇三四一
一,一八〇	一,一五三	一,一六八七	一,一六七〇	一,一五四五	一,一七五〇	一,一八二五	一,一七六	二,三四五	一,一三五	一,一五〇〇	一,一七六五
二,四六一	二,四六一	六,五一八	二,五六三	二,〇五三	一,七四七	四,〇九三	四,一九五	四,五〇一	三,五八三	二,一五五	二,一七〇二
七,九五三	七,九五三	七,五一	七,三〇八	七,五一	七,五二	七,三〇八	七,五一	七,三〇八	七,九五三	七,七四	七,四八四
〇,一八〇	〇,一六五	〇,〇九〇	〇,一六〇	〇,一七五	〇,一一〇	〇,二二五	〇,一二〇	〇,一五五	〇,一七五	〇,一八〇	〇,一八三

人乳検査

百四十五

(百目以下)

七五	七八	八一	八六	九〇	九一	九二	九四	一〇〇	一〇〇	一〇七	一一一
二三	二九	二〇	三六	三三	三一	二四	二四	二七	二三	二〇	二三
〇	〇	三	〇	〇	〇	七	〇	五	〇	〇	〇
二	三	一	三	一	一	一	一	三	一	一	一
一,〇三二二	一,〇三〇八	一,〇三三三	一,〇三三五	一,〇三二五	一,〇三二二	一,〇三三六	一,〇三三一	一,〇三三〇	一,〇三三〇	一,〇三三三	一,〇三三三
一,〇八五	一,一八〇	一,一四〇九	〇,八二〇	一,四〇〇	一,三四五	〇,七六四	一,〇八〇	二,〇六〇	一,四一〇	一,四三八	一,五五五
三,三七九	四,二九七	二,五三〇	二,〇五三	二,四六一	一,四四一	三,一七五	一,五四三	三,七八七	三,八八九	三,〇四四	三,〇七三
七,九五三	七,五一	七,五二	七,九五三	七,七一四	七,五一	八,四五〇	七,九五三	七,九五三	七,三〇八	七,六九六	七,七一四
〇,一三〇	〇,一九〇	〇,一四五	〇,一五〇	〇,一八五	〇,一五〇	〇,一一五	〇,一三〇	〇,一五〇	〇,一四〇	〇,一五三	〇,一七〇

百四十六

(百五十日以下)

一四五	二七	〇	四	一、〇三二〇	二、〇九〇	四、九五六	八、一九四	〇、一六五
一五二	二六	〇	二	一、〇三三三	一、五二二	二、九八七	七、五九六	〇、一五二
一五四	二二	一	一	一、〇三二〇	一、四七〇	二、七六七	七、五一	〇、一四五
一六四	三一	五	一	一、〇三三五	一、一四八	三、二七七	七、五一	〇、一二〇
一六六	二六	〇	一	一、〇三五五	一、五一八	二、一五五	七、九五三	〇、一五五
一八〇	二六	〇	一	一、〇三二五	一、三三八	三、六五八	七、五二	〇、一七〇
一八二	二三	三	一	一、〇三二六	一、三三三	一、九五	七、五一	〇、二二〇
一八二	二三	三	一	一、〇三二六	一、三三三	一、九五	七、五一	〇、二二〇
一八六	三五	〇	一	一、〇三一九	一、三〇〇	三、七八七	七、三〇八	〇、二二五
一八七	二八	〇	三	一、〇三三六	一、一八三	一、九五	七、五一	〇、一五五
一八九	三三	〇	一	一、〇三三七	一、六一〇	三、九九一	七、三〇八	〇、二〇五
一九四	二四	〇	二	一、〇三三八	一、二三五	三、五八三	七、九五三	〇、一七五
一九四	二四	〇	二	一、〇三九七	一、八六〇	一、六六六	六、九三三	〇、一六五

百四十八

人乳検査

一四四	二二	九	一	一、〇三〇四	一、一九五	三、〇七三	七、五一	〇、一九〇
一四二	二三	九	四	一、〇三一九	一、一九二	二、五六三	七、五一	〇、一五五
一三七	三七	〇	二	一、〇三四一	一、一九八	一、五四三	七、五一	〇、二二〇
一三六	三三	〇	三	一、〇三〇五	二、三四五	三、九九一	七、五一	〇、一五五
一二六	一九	〇	一	一、〇三三一	一、五二〇	一、七四七	七、五一	〇、一六〇
一二六	二三	三	一	一、〇三一六	一、一七五	二、九七一	七、五一	〇、一四〇
一二四	二二	〇	一	一、〇三三三	一、四三五	二、五六三	七、五一	〇、一九五
一二三	二三	〇	一	一、〇三一九	一、八六〇	三、七八七	七、五一	〇、一五〇
一一九	二九	五	三	一、〇三二五	一、一七〇	二、七六七	七、五一	〇、二一五
一一八	一九	六	一	一、〇三〇〇	一、二二八	三、六八五	七、五一	〇、〇八〇
一一七	三三	一〇	一	一、〇三五五	二、二〇〇	一、三三九	七、五一	〇、一三五
一一五	三四	〇	一	一、〇三四五	一、四七〇	一、七四七	七、九五三	〇、二一〇

百四十七

二百五十日以下

二二四	二二八	二二三	二二八	二四七	二五四	二五四	二六六	二六八	二六八	二七二	二七二
三三	三三	二八	三一	二五	三三	三〇	二六	二五	二六	三三	三五
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	一	一	一	四	一	二	一	四	二	二	五
一,〇三二七	一,〇三二二	一,〇二九二	一,〇三二五	一,〇二五三	一,〇三〇六	一,〇三二七	一,〇三三〇	一,〇三二二	一,〇三二八	一,〇三三〇	一,〇三二九
一,〇二三	一,七九〇	一,九一五	一,四七五	一,一七〇	〇,八九五	一,五〇五	一,六七五	二,三六〇	二,二四〇	二,二四五	一,〇七五
二,五六三	三,六八五	五,一二九	一,九五二	八,五一〇	二,四六一	二,八六九	三,五八三	二,二五七	三,五九一	三,二五七	二,二五七
六,五二一	七,五一二	七,五一二	七,五一二	七,三〇八	七,九五三	七,七二四	七,九五三	七,九五三	七,五二二	七,五二二	七,五二二
〇,二二〇	〇,一五〇	〇,一二五	〇,一三五	〇,一四〇	〇,一三〇	〇,一二五	〇,一七〇	〇,〇八五	〇,二二〇	〇,二二〇	〇,一五五

二百五十日以下

五種

人乳検査

百四十九

二百日以下

二八四	二八六	二八六	九〇	二九二	二九六	三〇一	三〇二	三〇八	三一六	三二〇	三二二
三五	二四	三〇	三八	三八	三八	二五	三三	三三	二五	二五	二五
〇	八	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	二	三	四	四	四	三	一	一	一	一	五
一,〇二六五	一,〇三三一	一,〇三二二	一,〇三三八	一,〇三二六	一,〇三三三	一,〇三三一	一,〇三二二	一,〇三一八	一,〇三二二	一,〇三二二	一,〇三二二
一,四七〇	二,一一五	一,五五五	一,三〇〇	一,五八五	一,三五五	一,五〇九	一,九〇〇	一,六八〇	一,一六五	三,一一五	一,一〇〇
五,八三七	二,三五九	二,五六三	一,七四七	二,一五五	三,四三〇	三,〇四六	三,五八三	三,四八一	三,三五九	四,〇三五	二,一五五
七,五一二	七,九五三	七,五一二	七,九五三	七,九五三	七,七一四	七,七四六	七,九五三	七,七一四	七,五一二	七,三〇八	七,五一二
〇,〇九〇	〇,一六五	〇,一三〇	〇,〇八〇	〇,一八〇	〇,一二五	〇,一三六	〇,一八〇	〇,一六〇	〇,一七五	〇,一六五	〇,一四〇

百五十

(三百五十日以下)

四五三	四三三	四二二	四〇九	三九九	三九八	三七七	三三〇	三四六	三三九
二〇	二〇	二七	二二	四三	三三	二九	三五	三五	二二
九	八	〇	一一	〇	二	〇	〇	〇	〇
一	二	二	四	三	五	一	二	六	一
一〇三三三	一〇三三五	一〇三三四	一〇三三〇	一〇三三四	一〇三三六	一〇三三五	一〇三三五	一〇三三五	一〇三三三
一、二七〇	一、三三五	一、三一〇	一、〇三八	一、二八〇	一、三五五	〇、八六〇	平均 一、五二五	一、二二五	二、二八五
三、四八一	二、九七一	三、七八七	三、五八三	三、八八九	二、四六一	一、五四三	平均 二、九一九	三、七八七	三、〇七三
七、三〇八	七、五一二	七、九五三	七、五一二	七、五一二	七、九五三	七、九五三	平均 七、六六九	七、五一二	七、六五三
〇、一九〇	〇、一七〇	〇、一〇五	〇、一三〇	〇、一一〇	〇、一四五	〇、一五五	平均 〇、一四九	〇、一七五	〇、一四五

全計

人乳検査

四五六	四七二	四八三	四八三	五〇六	五一三	五一五	五五九	五七四	五七五	六〇五	六五一	八二四
二四	二四	三五	二四	二八	三一	三一	四〇	二三	二四	二九	二九	四三
〇	一	〇	〇	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三	二	三	一	一	三	一	五	一	三	三	三	四
一〇三三三	一〇三三〇	一〇三三一	一〇三三一	一〇三一七	一〇三二二	一〇三三二	一〇三三二	一〇三二〇	一〇三三三	一〇三三三	一〇三三九	一〇三二二
一、三六五	一、六三五	一、二八〇	一、四一〇	一、一九五	一、三八五	一、七三〇	一、六五五	〇、九七〇	一、六六五	一、一七五	一、四六五	一、〇三三
二、八六九	三、九九一	二、七四七	三、六八五	三、三七九	二、四六一	三、一七五	六、〇二〇	二、一五五	六、七六七	三、五八三	二、三五九	二、九七一
七、七二四	七、九五三	七、九五三	七、九五三	七、七二四	七、五二一	七、五二一	七、九五三	七、五二一	七、七二六	七、五二一	七、九五三	七、五一二
〇、一四〇	〇、一四五	〇、一四五	〇、一四五	〇、一〇五	〇、一四五	〇、一四五	〇、一四五	〇、一四五	〇、一五	〇、一五	〇、一五	〇、一五

一年以上三年	一〇五三	二七	四	一〇二八三	一七五〇	七〇一六	七	〇
一六	二五	〇	一	一〇二九一	一六一五	四、二九七	七、五一	〇、一六五
二五種	二五	〇	平均	一、三五〇	平均	三、五五七	平均	〇、一三五

分娩回数及分娩後經過日數
第一回分娩 二十六人

年齡	經過日數	比重	重量	含窒素物	脂	肪	乳	糖	灰
二、〇月	七〇	—	—	一、六七〇	二、五六三	七、三〇八	〇、一六〇	〇、一六〇	〇、一六〇
二、二、二、四、月	七五	一、〇二八	—	一、二五三	二、四六一	七、九五三	〇、一六五	〇、一六五	
二、〇、三	八一	一、〇三四三	—	一、四〇九	二、五三〇	七、五二一	〇、一四五	〇、一四五	
二、三、〇	九〇	一、〇三二五	—	一、四〇〇	二、四六一	七、七二四	〇、一八五	〇、一八五	
二、四、七	九三	一、〇三三六	—	〇、七六四	三、一七五	八、四五〇	〇、一一五	〇、一一五	
(百目以下)	五種	—	平均	一、二九九	平均	二、四三八	平均	七、七八七	平均

人乳検査

年齡	經過日數	比重	重量	含窒素物	脂	肪	乳	糖	灰
二、〇、三	一〇七	一、〇三四四	—	一、二三五	一、三三九	七、七一四	〇、一七〇	〇、一七〇	〇、一七〇
二、二、三	一一二	一、〇三〇八	—	一、四三〇	三、三七九	七、五一	〇、一七五	〇、一七五	
二、五、〇	一一三	一、〇三一八	—	一、四五〇	三、五八三	七、五一	〇、一七〇	〇、一七〇	
三、四、〇	一二四	—	—	一、六七〇	五、六六〇	七、五一	〇、一八〇	〇、一八〇	
一、九、〇	一二六	一、〇三三一	—	一、五二〇	一、七四七	七、五一	〇、一六〇	〇、一六〇	
二、一、〇	一二七	一、〇三三三	—	一、四三五	二、五六三	七、五一	〇、一九五	〇、一九五	
二、一、九	一四四	一、〇三〇四	—	一、一九五	三、〇七三	七、五一	一、一九〇	一、一九〇	
(百五十日以下)	七種	—	平均	一、四二九	平均	三、〇四九	平均	七、五六九	平均
二、一、二	一五四	一、〇三二〇	—	一、一四八	三、二七七	七、五一	〇、一二〇	〇、一二〇	
二、六、〇	一八〇	一、〇三一五	—	一、三五八	三、六八五	七、五一	〇、一二〇	〇、一二〇	
二、三、三	一八二	一、〇三二六	—	一、三一三	一、九五二	七、五一	〇、一二五	〇、一二五	
二、三、〇	一八二	一、〇三一九	—	一、三〇〇	三、七八七	七、三〇八	〇、一二五	〇、一二五	
(二百目以下)	四種	—	平均	一、二七九	平均	三、一七五	平均	七、四六〇	平均

二二、 一	七	一、〇三四二	二、九八〇	一、六六五	七、二一六	〇、二六五
二二、 〇	六種	三三九	平均 一、六六二	平均 二、六六二	平均 七、六九二	平均 〇、二四九
二二、 〇	二種	三二六	一、四七〇	二、二五七	七、七二四	〇、二二〇
二二、 〇	二種	三三一	一、二六〇	二、七六七	七、九五三	〇、一三〇
二二、 〇	二種	三一六	二、二一五	四、〇三五	七、三〇八	〇、一六五
二二、 〇	二種	三〇八	一、一六五	二、三五九	七、五一一	〇、一七五
二二、 〇	二種	三〇二	一、六八〇	三、四八一	七、七二四	〇、一六〇
二二、 〇	二種	二六六	平均 一、四九二	平均 三、四八一	平均 七、六二二	平均 〇、二二七
二二、 〇	二種	二五四	一、四八〇	二、八六九	七、五一一	〇、一三〇
二二、 〇	二種	二二四	一、五〇五	四、〇九三	七、五一一	〇、一三〇
(三百五十日以下)	二種	二二〇	平均 一、六三二	二、八一八	七、五一一	〇、一三〇

人乳檢査

第二回分娩

十六人

百五十五

二二、 一	八	一、〇三五五	一、八三〇	一、七四七	七、五一一	〇、二二五
二二、 〇	三七	一、〇三三五	一、五六五	三、一七五	七、九五三	〇、一八五
二二、 〇	四五	一、〇三二五	一、一七五	二、三三五七	八、一九九	〇、二二〇
二二、 〇	五八	一、〇二九八	平均 一、六三七	平均 二、四八六	平均 七、六九五	平均 〇、一九六
二二、 〇	七七	一、〇三二二	一、〇八五	四、五〇一	七、三〇八	〇、一五五
(百目以下)	二種	一、〇三四一	平均 一、七一一	平均 三、三九九	平均 七、九五三	平均 〇、一三〇
二二、 〇	一三七	一、〇三三一	一、一九八	平均 三、九四〇	平均 七、六三〇	平均 〇、一四二
二二、 〇	一五二	一、〇三三三	一、四七〇	二、七六七	七、五一一	〇、二二〇
二二、 〇	一九四	一、〇二九七	〇、八六〇	一、六四六	七、五一一	〇、一四五
(二百目以下)	三種	一、〇三三八	平均 一、一六五	平均 二、二〇六	平均 六、九三三	平均 〇、一六五
二二、 〇	二〇〇	一、〇三二七	一、八八〇	一、三三九	七、七二四	〇、一六〇
二二、 〇	二一四	一、〇三二七	一、〇三三	二、五六三	七、五一一	〇、一六〇

百五十六

三〇、 一	二七二	一、〇三三〇	二、二四五	三、九九一	七、五一一	〇、二一〇
三五、 〇	二八四	一、〇二六五	一、四七〇	五、八三七	七、五一一	〇、〇九〇
(三百日以下)	二八六	一、〇三三一	平均 一、二一五	二、三五九	七、九五三	〇、一六五
	四種	一、〇三三五	平均 一、四三一	平均 三、六六二	平均 七、七三三	平均 〇、一四九
	二六	一、〇三九九	一、五六五	二、六六五	七、七一四	〇、二〇〇
二六、 〇	二八	一、〇三四九	一、六二〇	二、一五五	七、九五三	〇、一七〇
二八、 〇	四三	一、〇三三四	二、七六〇	二、三七九	七、七一四	〇、一八〇
(五十日以下)	四九	一、〇三三四	一、一五〇	二、二五七	七、五一一	〇、一七五
	四種	一、〇三三一	平均 一、七七四	平均 二、三六四	平均 七、七二三	平均 〇、一八一
三〇、 〇	五三	一、〇三四一	一、五〇〇	二、一五五	七、七一一	〇、一八〇
二五、 〇	六六	一、〇三三三	一、二二五	二、一五五	七、九五三	〇、一七五

人乳検査

百五十七

第三回分娩

十五人

二二、 五	七一	一、〇二八七	一、六八七	六、五一八	七、五一一	〇、〇九〇
二九、 〇	七八	一、〇三〇八	一、八八〇	四、二九七	七、五一一	〇、一九〇
三六、 〇	八六	一、〇三二五	〇、八二〇	二、〇五三	七、九五三	〇、一五〇
二七、 〇	一〇〇	一、〇三〇四	一、四一〇	三、八八九	七、三〇八	〇、一四〇
(百日以下)	六種	一、〇三一五	平均 一、四一八	平均 三、五一一	平均 七、六五八	平均 〇、一五四
二九、 五	一一九	一、〇三一五	一、二七〇	二、七六七	七、五一一	〇、一五
三三、 〇	一三六	一、〇三〇五	二、三四五	三、九九一	七、五一一	〇、一五五
(百五十日以下)	二種	一、〇三〇五	平均 一、七五七	平均 三、三七九	平均 七、五一一	平均 〇、一三五
二八、 〇	一八七	一、〇三三七	一、六一〇	三、九九一	七、三〇八	〇、二〇五
二四、 八	二八六	一、〇三一二	一、五五五	二、五六三	七、五一一	〇、一三〇
二五、 六	三〇一	一、〇三二一	一、九〇〇	三、五八三	七、九五三	〇、一八〇

百五十八

第四回分娩

八人

四〇、七
二、二四五
二、九七一
六、七六〇
〇、二一〇

第五回分焼		第六回分焼	
三、一、五	一六四	一、〇三三	一、五一八
三、五、〇	二七二	一、〇三二	一、〇七五
二、五、〇	三二〇	一、〇三七	一、一〇〇
三、八、〇	二九六	一、〇三三	一、三五五
三、八、〇	二九二	一、〇三一	一、五八五
二、五、九	二六八	一、〇三一	二、三六〇
二、五、〇	二四七	一、〇三三	一、一七〇
二、七、〇	二四五	一、〇三一	一、〇九〇
二、三、九	二二〇	一、〇三一	一、一七〇
二、三、〇	二〇〇	一、〇三一	一、一七〇
二、二、〇	一八〇	一、〇三一	一、一七〇
二、一、〇	一六〇	一、〇三一	一、一七〇
二、〇、〇	一四〇	一、〇三一	一、一七〇
一、九、〇	一二〇	一、〇三一	一、一七〇
一、八、〇	一〇〇	一、〇三一	一、一七〇
一、七、〇	八〇	一、〇三一	一、一七〇
一、六、〇	六〇	一、〇三一	一、一七〇
一、五、〇	四〇	一、〇三一	一、一七〇
一、四、〇	二〇	一、〇三一	一、一七〇
一、三、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
一、二、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
一、一、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
一、〇、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、九、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、八、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、七、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、六、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、五、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、四、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、三、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、二、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、一、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇
〇、〇、〇	〇	一、〇三一	一、一七〇

人乳検査

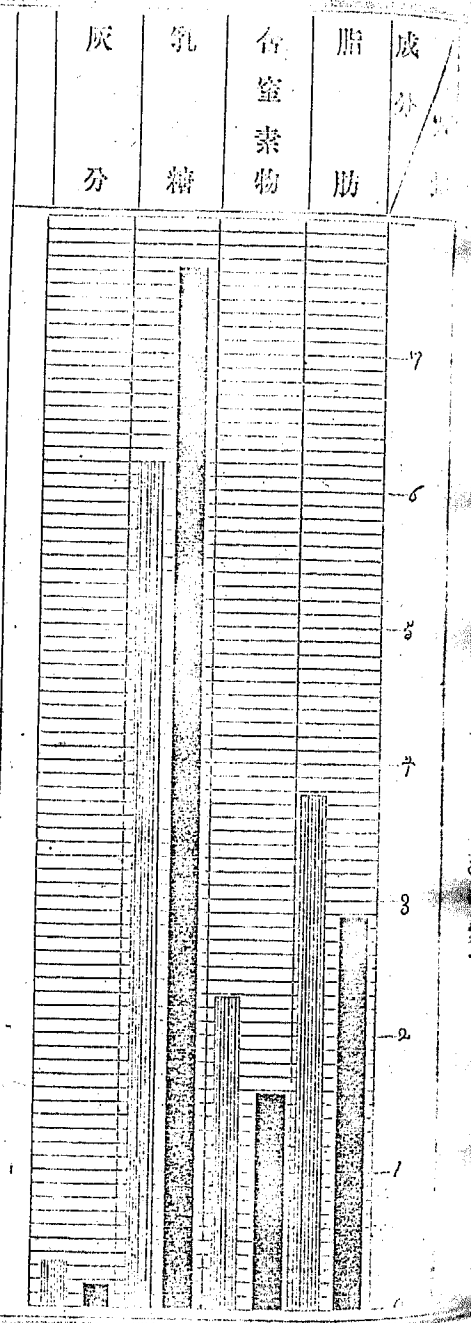
百五十九

三、八、二	五九	一、〇三一	一、一七六	四、一九五	七、五二一	〇、二二〇
三、五、三	三四六	一、〇三一	一、二二〇	二、五六三	七、五二一	〇、一七五

百六十

以上分焼後一年未満ノ本邦人乳百種ノ試験成績ヲキヨ一ニツヒ氏カ
歐洲人乳二百餘種ニ施シタルノ試験成績ト比較スレバ左ノ如シ

高低比較	最高		最低		平均
	本邦人乳	歐洲人乳	本邦人乳	歐洲人乳	
比重	一、〇二五	一、〇二五	一、〇二五	一、〇二五	一、〇二五
水分	八二、八七二	八二、八七二	八二、八七二	八二、八七二	八二、八七二
含窒素物	〇、七六四	〇、七六四	〇、七六四	〇、七六四	〇、七六四
脂肪	一、三三九	一、三三九	一、三三九	一、三三九	一、三三九
乳糖	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇	六、七六〇
灰分	〇、〇六〇	〇、〇六〇	〇、〇六〇	〇、〇六〇	〇、〇六〇
脂肪	一、七五	一、七五	一、七五	一、七五	一、七五
養分比例	七、五五	七、五五	七、五五	七、五五	七、五五



右ノ比較ニ據レバ本邦人乳ハ脂肪含窒素物及灰分ハ少ク乳糖ハ反テ歐洲人乳ニ超過スル七一%餘ニ居リ又歐洲人乳ノ灰分ハ殆ンド二倍多シトス

人乳検査

群馬縣西群馬郡大類村疾病調査

本調査書ハ明治二十四年九月下旬群馬縣西群馬郡大類村村民多衆カ罹リタル一種ノ疾病ニ就キ出張シタル東京衛生試験所長中濱東一郎ノ復命シタルモノナリ

但シ化學的試験ハ同試験所技手山本正巳ノ擔任セシ所ナリ

第一項

本年(二十四年)九月二十三日群馬縣西群馬郡大類村ニ於テ村役場新築ノ竣功ヲ祝スルタメ同役場ニ於テ祝宴ヲ開ケリ當日此宴席ニ招待セラレタル者百二十四人(同役場ニ於テ開ク所ニ由ル)ニシテ此日午後一時頃ヨリ宴會ヲ開キ同四時頃散會セリ

宴席ニ臨ミタル者ハ百二十四人ニ過キサレトモ當日宴席上ニ於テ分配シタル料理ヲ自宅ニ携歸シテ家族知己等ニ分與シタル者頗ル多ク其數四百二十二人アリ故ニ之ヲ喫シタル者ノ總數ハ五百四十六人ナリ

第二項 發病者ノ類別

會場へ出席シタル者ト否トニ由テ發病者死者ヲ區別スレハ左表ノ如シ

會場出席者

會場へ出席セサルモ喫食シタル者

計

大類村ハ東西凡一里二十二町南北凡二十五町ニシテ上大類、宿大類、中大類、南大類、下大類及柴崎ノ六字ニ分別ス而シテ其戶數、人口及死者患者ノ「字」別ハ左ノ如シ(戶數人口ハ明治二十三年十二月ノ調査ニ係ル)

字	名	戶數	人口	喫食者	發病者	死者	健康	喫食タル者ノ中發病者ノ百分率
上	大類	七三	四五七	六九	五四	一	一五	七八、三%
宿	大類	五八	三六〇	八二	六〇	一	二二	七三、二%

群馬縣西群馬郡大類村疾病調査

中	南	下	柴	合
大類	大類	大類	崎	計
四二	八〇	七一	七六	四〇〇
三九一	四九〇	四八一	五六八	二、六四七
三三三	二二五	八〇	五七	五四六
二二	一四七	五四	四五	三八一
一	一	三	一	六
一一	七八	二六	一一	一六五
六三、六%	六五、四%	六七、五%	七八、八%	六九、八%

百六十四

發病者ヲ男女長幼(凡十七年以下ヲ幼者トス)ニ由テ區別スレハ

長男 一五二(内死六) 計二七六

長女 一二五

幼男 五七 計一〇五

幼女 四八 合計 三八一

大類村ニ於テ宴會ヲ催フシタル當日小學校生徒數十人來會シタリシカ糕ヲ分與スルニ止メ他ノ食品ヲ給セサリシハ饒幸ナリト云フヘシ若シ他ノ宴會人ニ等シク餅若クハ口取ヲ食センカ羸弱ナル兒童ノ身體ハ必スヤ此劇毒ノ犯ス所トナリ發病スル者太タ多ク隨テ死亡者モ多カリシナルヘシ

タル七十八人中男女、長幼ノ別詳カナヲサル者十四人ヲ除キ六十四人ニ就キ之ヲ區別スレハ左ノ如シ

長男	一七	計三四	幼十五歲	男	一六	計三〇	合計六四
長女	一七		以下	女	一四		

第三項 飲食品

九月二十三日ノ祝宴ニ出シタル飲食品ハ酒ノ他、握鮓及口取肴二種ニシテ長凡二五、五仙迷幅一五、仙迷深三、三仙迷ヲ有スル盒ニ入レ二箇ヲ一人分トシ一箇ニハ握鮓一箇ニハ口取肴ヲ納メリ其品種ハ左ノ如シ

- | | | | |
|---------------------------------------|----|-------------------------------|----|
| 海苔卷 | 四箇 | 蒲鉾 <small>(醬油ニテ煮タルモノ)</small> | 二片 |
| ナホロ <small>(蝦ニテ製シ微シニフロクシニテ著色)</small> | 四箇 | 蕪根 <small>(煮)</small> | 四片 |
| 章魚 | 二箇 | 鶏卵燒 | 一片 |
| 鯨魚 | 二箇 | 小鮎 | 二尾 |
| | | 口取肴 | |

葛西郡馬郡大類村疾病調査

蝦

鶏卵卷

一箇

金團

少量

計十四箇

之ヲ調製シタルハ高崎町大宇連雀町蛇ノ目鮓「存納」三郎ニシテ實地ニ就キ調査セシニ家屋ハ間口凡三間奥行凡五間ノ二階家ニシテ鮓ノ他「煮染」ヲ販賣シ店前大皿五六枚中ニ煮タル蔬菜ヲ盛りテ配列スルモノアルヲ見タリ大類村ノ料理ヲ調製スル際ハ特ニ男子四人女子一人男女小兒各々一人ヲ雇ヒ料理ニ著手セシハ九月二十二日ノ夕ニシテ其夜シ徹シ翌二十三日早朝終レリト云フ

(米)ハ飯時ヲ製スルタメ二十二日ノ夕ニ升炊ノ釜ニテ三回其夜十一時頃ヨリ更ニ八九回炊キ米ノ全量ハ凡二斗五升ナリ

(蝦)ハ二十二日正午二百尾購入シ百四十尾ハ此料理ニ使用シ殘品ハ九月二十三日及二十四日ノ兩日鮓ヲ製シテ販賣セリ

(醬油)ハ九月二十一日ハ同町辰口屋ヨリ十五箇購入シタリ此品ハ東京安針町水野辰二
 京日本橋區小田原町二丁目福田清太郎ヨリ送り九月二十一日午前九
 時着荷シタルモノナリ當時福田ヨリ回送シタル數ハ二十四箇ニシテ
 「蛇ノ目鮓」ニ販賣シタル十五箇ノ他三箇ハ倉賀野貸座敷小澤屋へ又三
 箇ハ同所旅人宿須賀屋へ販賣シ其他三箇ハ同日中住所姓名不詳ナル
 者ニ販賣シタリ
 又一種ハ高崎町林屋ヨリ十箇購入シタリ此品ハ東京安針町水野辰二
 郎ヨリ安中町鯉池屋ニ送りタル四十箇ノ内ニシテ鯉池屋ハ九月二十
 一日ヲ以テ之ヲ悉ク林屋ニ轉賣シ林屋ハ此内十箇ヲ「蛇ノ目鮓」へ賣却
 シタルモノナリ殘品ハ何レニ販賣セシヤ詳ナラス
 (鮓)ハ九月二十一日ノ夜三百尾購入セリ
 (醬油)ハ九月二十日ニ二樽購入シ大類村ノ料理ニ使用シタル前後モ使
 用セリ

百六十八

(醬)ハ九月十八日一樽購入シ大類村ノ料理ニ使用シタル前後煮物ニ使
 用シタルコト醬油ニ同シ
 煮物ニ使用シタル鍋ハ凡十二箇アリ十箇ハ從來ヨリ使用シタルモノ
 ナリシカ多量ノ料理ヲナスニ不足ナレハ更ニ二箇ノ青銅鍋ヲ購入シ
 タリ
 此新鍋ニテ煮タルモノヲ調査スルニ「蛇ノ目鮓」主人ノ言フ所ニ由レハ
 鯉節ノ煮汁(俗ニ「ダシ」ト云フ)金剛ノ二品ノミナリト然レモ同人雇佐野
 某カ片岡郡警察署警部ニ申立タル所ニ由レハ右二品ノ外蓮根及「ナボ
 口」モ此新鍋ニテ煮タリト云フ
 九月二十三日ノ早朝料理ヲ終ルヤ直ニ盆詰ニ著手シ同日午前十時前
 ニ終リ各盆ハ半「紙」ヲ以テ被ヒ六箇ノ有蓋籠ニ入レ車ニ載セ午前十二
 時三十分頃主人及雇人一人ニテ之ヲ大類村ニ運搬シ同村ニ著シタル
 ハ同日午後一時少シ前ナリト云フ此日ハ曇天ニシテ頗ル熱ク午後一

此疑フヘキ食品ヲ喫シタル時ヨリ發病時ニ至ル長短ヲ調査スルハ中
 毒ナルヤ將ク傳染病ナルヤヲ判定スルニ最も必要ナレハ余ハ可成正
 確ナル事實ヲ得ントシテ之ヲ調査ヲ施シタリ而シテ最モ急性ナル者ハ
 食後僅ニ三時間ニシテ發病セル者アリシカ今其大體ヲ略述スレハ總
 患者三百八十一人中
 即日發シタル者 八十九人(内死亡六)
 第二日ニ發シタル者 百六十六人
 第三日ニ發シタル者 六十六人
 ニシテ夫ヨリ以後ハ迅速ニ發病者ヲ減シタリ食後六日ヲ經過スルモ
 尙數人ノ患者ヲ生シタリト雖此之等ハ或ハ其以前ヨリ病ニ罹リタル
 モ輕症ナレハ意トナサハリシニ由ルカ或ハ全ク之ニ關係ナキ他ノ疾
 病ナルヤモ知ルヘカラス其詳細ハ次表ニアリ

群馬縣西群馬郡大井村疾病調査

發病月日	發病數	大人		小人	
		男	女	男	女
九月二十三日	八九	四八	四一	二四	一三
九月二十四日	一六六	七一	五五	二〇	二〇
九月二十五日	一六	一九	二四	一三	一〇
九月二十六日	二六	二	九	五	一〇
九月二十七日	一七	六	七	三	一
九月二十八日	一〇	三	三	三	一
九月二十九日	三	一	一	一	一
九月三十日	二	一	一	〇	〇
十月一日	一	〇	一	〇	〇
十月二日	一	〇	〇	〇	一
合計	三八一	一五一	一五二	五七	四七

スルノ機會ナク只僅ニ一患者ノ恢復期中ニシテ尙ホ病辭ニアル者ヲ見タルノミ故ニ茲ニ記載スル所ハ專ラ病ニ罹リテ治療シタル者或ハ死者ノ家ニ就キ尋問シタルモノ及醫學士等ノ實地ニ診察シタル報告ヲ以テ根據トス

凡發病スルヤ初メ腹部ニ異常ノ感覺ヲ起シ尋テ吐瀉交々來リ且ツ腹痛ヲ發シ口渴引飲腹痛ハ一種刺スガ如クニシテ殆ト人ヲシテ堪エサラシメ吐瀉物ハ頗ル多量ニシテ惡寒戰慄ヲ起ス者アリ吐下物ノ性質ハ詳カナルヲ得サレトモ孰レモ水様ニシテ下泄物ハ往々茶褐色ナルモノアリト云フ然レトモ血液ヲ混セシヤ否ヤ詳ナラス體温ハ概子異常ナク多クハ四肢厥冷シ脈搏ハ往々明カニ指頭ニ觸レサルアリ或ハ全ク絶脈スルニ至ルアリ皮膚ハ藍色又ハ赤色斑ヲ呈スル者アレトモ出血アリシヤ否詳カナラス數多ノ全治シタル者ヲ見ルニ毫モ出血ノ痕跡ヲ遺サレハ或ハ全ク之ヲ來サレリシ者ナラン精神ハ劇症ト雖

群馬縣西郡馬郡大類村疾病調査

此死ニ瀕スルマテ異常ナキヲ常トシ僥倖ナル者漸々二三日ヲ經テ恢復シ不幸ナル者ハ經脈シテ後死亡ス之レ一般ノ病徵ナリトス各人ニ就テ問キ得タル病歴ノ主要ナルモノハ左ノ如シ

(甲) 死亡者ノ病歴當時看護シタル家族
附近スル所ニ由ル

其一

下大類村 信澤某(六十一年)

平素強壯九月二十三日午後六時頃大類村役場ノ會場へ出席シタル家族某カ携歸シタル握鮭三箇(玉子鮭、オボロ鮭、鮎等各々一箇)及口取中ノ玉子燻一片ヲ食シ暫時ノ後寢ニ就キシカ夜ノ二時頃ニ至リ腹痛ヲ發シ始メ二回ノ下痢及一二回ノ嘔吐ヲ來シ同時ニ腹痛甚シク増劇シ加之惡寒戰慄甚シク四肢稍々厥冷ス腹痛ノ發スルヤ始メ心窩ヨリシ次テ臍部ニ波及シ其狀恰モ異物ヲ以テ腹腔内ヲ攪拌スルカ如ク疼痛部ヲ按摩スルトキハ更ニ其度ヲ増進セシム以上ノ諸徵ハ翌二十四日ノ午前マテ繼續シ嘔吐ハ前後五六回下痢十回餘ニ及

ヒテハ多少瀉紅セシカ如シ然レド眼窩稍々陥没シ顔ル衰弱ノ狀アリ二十四日正午十二時頃ニ至リ四肢厥冷増進シ皮膚著シク藍色ヲ呈シ漸次虚脱狀ニ陥リ午後六時ニ至リ終ニ絶命セリ但シ精神ハ終始異常ナク能ク應答スルコトヲ得タリト云フ

下痢物ノ性質 翌朝家内ノ者ノ檢セシ際ハ暗紅色(唐紅)ノ濃厚ナルモノニ似タリト云フ)ノ水様物中ニ粘稠ナル物質アリテ甚シキ惡臭ヲ放チ其狀恰モ魚類ノ腐敗臭ニ彷彿タリト云フ
吐物ノ性質 詳カナラス

其他ノ家族八人中一人ノ幼兒ヲ除クノ外同種ノ物品ヲ食シタル者七人アリテ此内四人發病シ皆多少吐瀉ヲ起セシカ幸ニシテ全治セリ

其二

下大類村 倉林某(七十三年)

平素強壯九月二十三日大類村々役場ノ宴會ニ出席午後一時頃ヨリ會食(喫食物詳ナラス)同五時頃ニ至リ已ニ會場ニ於テ腹痛ヲ來シ他

群馬縣西群馬郡大類村發病調査

人ノ介助ニヨリテ歸路ニ就キシカ(會場ヨリ自宅マテ凡十餘町)途上ニ於テ二三回ノ嘔吐ヲ發シ宅ニ入ルヤ否ヤ數回ノ暴吐瀉ヲ來シ同時ニ甚シキ惡寒戰慄ヲ發シ四肢甚シク振動シ腹痛ハ歸宅後殊ニ甚シク且ツ大ニ煩悶シ其苦痛名狀スヘカラス戰慄ハ二時間計リニテ緩解シ次テ溫暖發熱ノ感アリテ發汗シ渴ヲ訴フ吐ハ同夜二時頃マテ反復シ殊ニ下痢ノ數ハ頗ル多クシテ算スルコト能ハサルノ度ニ達セリト二十四日未明ニ至リ吐瀉漸ク歇止シタルモ身體非常ニ疲勞衰弱シ眼窩陥没四肢厥冷顔面紫藍色ヲ呈シ煩悶尙ホ甚シ精神ハ錯亂セシコトナク能ク他人ニ應答スルコトヲ得タリ以上ノ症候ヲ以テ二十四日午後二時遂ニ斃レタリト云フ

下痢物ノ性質 不明量ハ非常ニ多ク全量凡二三升ナリシナラン

吐物ノ性質 始メハ數多ノ食片ヲ混シ後ニハ水様ナレトモ其色

一人モ握鮓一箇ヲ食シタレトモ其種類不明アリシカ悉ク吐瀉ヲ起シ之ヲ食セサル者三人ハ無病ナリ

其三

宿大類村 羽鳥某(四十七年)

平素強壯九月二十三日二時頃大類村々役場ニ於テ海苔鮓二箇ヲ食シ
[鮓]二箇餘鮓一箇及蒲鉾蓮根少許ヲ喫ス其夜十時頃ニ至リ下痢一
回次テ劇甚恰モ刀劍ヲ以テ腹腔内ヲ攪拌セラルハカ如キ痛ヲ發シ
其部ニ觸接スルトキハ益々増劇ナラシメ腹痛ノ發スルヤ直ニ嘔吐
ヲ發シテ四五回持續シ又四五行ノ下痢アリ且ツ劇シキ惡寒戰慄ヲ
兼發シ四肢ハ厥冷ス發病後二三時即チ吐瀉四五回アリシ後醫來リ
テ皮下注射「モルヒネ」ヲ行ヒシカ暫時ニシテ腹痛稍々輕快僅ニ就
眠スルコトヲ得タリ翌二十四日午前十時頃更ニ間斷性ノ腹痛ヲ發
シタレトモ前回ノ如ク甚シカラス四肢ノ厥冷ハ尙ホ持續ス此時ニ
當リ身體ノ疲勞甚シク神氣稍々朦朧トナルト雖モ尙ホ能ク認識力

アリテ應答スルコトヲ得タリ二十五日ニ至リ漸次虛脫狀ニ陥リ終
ニ同日午後四時頃死ニ陥ル

下痢物ノ性質

二十四日家内ノ者ノ檢セシ際ハ水様ニシテ小豆
ノ糞涕シタル液汁ノ如キ鈍暗紅色ヲ呈シ一種腐
敗魚ノ臭氣ヲ發シ内ニ數多ノ粘液狀物ヲ混セリ
ト云フ

右死者ノ他家族六人アリシカ二人ヲ除キ他ノ四人ハ九月二十三日午
後六時頃死者ト同種ノ食品ヲ喫シタリ然ルニ三人ハ異常ナカリシモ
一人ハ翌朝三回下痢ヲ發シテ全治セリ此患者ノ食品ヲ調査スルニ海
苔オボロ[章魚]鰓等ノ握鮓各一箇其他蓮根金團少量ヲ喫セリ又發病セ
サル者ノ内一人ハ發病者ト殆ト同一ノ物品ヲ食シ(海苔オボロ[章魚]等
ノ鮓各々一箇其他金團及蓮根少量)他ノ二人ハ握鮓各々二箇ヲ食シタ
リト云フ

九月二十三日家族一人會場ニ出席シテ携歸シタル餅及口取ノ内、オ

六時頃歸路其家へ立寄りシ際腹痛ヲ發シ暴吐瀉各々四五回アリ
大ニ衰弱シ午後八時他人ノ介助ニヨリテ歸宅シタリシカ直ニ數回
ノ暴吐瀉ヲ發シ腹痛劇甚煩悶甚シク戰慄ハ著シカラス四肢ハ歸宅
シタル際已ニ著シク厥冷セリ下痢ハ翌二十四日午前八時頃マテ反
復持續シテ度數ヲ算スル能ハサリキ此際眼窩著シク陷没シ四肢尙
水厥冷煩悶甚シ精神ハ死ニ瀕スルマテ明瞭ナリシカ二十四日午後
九時頃終ニ死ニ陥リシト云フ

下痢物ノ性質 暗紅色水様ニシテ數多ノ粘液ヲ混シ臭氣ハ明カ
ナラス

吐物ノ性質 水様ニシテ其色明ナラス

他ノ家族四人之ヲ食シタル者ナク又發病セシモノナシ

其五

南大類村 佐野某(五十三年)

九月二十三日家族一人會場ニ出席シテ携歸シタル餅及口取ノ内、オ

群馬縣西群馬郡大類村疾病調査

ボロ餅、餘餅各々一偪及金團少許ヲ食セリ時ニ同日午後五時頃ナリ

次テ平素ノ如ク晚食ヲ爲シ(豆腐汁ヲ菜トス)九時頃臥ニ就キシカ同
夜三時頃ニ至リ家族ヲ喚ヒ腹痛アルヲ訴ヘ暫時ニシテ下痢及嘔吐
ヲ來シ且ツ惡寒戰慄シ腹痛劇甚トナリ吐瀉瀕發シ其數頗ル多クシ
テ算フルト能ハス戰慄ハ一二時間ニシテ緩解スルモ腹痛ハ持續シ
煩悶甚シク大ニ渴ヲ訴ヘ冷水ヲ飲用スレハ暫時ニシテ吐出シ吐出
物ハ始メハ食品ヲ混セシカ如キモ後ニハ水ノミナリ發病後二三時
ニシテ嘔ノ治癒ヲ受ケタリ翌二十四日正午十二時頃ニ至リ下痢歇
止セルモ吐ハ尙ホ時々發起シ且ツ腹痛緩解セズシテ終始苦痛ノ狀
アリ同日午後八時頃ニ至リ終ニ絶脈セルニ至レリト云フ
下痢物ノ性質 詳ナラス只水様ニシテ暗赤色ヲ呈セリト云フ臭
氣不明ナリ

右ノ他家族八人中七人共食シ發病スル者三人異常ナキ者四人ナリ

五時頃歸宅直ニ横臥セシカ腹痛惡寒、戰慄、數回ノ吐瀉等ヲ發シ(吐瀉ハ數多ノ食片ヲ混シ全液微ニ黃色ヲ帶ヒ臭氣ナシ)戰慄ハ暫時ニシテ止ミシモ四肢厥冷シ腹痛持續下痢、數十回アレトモ毎回必ス上脘シテ自痛スルコトナシ戰慄去リタル後少シク發熱顔面潮江シ同夜九時ニ至リ下痢歇止スルモ眼窩陷沒頗ル疲勞ノ狀アリテ翌二十四日午前十一時頃終ニ鬼籍ニ上レリ

(乙) 全治シタル患者ノ病歴

第一ニ記スル者ハ小學校教員ナルカ當時會場ニ出席シ發病シタル者ニシテ病徵ヲ陳述スルコト最モ明瞭ナルモノナリ

其一

小學校教員 其(三十八年)

平素強壯酒ヲ嗜ム九月二十三日大類村々役場ニ出席午後二時頃ヨ

リ飲食セリ酒ハ多ク飲マス會場ニ於テ喫シタル物品ハ鰯及海苔ノ握餅各々一箇及金圍ノ小塊ナリ鰯ハ少シク臭氣アリテ恰モ腐敗シタル如ク海苔鮮ハ平常ノ品ト異ナルヲ認メス蒲鉾ハ茶褐色ニシテ表タルカ如シ之ヲ喫セントテ其小片ヲ咀嚼セシカ一種異様ナル臭氣ヲ放チタレハ其少部ヲ嚙下シ殘餘ハ吐出シタリ宴會終リタル頃殘餘ノ食品ヲ撈ヘテ歸宅シ午後七時頃更ニ之ヲ喫シタリ其品ハ蝦海苔ノ握餅各々一箇ナリ蝦ノ味ハ異常ナカリシモ多少臭氣アリ右ノ他當日自宅ニテ製造シタル握餅十箇程ヲ食シタリ午後八時三十分頃就眠セシカ同夜十一時醒覺シタルニ渴甚シ依テ水ヲ飲マントセシニ胸下部ニ一種膨滿スルカ如キ感覺アリテ暫時ノ後暴吐瀉ヲ發シタリ吐瀉ハ同時ニ發シ凡十五六回ハ上脘セシカ第七八回ヨリ他人ノ介助ニ由テ辛フシテ上脘スルヲ得ルニ至リ且ツ四肢攣急シテ其部ニ疼痛ヲ生セリ患者ハ此等ノ諸候ヲ呈シタルカ爲ニ究列

レモ湯ハ依然タリ入浴スルコト十五分ナルニ浴中ニ下痢スルコト五六行筋痛ハ入浴中ニ止ミタリ時ニ翌二十四日午前一時頃ナリ(發病時ヨリ凡二時)腰湯ヲ止ムルヤ容貌一變シ口唇蒼白顔面所々ニ大小差異アル赤斑ヲ發シ且ツ惡寒戰慄ヲ起シ遂ニ人事ヲ省セサルニ至レリ家族カ醫師ヲ招クヘシトノ語ヲ聞キ再ヒ精神明瞭トナリテ人事ヲ省セサルコト凡二十五分時間ナルヲ知レリ其後戰慄止ミタルモ今ヤ上腹部ニ發作性ノ疼痛ヲ起シタリ此痛ヤ凡十五分時間ヲ隔テ、凡三分間繼續スル所ノ劇痛ニシテ前後凡十回ノ發作アリシリ此際身體頗ル不安トナリ口渴引飲下痢全ク止ミ煩悶甚ク絶ヘス身體ヲ轉輾シ四肢厥冷ス延ヒテ二十五日朝ニ至ル腹痛大ニ輕減シ僅ニ安眠スルヲ得タリ醒レハ發汗シ身體温暖ヲ覺エ精神爽快腹痛モ又止ミ食欲ハ進マサルモ二十五日ノ夜ハ安眠シ夫ヨリ徐々ニ恢復シ同三十日頃ヨリ外出スルヲ得ルニ至レリ

群馬縣群馬郡大津村松清齋

此患者ノ妻ハ疑ハシキ食品ヲ喫セサリシニ依リ全ク健康ナリ又三子アリ十五年ナル一子ハ九月二十三日午後十時頃海苔餅一箇ヲ食シ翌二十四日午後四時乃至八時ニ腹痛下痢等ヲ發シタリ其後下痢止ムモ腹痛ハ翌日ニ至ルマテ持續シタリ
十三年ノ一子ハ九月二十三日午後十時頃海苔餅一箇五年ノ小兒ハ同時ニ鶏卵餅海苔餅各々一箇ヲ食シ孰レモ翌二十四日午後一時頃ヨリ下痢四五回反復シタリ腹痛及嘔吐ハ缺ク

其二

南大類村衛生組長某(三十年)

平素強壯酒ヲ嗜マス九月二十三日大類村ノ會場ニ於テ數種ノ握餅(鰹及海苔各一箇鰹ノ餅二箇)及蒲鉾等ヲ食セリ蝦ハ多少變味シ蒲鉾ハ酸味ヲ有セシカ臭氣ヲ放タス午後六時前臍圍ニ刺戟スルカ如キ疼痛ヲ發シタルカタメ役場ヨリ歸宅セシニ直ニ一回嘔吐シ其量頗ル多ク食シタル鰹及蒲鉾ノ細片ヲ混シタリ暫時ニシテ下痢ヲ來キ

隨症ナリ惡寒戰慄シ四肢ハ厥冷シ腹瀉ヲ壓スレハ疹將起カス至
疹及發熱等アルヲ知ラス下痢ハ甚ク頻數ニシテ初メ凡三十回ハ之
アルヲ記憶スレトモ其後ハ幾回アリシヤ詳ナラス翌二十四日拂曉
ニ至リ漸ク止ミタレトモ嘔吐ハ依然トシテ此日午後三時頃マテハ
一時間凡ソ四五回アリ此日脈搏ヲ檢セシニ午後二時頃ニ至ルマテ
ハ手頭ニ觸レス其後徐々ニ嘔吐ノ度ヲ減シ二十五日ニハ四回アリ
シノミ吐出物ノ檢スルヲ得シ者ハ血液ヲ見ス下泄物ノ色ハ檢セサ
リキ
二十五日ハ諸徵大ニ輕快シ同三十日ニ至リ始メテ病禱ヲ離ル、ヲ
得タリ
余カ此患者ヲ診察シタルハ十月二日午後ナリシカ身體衰弱ノ徵ヲ
顯ハシ左右ノ眼圍ニ凡一仙迷ノ青輪ヲ殘留シタルノ外異狀ナカリ
シ

飛馬縣西尾馬郡大類村疾病調查

此患者ノ妻及二兒ハ九月二十三日午後四時頃同品ヲ食シタリシカ
妻ハ同夜五回ノ吐瀉ヲ起シ十年ノ男兒ハ嘔吐ヲ發セサルモ少シク
下痢アリ五年ノ男兒モ又數回ノ下痢アリシカ其度數詳ナラス

其三

片岡郡大類村駐在巡查某(二十六年)

平素健康九月二十三日正午後會場ニ於テ口取肴ヲ食シタルカ蒲鉾
ハ味不瓦ニシテ全部ヲ食セザリキ午後三時三十分過キ食品ヲ自宅
ニ携歸リ更ニ他ノ家族ト共ニ鶏卵、鯨、鰻、オボロ等ノ握鮓各々一箇ヲ
食シタリ然ルニ同六時三十分頃下痢ニ疼痛ヲ發シ七時頃ニ至リ殆
ト堪ヘ難キヲ以テ襪ヲシタリ此疼痛ハ凡五分時間毎ニ反復シ凡一時
間ノ後吐瀉交々來リ其數八九回ナリ吐出物ハ食物ヲ混シタレトモ
赤色ナラス下泄物ハ初メニ軟便ナリシモ後ニハ殆ト水様ナレトモ
赤色ヲ見ス同夜十時三十分頃ヨリ全身戰慄シ渴甚ク下脚ノ後面
ニ知覺減少スルヲ認メ腹痛ハ尙ホ依然トシテ漸次ニ上腹節ニ及ホ

八月一日... 腹痛ヲ呈セス同二十六日ニ至リ稍々平常ニ復セリ
妻ハ九月二十三日午後四時頃海苔、鰯ノ握餅各一箇及蒲鋒一片ヲ喫
シタリ然ルニ其夜二時頃少シク腹痛ヲ發シ下痢四五回アリ(吐ナシ)
同二十四日二十五日ノ兩日ハ異常ナク殆ト恢復シタルカ如クナリ
シモ二十六日午後八時頃再ヒ腹痛ヲ起シ下痢四五回二十七日前
尙ホ下痢七八行アリテ後漸次ニ全快セリ
右ノ他二年ノ一男兒アリ九月二十三日午後鷄卵餅少許ヲ食セシカ
全部ヲ吐出シテ嘔下セサリキ然ルニ同二十四日午前四時及七時頃
下痢各々一回アリ後健康ニ復セリ

第五項 「蛇ノ目餅」伊納カ調製シタル食品ナ

食シテ發シタル他地方ノ疾病

其一

本年九月二十三日午前十時頃群馬縣高崎町住女二人(大字羅漢町住女
三十六年同町住女三十四年)同町ノ知己某宅ニ於テ「蛇ノ目餅」ヨリ散餅
ヲ取寄セ喫シタリ然ルニ翌二十四日朝ヨリ二人共胸部及腹部ニ疼痛
ヲ發シ一人ハ吐一回下痢三回又一入ハ嘔吐ナキモ下痢凡二回アリシ
ト云フ

其二

本年九月二十三日午前十一時四十分頃豐秋村民四人「蛇ノ目餅」ヲ於テ
散餅ヲ食セリ内二人ハ翌二十四日午前二時頃腹痛及吐瀉ヲ來シ又他
ノ二人ハ同二十五日午後一時頃ヨリ腹痛及吐瀉ヲ來セシカ孰モ數日
ニシテ全癒セリ

其三

本年九月二十三日ノ夜高崎大字田町ノ某宅ニ於テ御嶽講ノ講中集會
飲食セリ會セシ者十八人ニシテ握餅ヲ肴トナセリ此品ハ「蛇ノ目餅」ニ
シテ全癒セリ

シタル鮮ハ長十七仙送幅七仙送死亡者ノ家ニテ發見シタルモノ
 此家ニテ食シタルアリ或ハ自宅ニ撈歸シタルアリ之ヲ食シタル者
 ノ總數ハ高崎警察署長彌坂友三郎ノ調査ニ由ルニ四十九人アリテ内
 三十四人發病シ死亡者一人ヲ出セリ而シテ發病者ハ「蛇ノ目鮮」ノ製品
 ナ食シタル者ニ限り他種ノ鮮ヲ食シタル者ハ一人モ發病スル者ナカ
 リキ然シテ腹食シタルヨリ發病ニ至ル時間ヲ調査スルニ左ノ如シ

一時	一人	十二時	九人
二時	二人	十三時	二人
四時	三人	十七時	一人
六時	四人	二十時	一人
七時	三人	二十九時	二人
八時	一人	時間不詳	一人

群馬縣西吾郡大須村疫病調査

九時 三人
 十時 一人
 計 三十四人

余ハ此病ニ罹リテ死亡シタル高崎町ノ某宅ニ赴キ死者ノ妻ニ就キ親
 シク當時ノ景況ヲ尋ルニ死亡者ハ年齢六十六年平素建康ナリシカ九
 月二十三日午後白金町ノ某宅ニ行キ夜十二時頃歸宅セリ其際握鮮ヲ
 容レタル小缶ヲ携ヘタリ翌二十四日朝前夜撈歸シタル握鮮ヲ他ノ家
 族ニ分配シ且ツ自身モ海苔及章魚ノ握鮮各一箇ヲ食ヒ且ツ平素ノ如
 ク朝飯ヲ喫シタリ同日午前十一時頃マテハ異常ナカリシモ十一時頃
 ヨリ腹痛ヲ發シ暫時ニシテ下痢ヲ來シ下泄物ノ量頗ル多ク恰モ桶ノ
 底ヲ抜キタルカ如シ引續キ下痢スルコト三回ニシテ煩悶甚シク且ツ
 著シク衰弱シテ上固スルヲ得サルニ至リ其後ハ褥中ニ漏ラシ下痢ノ
 度數ハ詳ナラサルモ六枚ノ褥ヲ交換シ尙ホ不足ヲ告タリ下泄物ハ初
 ノ二三回ハ黄色ニシテ米汁様ナラス後ニハ赤色ヲ呈シ七時ニ至リテ

吐出... 夫ヨリ衰弱益々増加シ終ニ翌二十五日午後死亡セリト云フ
同人妻(六十二年)ハ九月二十四日午前七時頃前記ノ夫ト共ニ鶏卵餅一
筒ノ中央部少量ヲ食シ嘔タル鶏卵ハ食セサリシ而シテ正午頃微ニ腹
痛ヲ發シ次テ四行下痢アリ其後速ニ恢復セリ
右ノ他家人三人アリシカ孰モ握餅一筒若クハ二筒ヲ食シタルニ悉ク
發病シタレトモ幸ニ全治セリ

其四

本年九月二十四日早朝西群馬郡中川村大字小八木村住民二十五人蛇
ノ目餅ニ至リ各々散餅ヲ喫セリ該家ニテハ物質ノ缺乏セルカメメニ
二十四人分ヲ製シタルカ米飯中ニ章魚、蒲鉾、干瓢、椎茸、蓮根、「オホロ」等前
日大類村ノ料理ニ使用シタル殘物ヲ混シタリ渠等ハ同日歸村セシカ

西群馬郡大類村疾病調査

其内十三人ハ暴吐瀉ヲ發シタレトモ皆孰モ全治セリ
其五

(甲)群馬縣岩鼻村ノ住民四人本年九月二十五日高崎町へ赴キ午餐ノタ
メ「蛇ノ目餅」ニ至リ散餅ヲ食セリ此品ハ米飯中ニ章魚、蒲鉾、干瓢、椎茸、「オ
ホロ」蝦、烏賊等ノ七品ヲ混セリ岩鼻村駐在巡查ノ報告ニ由レハ蒲鉾及
蝦ハ味變異シテ當時已ニ腐敗シタルモノナラント申立タル患者アリ
ト歸村ノ後三人ハ同夜ヨリ翌二十五日ニ至ル間腹痛及吐瀉ヲ起シ他
ノ一人モ多少腹痛ヲ起シタレトモ吐瀉ナカリシト云フ
(乙)同村大字東中里村ノ一女ハ九月二十四日下大類村ノ親族某宅ニ於
テ大類村ノ宴會ニ出シタル握餅二筒ヲ食シタルニ同日午後十時頃吐
瀉二三回アリタリ

(丙)同所大字矢中村ノ一男子ハ九月二十四日柴崎村ノ親族某宅ニ於テ
大類村ノ宴會ニ参加シタル日取肴中ノ蓮根二片ヲ食シタルニ同日午

(甲)高崎警察署 調査ハ九月二十三日ノ夜宿直ノ醫館ノ目録ノ記載シタル鮮ヲ喫シタリ其味ハ多少異常アリシカタメニ全部ヲ食セザリキ翌二十四日ハ無事同二十五日午前三時頃ニ至リ卒然腹痛ヲ發シ次テ下痢二回アリ苦悶シタレトモ日ナラス全快セリ

其七

(甲)片岡村字石原村ノ住民二人ハ本年九月二十三日晝食ノタメ「蛇ノ目鮮」ニ於テ散鮮ヲ喫シタルニ同夜二人共ニ腹痛及下痢三四行アリタリ(乙)同日午後三時過キ前記ノ者ヨリ散鮮ノ分配ヲ受ケテ喫シタル者三人(男一人女二人)アリ内二人ハ翌二十四日一人ハ二十五日ニ吐瀉ヲ發シ二人ハ腹痛ヲ兼發シタリト云フ

第六項 鶏ノ疾病

大類村大字柴崎村吉井某ハ妻ト一男子アリ九月二十三日午後五時頃全家族ハ村役場ニテ分配シタル握鮮及口取肴ヲ分食セリ夫ハ蝦、海苔

群馬縣西群馬郡大類村疾病調査

等ノ鮮各々一箇及金團遺根少許ヲ食セシカ翌日吐瀉ヲ發シ妻ハ鮮三

箇ヲ食セシニ翌日腹痛ヲ發シ且少シク下痢アリシカ幾干モナク殆トニ下痢ヲ兼ネタリ小兒ハ鮮ノ米飯ノミ少量ヲ食シタルニ同二十四日夜腹痛及吐二三回アリ

同二十四日午前鮮及其他ノ殘物ヲ鶏ニ與ヘシニ其際鶏四羽猫一頭ニテ之ヲ盡シタリ然ルニ雄鶏一頭ハ二十五日朝ヨリ著シク不活瀝トナリ他鶏ト共ニ歩スルコトナク且飼ヲ啄ムコト他鶏ノ如クナラスシテ下痢ヲ來セリト云フ余ハ十月二日現場ニ臨ミ之ヲ檢スルニ一雄鶏ハ室ノ一側ニ在リテ身體ヲ收縮シ鶏冠ヲ横タヘ尾毛ハ垂レテ地ニ接シ且ツ一二回ノ下痢アリ試ニ之ヲ地上ニ放テハ歩行スルヲ得テ筋ノ麻痺ナキヲ證スレトモ歩スルコト暫時ニシテ止マリ身體ヲ萎縮スルコト初メノ如シ此鶏ト同時ニ疑フヘキ物品ヲ食シタル動物ハ七日ニ至

大類村ニ發シタル疾病ハ九月二十三日宴會ニ於テ分記シタル者ニシテ食シタル者ノミ發病シ之ヲ食セサル者ハ縱ヒ近親ナリト雖トモ發病者一人モアルコトナク加之全ク此宴會ニ關係ナキ者ト雖トモ九月二十三日及二十四日ニ於テ蛇ノ目餅伊納カ調製シタル餅ヲ食シタル者ハ多クハ大類村ノ疾病ト同様ノ病ニ罹リタルヲ以テ之ヲ考フレハ當眞蛇ノ目餅カ調製シタル食品中ニ病源ノ胚胎セシヤ明瞭ナリトス已ニ此病ハ蛇ノ目餅伊納カ製シタル食品ニ原因スルハ明ナレハ尙ホ進ンテ其病源ハ何ナルヤヲ調査スルニ多人數同一ノ病徵ヲ以テ一時ニ發病シタル者ナレハ其病ハ傳染病カ若クハ中毒症ニ外ナラサルヲ識ル而シテ此病ハ疑フヘキ食物ヲ食シタル者ニ限りテ發シ之ヲ食セサル者ハ縱ヒ近親ニシテ發病者ト同一室ニ住居スル者ト雖ヒ發病スル者ナク加フルニ患者ノ多クハ食後二十四時以内ニ發病シタル等ヲ以テ之ヲ考フレハ此病ハ傳染病ニアラスシテ一種ノ中毒症ナルヤ必

群馬縣西群馬郡大類村疾病調査

セリ

而シテ此病ハ何等ノ中毒ナルヤヲ調査セントスルニ甚々其材料ニ乏シク且ツ解剖シテ死後ノ變化ヲ調査スルノ機會ナカリキ只僅ニ調査ノ材料トナリシモノハ九月二十九日午後五時三十分群馬縣技手鹿沼留青カ當衛生試驗所ニ携帶シタル検査物品ニシテ其種類ハ左ノ如シ

一 吐出物(九月二十七日吐出)

六、〇

一 下泄物(九月二十六日下泄)

大約百七十立瓏

一金 團(菜豆製)

二五、〇

一 食物ノ殘品

凡五〇、〇

九月二十三日大類村ニテ食シタル食品ニシテ土中ニ埋没シタルモノ同二十六日發病日ニ應取セリ

餅子類ニ入り暗褐色ノ液ニシテ著シク石灰酸ノ臭ヲ放チ類底ニ多量ナル灰色ノ沈澱物アリ(砂)故ニ検査セズ

盆ニ附著シタルモノヲ蒐集シ類ノ頭尾、干腐、推茸、菌根、炭酸ナリ成リ腐敗臭アリ

一 二〇〇、〇
 二 二〇〇、〇

一 蒸餾水入硝子瓶 四箇
蒸餾水ヲ新調ノ青銅鍋及特ニ購入シタル同一種ノ硝子瓶ニテ貯タルモノナリ

一 干椎茸、干鰯 二袋
 各二十枚入ト記セリ

以上九品右ノ他

一 青銅鍋 三箇

此品ハ高崎縣警察ニ貯置キタルモノニシテ二箇ハ伊納カ大須村ノ料理ヲ引受タル際特ニ購入シタルモノ一箇ハ調査ノタメニ同一種ノ硝子瓶ヲ購入シタルモノニシテ本曾出張ノ際一時検査ノタメニ借用シタルモノナリ

以上ノ試験物ハ多ク已ニ腐敗ニ陥リ十分ノ検査ヲ施スヲ得スシテ單ニ鑛物ノ有無ヲ檢スルニ止マレリ干椎茸及干鰯等ハ乾物屋某ヨリ購入シタルモノニ係リ同店ニ於テハ同一ノ物質多量ニ貯藏シ「蛇ノ目餅」

群馬縣西群馬郡大須村法蘭西製 百九十五

伊納ニ販賣シタル前後他ニ賣却シタル量少ナカラスト云フヲ以テ是等ノ二品ニハ疑ヲ容ルヘキニアラサレハ検査ヲ施サ、リキ

化學的検査成績

第一 吐出物

此試験物ハ已ニ腐敗ニ陥リタレトモ試ニ鑛物ノ存否ヲ檢セシニ鐵及銅ノ痕跡ヲ含ムノミ但シ検査ノ方法ニ至テハ次ノ金團検査ノ法ニ同シ

第二 菜豆金團

本品ニ濃厚硝酸ノ多量ヲ加ヘ濃稠液狀ニ至ルマテ煮沸シ水ヲ加ヘテ稀釋シ濾過シテ湯浴ニ上セ蒸發シテ過剩ノ硝酸ヲ揮散セシメ水ヲ加ヘテ稀釋シ其一分ニ酸化水素ヲ通スルニ僅微ノ褐色ヲ呈ス之ヲ精試スルニ銅ノ痕跡ナク又沃度加里ニ鹽化錫亞爾加里等ニ由テ變化ナク此節酸性溶液ニ置酸ヲ加ヘ蒸發シテ硝酸ヲ驅逐シ更ニ水ニ溶シ研査

蒸發器中ニシテ濃硫酸中ニ硝酸を遠下融合セシメ冷却スルニ行
粉末トシテ更ニ水ニ溶シ煖メテ不溶解物ヲ濾シ別ケ濾液ニ硝酸ヲ加
ヘテ酸性トシテ煮沸シテ炭酸ヲ驅逐シ其一分ニ硫化水素ヲ通スルニ
變化スルコトヲ又硝酸銀ヲ加ヘテ安母尼亞ヲ以テ中和スルモ茲
ニ生スル沈澱ハ純白色ニシテ格魯兒銀ナリ(砒酸銀ナレハ褐色)又鹽化
安母尼亞、安母尼亞及硫酸麻佃濕矢亞ノ混液ヲ加フレハ白澱ヌ由テ之
ヲ濾過シ此沈澱ヲ鹽酸ニ溶シ硫化水素ヲ通スルニ變化ナシ(砒素ナレ
ハ黃澱)又一分ニ硫酸ヲ加ヘ蒸發シテ硝酸ヲ排除シマルシユ氏裝置ニ
由テ砒素ヲ檢スルニ斑痕或ハ砒鏡ヲ呈スルコトナシ
又此硝酸性溶液ハ重格羅護酸加里沃度加里或ハ硫酸等ニ由テ鉛ノ反
應ヲ呈スルコトナシ

又亞爾加里性液ニ溶解セサル物質ヲ硝酸ニ溶解シ其一分ニ硫化水素
ヲ通スレハ褐色ヲ呈シ安母尼亞ヲ加フレハ微ニ青色ヲ呈ス黃色血濁

羅馬國西都那大領村發掘遺物

鹽ニ稍々褐色ノ反應アリ(以上銅ノ痕跡)

又前ノ濃硝酸ヲ加ヘ煮沸シテ粘液狀トナリタルモノヲ濾過シテ得
ル不溶解ノ殘滓中ニ尙ホ水銀殘留スルノ虞アルカ故ニ更ニ王水ヲ加
ヘ煮沸シ更ニ水ヲ加ヘ稀釋シテ濾過シ濾液ヲ蒸發シテ殘物ニ少許ノ
鹽酸及水ヲ加ヘテ溶解セシメタル液ハ硫化水素、亞鹽化錫、沃度加里等
ニ由テ變ナシ(水銀ナシ)

第三 食物殘品

菜豆金圓檢査法ト同一ノ方法ニ由テ銅鐵ノ痕跡ノ反應アリ其他砒素
水銀及鉛ヲ檢出セス

第四 紅色染料

本品ハ酒精ニ溶解シテ稍々多量ノ不溶解物ヲ殘ヌ由テ濾過シテ不溶
物ハ酒精ヲ以テ其ク洗滌シ濾液ヲ蒸發シタル殘物ハ水及酒精ニ容易
ニ溶解シ著シク黃綠色ノ炭石彩ヲ呈シ亞爾加里ヲ加ヘ煖ムレハ青色

解シ亞硝酸含有ノ濃度計少許ヲ加ヘテ酸性トナシ嘔吐仿談ヲ以テ蒸
盪スルニ嘔吐仿談ハ紫色ヲ呈ス(沃度)尙ホ多量ノ硝酸ヲ加ヘ振盪スレ
ハ嘔吐仿談ハ靑褐色ヲ呈ス(臭素)

又酒精ニ不溶ノ物質ヲ數回酒精ヲ以テ洗滌スレハ白色無味ノ温湯ニ
溶解スヘキ物質ヲ得タリ由テ此水溶液ニ沃度溶液ヲ滴加スレハ靑色
ヲ呈シ又亞爾加里性銅液ヲ加ヘ煮沸スルニ變化セス然レトモ一回酸
ヲ加ヘテ煮沸シタルモノハ同銅液ヲ還元ス(澱粉)

又本品ヲ濃硝酸ト煮沸シ其濾液ヲ蒸發シテ過剩ノ硝酸ヲ揮散セシメ
水ヲ加ヘテ稀釋シ其一分ニ硫化水素ヲ通スルニ變化セス殘液ニ硫酸
ヲ加ヘ蒸發シテ硝酸ヲ驅除シマルシユ氏裝置ニ由テ檢スルニ砒素ヲ
檢出セス

又本品一瓦ヲ燻灼シテ殘灰ヲ稀硝酸ニ溶シ硫酸ヲ加ヘ蒸發シテ硝酸
ヲ驅逐シタル殘物ハ水ニ全溶ス(鉛ナシ)之ニ硫化水素ヲ通スルニ變化

海島西醫馬田大輔村疾病調查

ヲ見ス(銅ナシ)

以上ノ試驗ニ據レハ此藥料ハ澱粉ヲ以テ稀釋シタル「フロキシ」(Phlo-
zine)ナリ

第五 醋

黃色透明ノ液ニシテ百分中ニ含有スル酸ノ量ハ二、三分(%)。定規安母尼
亞液ヲ以テ點滴法ニ由テ酸ノ總量ヲ測定シ醋酸トシテ算シタルモノ
ナリ之ニ硫化水素ヲ通スルニ變化セス然レハ此液ニ安母尼亞ヲ加ヘ
亞爾加里性トナズ時ハ帶綠黑色ヲ呈シ放置スレハ終ニ沈澱ス依テ之
ヲ濾過シ濾紙上僅微ノ黒澱ヲ鹽酸ニ溶シ其一分ニ安母尼亞ヲ加フレ
ハ褐色近シ生シ硫酸化加里ヲ注ケハ紅色ヲ呈シ黃色血鹵鹽ニ藍色ヲ
呈ス(微々ノ鐵)

又原液ニ沃度加里、亞鹽化錫、硫酸、重格羅謨酸加里ヲ加フルモ變化セス
(水銀、鉛ナシ)尙ホ鉛銅ヲ精試センカタメニ原液百立方仙送ヲ蒸發シテ
殘物ヲ檢スルニ亞硝酸含有ニ由リテ嘔吐仿談ニ由リテ此藥料ハ嘔吐仿談

稀釋シテ硫化水素ヲ通スルニ變化セズ(鉛ナシ)又硫酸性溶液ニ硫化水素ヲ通スルモ變化ヲ見ス(銅ナシ)

第六 醬油

黒褐色普通醬油ノ香氣ヲ有ス本品ニ同容ノ水ヲ加ヘテ稀釋シ硫化水素ヲ通スルニ變セズ又沃度加里、亞鹽化錫、硫酸、重格羅謨酸加里ニ變化ナシ依テ尙ホ精試センカ爲メニ元液百立方仙迷ヲ蒸發燥灼シテ殘物ヲ稍酸ニ溶シ硫酸ヲ加ヘ蒸發シテ硫酸鹽トナシ水ヲ加ヘテ溶解セシメ不溶物ヲ濾シ別ケ濾液ニ硫化水素ヲ通スルニ變化ナシ(銅ナシ)又不溶物ヲ稍酸ニ溶解シ水ヲ加ヘ稀釋シテ硫化水素ヲ通スルニ變スルコトナシ(鉛ナシ)

又原液ニ同容ノ水ヲ加ヘテ稀釋シ鹽酸ヲ加ヘテ強酸性トナシ鹽化抜留謨ヲ加フルニ白濁シ放置スレハ沈澱ス此澱硝、鹽酸ニ溶解セズ(硫酸)又比較ノタメ普通醬油ヲ以テ同一ノ試驗ヲ施行スルニ硫酸、抜留謨、沈

群馬縣群馬郡大新村漆器調室

近ノ量殆ト同一ナリ

第七 青銅鍋

直徑凡三十二仙迷深凡十一仙迷内部ハ白目ヲ以テ塗抹シタル青銅鍋三箇ノ内一箇ハ末々使用セサルモノ(一回蒸餾水ヲ以テ沸騰シタルノミ、其水ノ検査ハ第八ニ記載ス)又二箇ハ今回ノ調理ニ使用セルモノナリ此三箇ノ青銅鍋ニ就キ左ノ試驗ヲ施行シタリ(甲乙ハ已ニ使用シ(丙)ハ未タ使用セサルモノトス)

甲鍋(重量一九一〇瓦)ノ一箇ハ大類村ノ調理ニ用ヒタル錯(酸量ヲ純醋トシテ算シニ、三%含有ノモノ)百立方仙迷ヲ盛リ之ト比較ノタメ乙鍋(重量二〇五〇瓦)及丙鍋(重量一九〇〇瓦)ニ各百立方仙迷ノ普通調理用醋(酸ノ量純醋トシテ算シ三、七%含有シ東京ニテ購入シタルモノ)ヲ盛リ沸騰セシメ水泡ヲ生シ始メヨリ十五分時間煮沸セシメ陶製蒸發皿ニ移シ蒸發乾固セシメ燒灼シテ殘灰ヲ稀硫酸ニ溶解シ濾過シテ酸

過シタル液ハ稍々青色ヲ呈ス又硫化水素ヲ通スレハ褐色ヲ呈ス(鉛)又
 硫酸性液ニ溶ケサル物質ニ稀硝酸ヲ加ヘ煮沸シテ溶解セシメ水ヲ加
 ヘテ稀釋シ硫化水素ヲ通スルニ褐色ヲ呈ス(鉛)依テ銅及鉛ヲ定量スル
 ニ甲表ノ如シ

甲表

十五分時間煮沸セルモノ

二百立方仙迷中ニ含有スル銅ノ「ミリグラム」量 同上鉛ノ「ミリグラム」量

甲 調理ニ使用シタルモノ 〇、五〇 一、二五

乙 同 一、〇〇 一、〇〇

丙 新ニ購入シタルモノ 〇、七五 一、五〇

又此三箇ノ青銅鍋中甲ニハ調理ニ用ヒタル醋乙丙二箇ニハ普通ノ醋
 ヲ盛ルコト前項ノ如クシ室内ニ放置スルコト二十四時間ノ後陶製ノ
 皿ニ移シ蒸發乾固セシメ燥灼シテ殘灰ヲ稀硝酸ニ溶解シ檢スルニ之

レ亦銅及鉛ノ反應ヲ呈セリ而シテ其量ハ乙表ノ如シ

乙表

二十四時間室内温度ニ放置セルモノ

醋百立方仙迷中ニ含有スル銅ノ「ミリグラム」量 同上鉛ノ「ミリグラム」量

甲 調理ニ使用シタルモノ 〇、五〇 〇、五〇

乙 同上 〇、七五 一、五〇

丙 新ニ購入シタルモノ 〇、三五 二、三五

表中甲ニハ調理ニ使用セル醋ニシテ酸ノ量二、三%ヲ含有スルモノ
 乙丙ニハ甲ト比較ノタメ普通販賣スル醋ニシテ酸ノ量三、七%ヲ含
 有スルモノ各百立方仙迷ヲ盛レリ

甲乙二表ノ銅及鉛ヲ定量スルニハ「センチグラム」ノ純銅ヲ稀硝酸ニ
 溶シ之ヲ稀釋シテ二百立方仙迷トナシ即チ其一立方仙迷中ニハ〇、〇
 五「ミリグラム」ノ純銅ヲ含有スルモノヲ以テ比色液トナシ檢液ニ安母

色液ニ硫酸ヲ加ヘテ酸性トナシ硫化水素ヲ通シテ其褐色ノ度ヲ比較シ銅ノ含有量ヲ測定セリ

又鉛ヲ定量スルニハ「セ」チグラムノ純鉛ヲ稀硝酸ニ溶シ稀釋シテ二百立方仙迷トナシ即其一立方仙迷中ニ〇、〇五「ミ」リグラムノ純鉛ヲ含有スルモノヲ以テ比色液トナシ檢液ニ硫化水素ヲ通シ又之ト同容積ノ液中ニ幾立方仙迷ノ比色液ヲ加ヘタルモノハ硫化水素ニ由テ檢液ト同一ノ褐色ヲ呈スルヤヲ檢定シテ鉛ノ含有量ヲ測定セリ而シテ乙表中丙ノ鉛ハ多量ニシテ已ニ硫化水素ニ由テ沈近ヲ生シ比色液ヲ以テ定量シ克ハサルカ故ニ此沈近ヲ濾過水洗シテ更ニ硝酸ニ溶シ硫酸ヲ加ヘテ硫酸鉛トナシ煖灼シテ秤量セリ

第八項 蒸餾水

甲乙ノ二瓶中各々九百立方仙迷アリテ微濁セリ甲ハ使用セル鍋乙ハ新調ノ鍋ニ蒸餾水ヲ盛リ煮沸セルモノナリト云フ

此二種ノ水ヲ蒸發シ殘物ヲ稀酸ニ溶解シ之ニ硫酸ヲ加ヘ蒸發シテ乾固スルニ至リ水ヲ加ヘテ白色微微ノ不溶物(硫酸鉛)ヲ濾シ別ケ濾液ニ安母尼亞ヲ加ヘ亞爾加里性トナストキハ微ニ青色ヲ呈ス之ニ硫酸ヲ加ヘテ酸性トナシ硫化水素ヲ通スレハ褐色ヲ呈ス(銅)

又前ノ白色不溶ノ物質ヲ硝酸ニ溶シテ稀釋シテ硫化水素ヲ通スレハ褐色ヲ呈ス(鉛)而シテ此鉛及銅ヲ定量スルニ左表ノ如シ但シ青銅鍋檢査ノ條ニ記載セル比色定量法ニ依テ測定セリ

水千立方仙迷中銅ノ「ミ」リグラム量 同上鉛ノ「ミ」リグラム量

甲水	〇、〇一一	〇、六〇六
乙水	〇、一二七	〇、一七七

菌學的檢査成績

此病ノ原因微候經過轉歸等ヲ察スレハ虎列刺若クニ脾脫疽ト著シキ差違アルヲ知ルト雖モ參考ノタメニ一患者ノ血液及新鮮ナル下痢物

以上ノ試験成績ニ據レハ
 (一) 吐物金剛及食物殘品ハ水銀砒素及鉛ノ痕跡タモ含有スルコトナ
 シ只發見シタルハ銅ノ痕跡ナレトモ此僅少量ハ決シテ中毒ヲ起ス
 ニ足ラス況ヤ數百人ノ患者ヲ病マシメ數人ヲ斃スニ於テオヤ
 (二) 紅色素ハ「プロキシ」ニシテ有害ナラス
 (三) 醋及醬油ハ鉛、銅、水銀、砒素等ノ鑛物ヲ含マス
 (四) 青銅鍋ヲ檢スルニ醋ヲ以テ十五分時間沸騰スルニ其溶解スル所ノ
 銅ハ醋百瓦中僅ニ一密瓦以下鉛ハ一密瓦半以下ナリ聞ク所ニ由レ
 ハ酢ヲ製スルニ使用スル醋ハ往々沸騰セシムルト而シテ伊納ハ醋
 ナ沸騰シタルコトナシト云フモ假リニ之アリテ少量ノ鑛物ヲ醋中
 ニ溶解スト雖モ決シテ中毒ヲ起スヘキ多量ニ至ラス「蛇ノ目酢」主人

藤野野村大...
 藤野野村大...

ノ醋ニ據レハ醋ト米トノ比例ハ米二升ニ醋三合(食鹽四勺)ナリト而
 シテ當時炊キタル米ハ二斗五升ナレハ之ニ使用シタル醋ハ三升七
 合五勺(凡六八〇)立方仙迷)ナリ醋ノ銅ヲ溶解スルノ量百瓦中一密
 瓦鉛ヲ溶解スルノ量百瓦中一、五密瓦トスレハ甲ハ六十八乙ハ百〇
 二密瓦トナルヘシ此少量ヲ以テ何ソ能ク數百人ノ中毒ヲ起スニ足
 ランヤ凡銅ノ鹽類ノ急性中毒ニ由テ人ヲ死ニ至ラシムルノ量ハ數
 十瓦ヲシシ銀ノ鹽類ノ人ヲ死ニ至ラシムルノ量ハ未タ詳カナラス
 鉛糖ノ如キハ二十五瓦乃至五十瓦鉛醋ノ如キハ十五瓦ヲ内服スル
 モ未タ死ニ至ラサルコトアレトモ少クトモ十瓦以上ヲ要スルモノ
 ナリ

又青銅鍋中ニ醋ヲ貯藏スルコト二十四時ノ後之ヲ檢スルニ百分中
 銅〇、七密瓦以下(甲表)鉛ハ最モ多キハ二三密瓦餘(乙表)ヲ溶解スルト
 雖モ當時鍋ニ不足ヲ告ケ新ニ二箇ヲ購入シタルヲ考フルモ數十時

藤野野村大...
 藤野野村大...

食品中ニ貯ヘタルノ暇アルコトナシ況ヤ酸若クハ毒ヲ混シタ
ル食品ヲ貯藏シタルノ事實ナキニ於テチヤ(青銅鍋ヲ以テ沸騰シタ
ル蒸餾水中ノ銅及鉛ノ量ハ僅微ニシテ急性中毒ヲ起スニ足ラス)化
學検査第八)當時青銅ノ鍋ヲ新調シテ料理ニ使用シタルハ或ハ銅ノ
中毒ナルベシトノ疑團ヲ起シタル者アリ之往々斯ノ如キ多數ノ患
者同一時ニ發生シタル際免ルヘカヲサル疑ニシテ彼ノ「アンデルフ
インゲン」ノ流行病ニ於テモ一時之ヲ銅ノ中毒トナセシ者アリシカ
レ「ウイヒカ」吐出物、食品殘物、庖厨器具等ヲ検査(Hyg. Tagesfrage V. 101)
シ之ヲ含有セサルヲ證明シテ其非ナルヲ知リタルト一般以上ノ檢
査成績ヲ以テ鑛物ノ中毒ニアラサルヲ確言スルヲ得ヘキナリ」
此病ヲ發シタル際ハ東京横濱等ニ虎列刺病出沒シタレハ一時或ハ
虎列刺病ナルカノ疑アリシト云フト雖モ病徵彼是著シキ差アルノ
ミナラス此病ニ於テハ死亡者僅ニ一六%ニ過キサルト一定ノ食品

青銅鍋等ニ於テハ虎列刺病ヲ發シタル事ヲ證明スル

ヲ喫シタル者ニ限りテ發病シタル等ヲ以テ其然ラサルヲ識ルニ足
ル

又此病ノ脾腫疽病ニアラサルハ原因病徵經過豫後等ニ差アルヲ以
テ疑ヒナシ加之少數ナリト雖モ血液及下泄物ニ就キ菌學上ノ検査
ヲ施シテ其然ラサルヲ證明セリ

然ルニ之ヲ食シタル者ノ中往々味ニ變化(鑛物ノ味ニアラス)アルヲ
知り或ハ腐敗臭アルヲ覺知シタル者アルハ患者ノ病歴中ニ記載シ
タルカ如シ又當時警察署ノ巡查某ハ九月二十三日午餐ノ「メ」ニ蛇
ノ目餅(伊納カ製シタル餅)ヲ食セシカ此物品ハ米飯ニ鯨、章魚、蒲鉾
各々一片、鰯卵焼二片、オボロ、椎茸、干瓢等ヲ混入セリ蒲鉾ハ其周圍硬
固ナルニ係ジス内部柔軟ニシテ口中ニ於テ自然ニ溶解シタルカタ
メニ「敗物ナリト」思惟シ悉ク吐出シ冷水ニテ嗽ケリト然ルニ渠ハ
幸ニ恙ナカリシト云フ

青銅鍋等ニ於テハ虎列刺病ヲ發シタル事ヲ證明スル

食品中ニ貯ヘタルノ暇アルコトナシ況ヤ爾若クハ魚ヲ混シテ
 其毒ヲハ一定ノ食品ニ限リ存在シタルニアラスシテ昔ク口既及
 其毒ニ含有シタルハ左ノ事實ニ由テ明ナリ
 (西群馬郡片岡警察署長磯城友二郎ノ報告スル所ニ由ル)

握餅一箇或ハ口取一品ヲ食シテ發病シタル者ノ數及其品目

海苔餅	七人	鯨	二人
蝦	一人	蒲鉾	一人
章魚	二人	鮎	一人
「オボロ」	六人	鶏卵燒	一人
鶏卵	二人	金團	二人

又握餅二箇或ハ口取二品ヲ食シタル者ニシテ發病シタル者數十人
 アリ左ノ如シ(但シ上段ニ其喫シタル品目ヲ揚ク)

海苔及鰹餅	三人	蝦及章魚餅	一人
海苔及蝦餅	五人	蝦及鰹餅	四人

群馬縣西群馬郡片岡警察署長磯城友二郎ノ報告スル所ニ由ル

海苔及「オボロ」餅	五人	章魚及鰹餅	一人
海苔餅及蒲鉾	一人	蝦及「オボロ」餅	一人
海苔及鶏卵餅	二人	章魚及鶏卵餅	一人
海苔及章魚餅	一人	「オボロ」及鰹餅	一人
「オボロ」餅並ニ金團	三人	金團及章魚餅	一人
「オボロ」餅及蒲鉾	一人	金團及鶏卵燒	一人
金團及海苔餅	一人	金團及蓮根	一人
金團及鶏卵餅	一人	蓮根及鮎	一人
金團及鮎餅	四人	蓮根及蝦餅	一人
金團及鰹餅	一人		

右等ノ事實ノ他已ニ發ニ記載シタルカ如ク一小兒ノ如キハ鶏卵餅
 サ口中ニ入レタルノミニテ嚥下セサルモ已ニ發病シ(全治シタル患
 者病歴第三一老婦ノ如キハ鶏卵餅ヲ食スルコト一箇ノ一部分ニ
 發病シタル事ヲ報告スル所ニ由ル)

願ル獲熟ナルヲ知ルニ足ルヘシ

群馬縣西群馬郡大倉村境内調査

同
省
至
三
月
三
日
出
版

衛 生 局

東京市京橋區加賀町三番地

東
洋
社

印刷者
磯
野
新

經. 179 新刊本